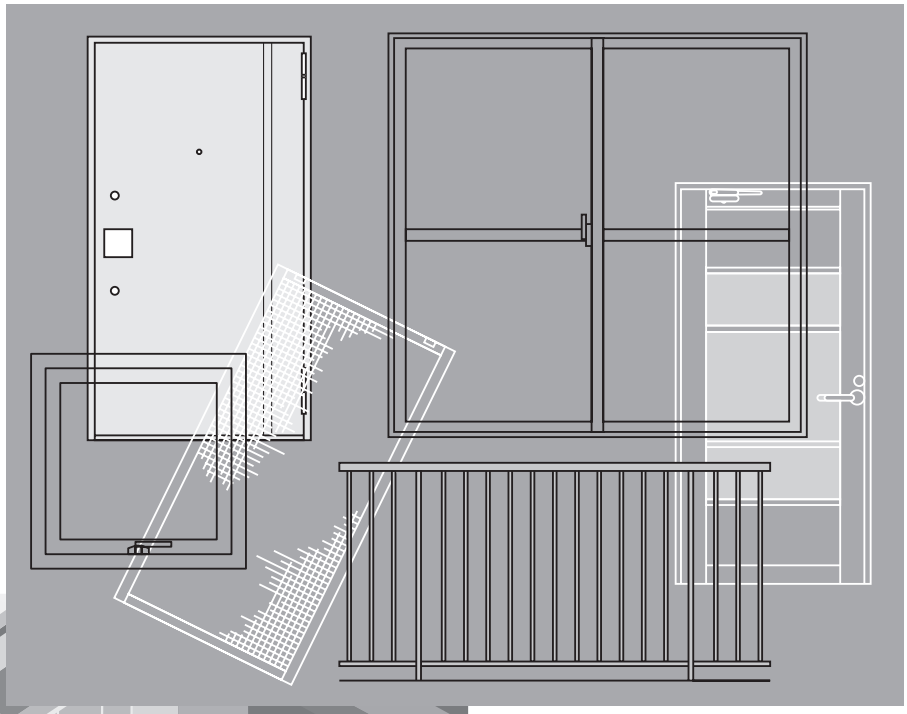
三協アルミ

お客様用保存版

MTGベース

集合住宅用
建材取り扱い説明書

三協アルミ商品を
正しく安全にお使いいただくために



販売店･工事店様へ
この取り扱い説明書は、施工後、お客様または入居者様へ
必ずお渡しください。

はじめに

このたびは、三協アルミ商品をご使用いただきありがとうございます。
商品を正しく安全にお使いいただくために、この取り扱い説明書および商品本体の注意ラベルをよくお読みください。
また、この取り扱い説明書はいつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

目　次

■安全のために必ずお守りください …… 1
■商品構成例 …… 5
■商品取り扱い上のポイント
かまちドア …… 6
かまちドアMS・グレモンかまちドアMS …… 8
採風ドア …… 10
引違い窓 …… 14
片引き窓 …… 19
ノンレールタイプの清掃方法 …… 23
折りたたみ窓 …… 25
折りたたみ窓袖扉付(ドア内蔵型) …… 30
可動網戸 …… 38
固定網戸(外部取り付け) …… 44
固定網戸(内部取り付け) …… 46
網戸自走防止部品 …… 48
開き網戸 …… 54
アコーディオン網戸Ⅲ …… 55
横引きロール網戸 …… 60
ロール網戸Ⅱ(スプリングタイプ) …… 63
ロール網戸Ⅱ(ボールチェーンタイプ) …… 65
キャブコン …… 67
ウィンドウブレス …… 69
たてすべり出し窓 …… 72
たてすべり出し窓MS …… 74
開口制限ストッパーあおり止め付 …… 76
たて軸回転窓 …… 79
突出し窓･すべり出し窓 …… 81
内倒し窓 …… 82
内倒し窓網戸着脱タイプ …… 83
内倒し窓MS …… 86
手すり(窓用) …… 89
手すり(廊下用･バルコニー用) …… 90
網戸一体型面格子(グリネット) …… 91
可動ルーバー面格子(セキュルバ) …… 92
防犯面格子 …… 93
面格子 …… 94
■商品の豆知識
引違い窓のすき間風について …… 96
換気扇使用時の注意 …… 96
窓の遮音性能 …… 96
雨水の浸入について …… 97
窓の結露 …… 97
二重窓の雨水浸入防止 …… 97
玄関ドアなどからの雨水浸入 …… 97
網入板ガラスの割れ …… 98
網戸からの虫の侵入について …… 98
ステンレスの錆 …… 99
台風の災害を防ぐ …… 99
■お手入れについて …… 100
■不具合対応について …… 102
■修理依頼について …… 109
■商品保証 …… 110
■サービスネットワーク …… 巻末

安全のために必ずお守りください。

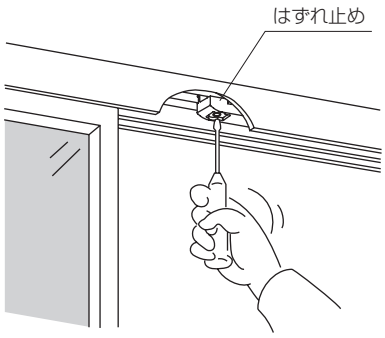
この取り扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
人身事故や財産上の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。
内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

絵表示	意　味
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者などが負傷するおそれや物的損害の発生が予想されることを示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意

引違い窓・片引き窓

●お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



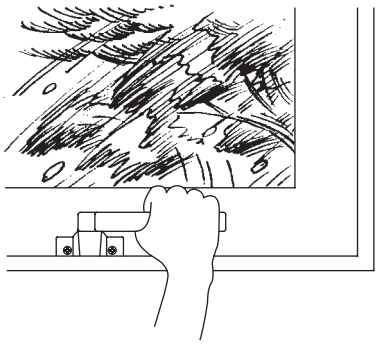
可動網戸

●お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

※商品により仕様が異なります。

たてすべり出し窓・たて軸回転窓
突出し窓・すべり出し窓

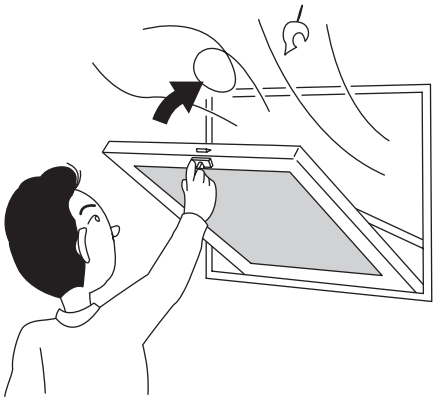
●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



※商品により仕様が異なります。

内倒し窓

●風の強いときは窓を閉めて、必ずトップラッチをかけてください。トップラッチをかけないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



※商品により仕様が異なります。

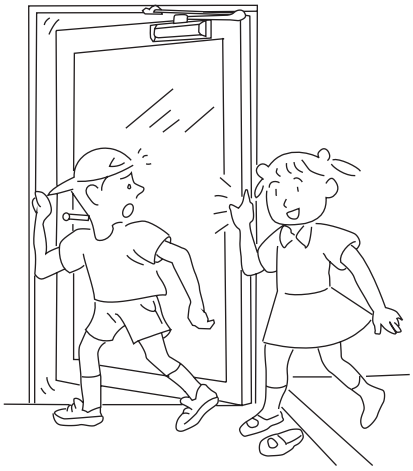
お願い

たてすべり出し窓・たて軸回転窓
突出し窓・すべり出し窓

●開閉時、窓が動き出したら、（あおり止めなどの）調整器具から手を離してください。
手や指をはさむおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

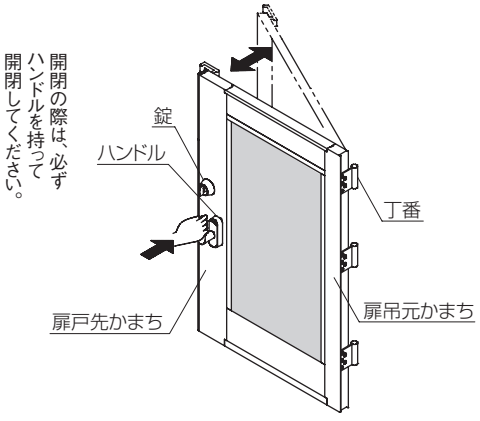
かまちドア・かまちドアMS
グレモンかまちドアMS・採風ドア

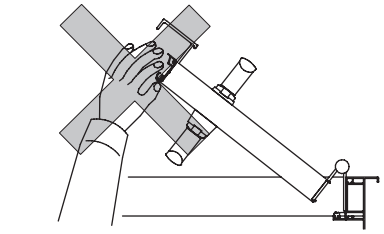
●ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
●ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
●風の強い時はドアを閉めて、必ず錠をかけてください。風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。



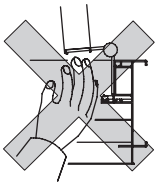
折りたたみ窓
折りたたみ窓袖扉付（ドア内蔵型）

●扉の開閉にあたっては必ずハンドルを持って操作してください。ハンドルから手を放したり、扉の先端に手を置くと、突風などにより扉が急に閉まったとき、扉とガラス障子の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
●扉の開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。指をはさんで大けがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。
●風の強いときは扉を閉めて、必ず錠をかけてください。風により扉が急に開閉することがあり、扉の破損やけがにつながるおそれがあります。





扉の先端を持って
開閉しないでください。



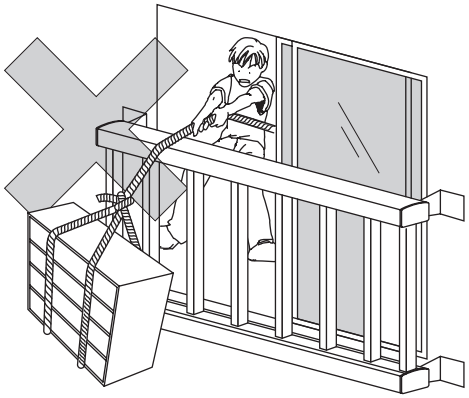
開閉時に丁番側のすき間に
手を置かないでください。

お願い

手すり（窓用）

●窓手すりに、無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人がのったり、身をのり出すなど無理な力が加わると、落下・転落のおそれがあります。

●窓手すりにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。



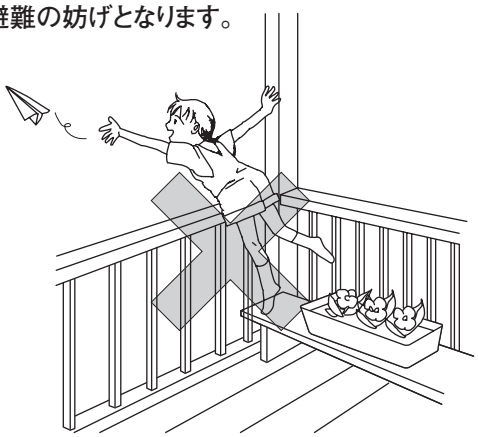
手すり（廊下用・バルコニー用）

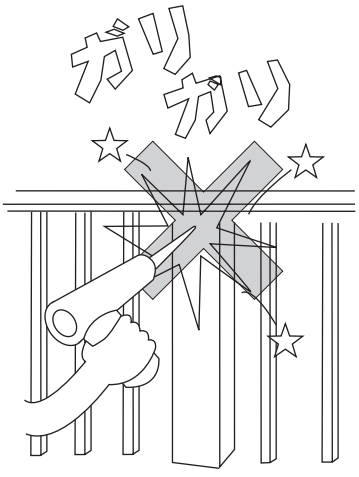
●お子様が手すりユニットの側にいるときは、絶対に目を離さないでください。また、手すりユニットの近くには、植木台や箱などのように足がかりとなる物を置かないでください。お子様が上にのって転落するおそれがあります。

●手すりユニットに、布団干しやパラボラアンテナなどの器具を取り付ける場合は、穴をあけたり針金で固定するなどの加工を絶対にしないでください。手すりの強度が落ちます。

●手すりユニットに、アルミサッシやパネルなどの建材を、 絶対に取り付けないでください。

※不用意な使い方や改造は、手すりの強度を落としたり、思わぬ事故の原因になる他、緊急時の避難の妨げとなります。



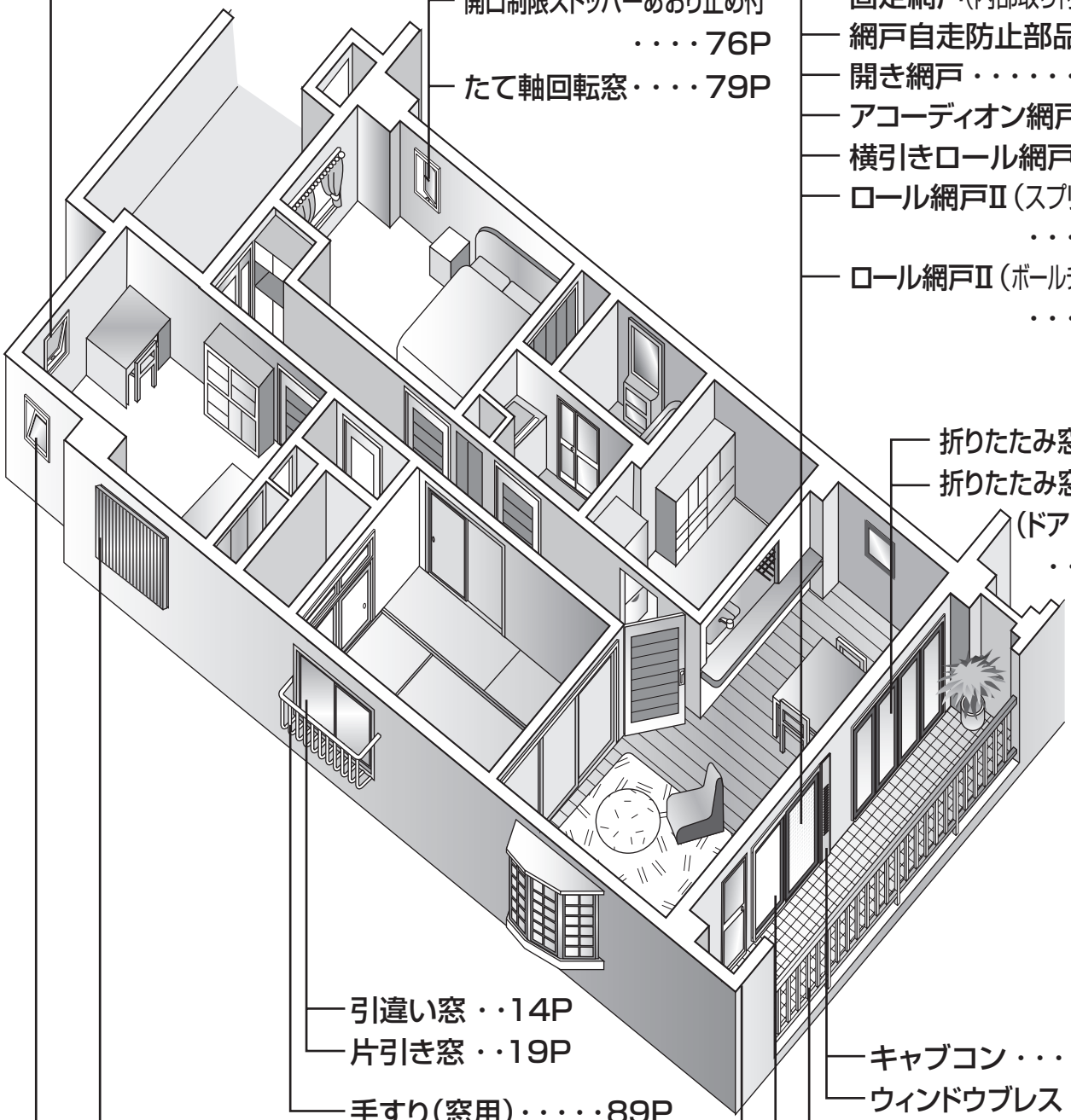


【安全・安心にご使用いただくには専門業者による定期的な維持管理が重要です】

日頃からサッシに異常がないか、操作・作動状況の変化がないかを注意していただき、異常を感じたらすみやかに専門業者にご相談ください。安全に係る部品として、引違い窓などの戸車、はずれ止め、ストッパーなどは、10年を目安※に交換することを推奨します。異常が確認されない場合でも、時間とともに故障のリスクが高まる可能性があります。

※使用環境により異なります。また保障期間ではありません。

商品構成例

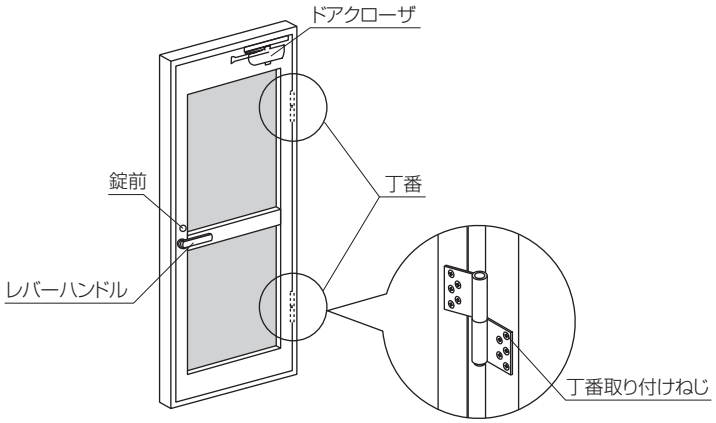


突出し窓・すべり出し窓・・・・81P
たてすべり出し窓・・72P
たてすべり出し窓MS・・74P
開口制限ストッパーあおり止め付・・・・76P
たて軸回転窓・・・・79P
可動網戸・・・・・・・・38P
固定網戸(外部取り付け)・44P
固定網戸(内部取り付け)・46P
網戸自走防止部品・・48P
開き網戸・・・・・・・・54P
アコーディオン網戸Ⅲ・55P
横引きロール網戸・・60P
ロール網戸Ⅱ(スプリングタイプ)・・・・・63P
ロール網戸Ⅱ(ボールチェーンタイプ)・・・・・65P
折りたたみ窓・・25P
折りたたみ窓袖扉付(ドア内蔵型)・・・・30P
引違い窓・・14P
片引き窓・・19P
手すり(窓用)・・・・・89P
網戸一体型面格子(グリネット)・・・・・・91P
可動ルーバー面格子(セキュルバ)・・・・92P
防犯面格子・・・・・・・・・・・・・・・93P
面格子・・・・・・・・・・・・・・・・・・94P
内倒し窓・・・・・・・・・・・・・・・・82P
内倒し窓網戸着脱タイプ・・・・・・・83P
内倒し窓MS・・・・・・・・・・・・・・86P
キャブコン・・・・・・67P
ウィンドウブレス・・・69P
手すり(廊下用・バルコニー用)・・・・・・・・・・90P
ノンレールタイプの清掃方法・・・・・・・・・・23P
かまちドア・・・・・・・・・・6P
かまちドアMS・グレモンかまちドアMS・・8P
採風ドア・・・・・・・・・・10P

商品取り扱い上のポイント

かまちドアの取り扱い(MTG)

姿　図

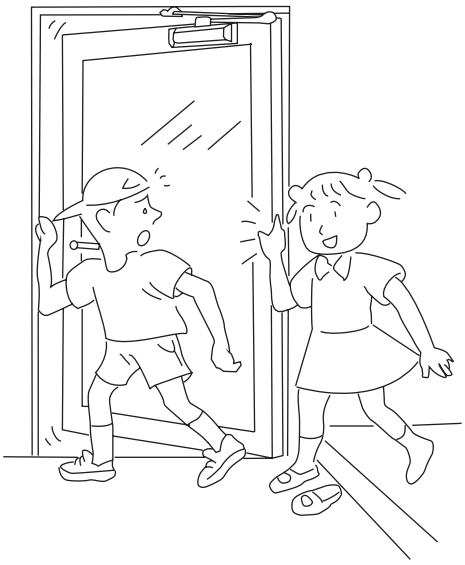


お 願 い

①ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。
指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

②ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

③風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。
風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。



■かまちドアの開閉

●ドアが開いているときは、ハンドルを回転操作しないでください。故障の原因となります。

■ドアクローザの点検と調整

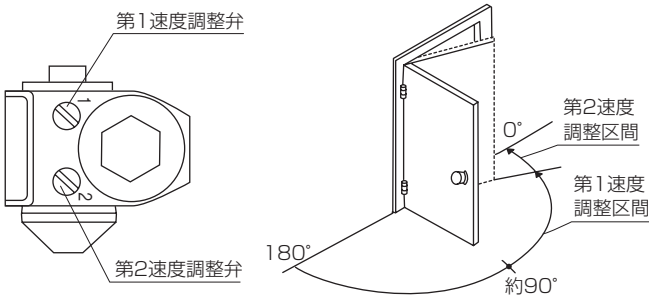
●ドアクローザの取り付いたドアの開閉に異常を感じられた際、次のとおりドアクローザの点検と調整を行ってください。
なお、ご自分で調整が難しい場合は、まずご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。

（現　　象）	（考えられる原因）	（点検箇所）	（対処方法）
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった。	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。
ドアの閉じる速度が急に速くなった。	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった。	油の流れがつまっている	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった。	ねじのゆるみ	調整ねじ	ねじを締め付けてください。
	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁（第3速度調整弁付タイプ）	開閉速度調整方法を参照願います。
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった。（ストップ付）	ストップねじのゆるみ	ストップ装置	ストップ角度調整は、ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった。	ねじのゆるみ	調整ねじ	ねじを締め付けてください。
	1、2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。

■ドアの開閉速度調整方法

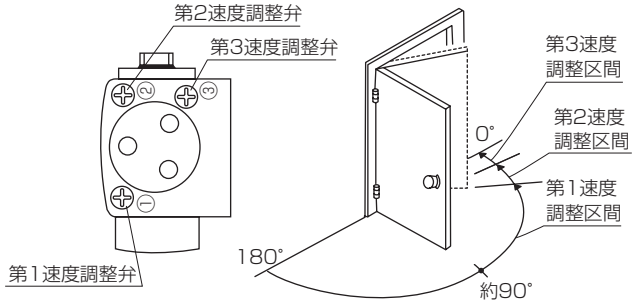
●ドアの開閉速度調整は、ドアクローザ本体の側面にある調整弁をドライバーでまわして調整します。
なお、調整は、20°程度の微小な回転で行ってください。まわしすぎると油漏れなど故障の原因になりますのでご注意ください。

●第2速度調整弁付タイプ



速度修正は、第1速度・第2速度の順に行ってください。
第1速度・第2速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。

●第3速度調整弁付タイプ

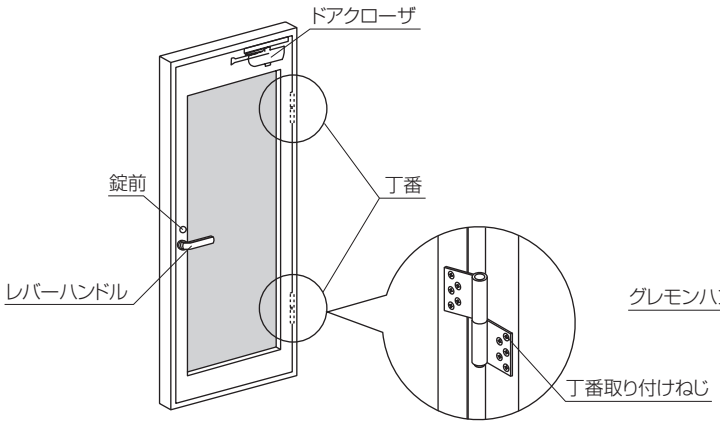


速度修正は、第1速度・第2速度・第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
第1速度・第2速度・第3速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。
※ラッチングスピードは、ドア閉鎖位置手前2°まで閉じた時点でドアを素早く閉める機能です。不要の時は、全閉にしてください。第2速度より遅くはなりません。

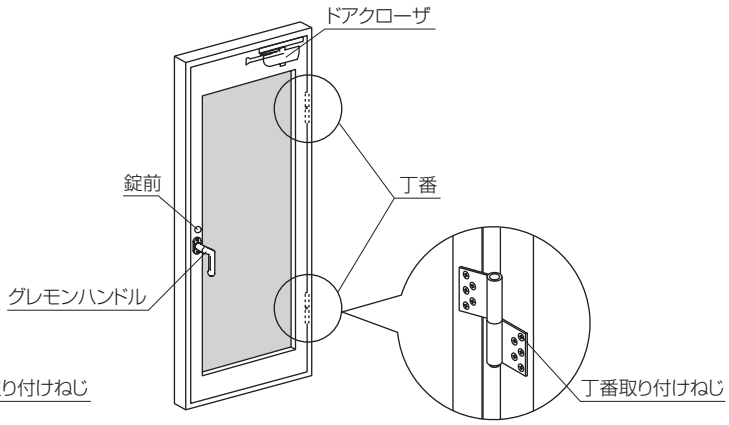
かまちドアMS・グレモンかまちドアMSの取り扱い(MTG)

姿　図

●かまちドアMS



●グレモンかまちドアMS

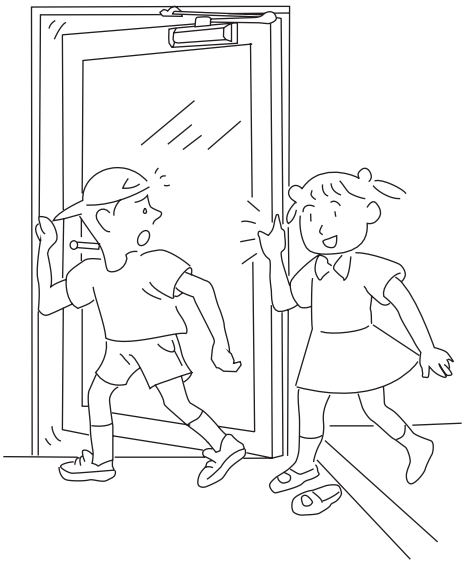


お 願 い

①ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。
指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

②ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

③風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。
風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。

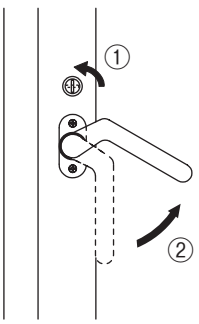


■かまちドアの開閉方法

●ドアが開いているときは、ハンドルを回転操作しないでください。故障の原因となります。

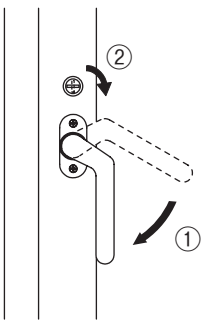
開け方

①錠前を解錠します。
②ハンドルを上げるとグレモンが解除されドアが開きます。



閉め方

①ドアを閉めてハンドルを下げます。グレモンが作動し、扉が引き寄せられます。
②錠前を施錠します。



■ドアクローザの点検と調整

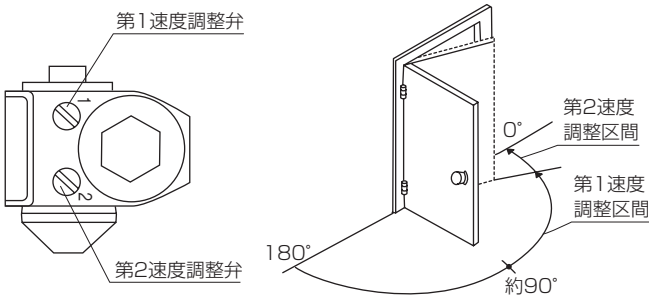
●ドアクローザの取り付いたドアの開閉に異常を感じられた際、次のとおりドアクローザの点検と調整を行ってください。
なお、ご自分で調整が難しい場合は、まずご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。

（現　　象）	（考えられる原因）	（点検箇所）	（対処方法）
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった。	季節の温度変化など	速度調整弁	開閉速度調整方法を参照願います。
ドアの閉じる速度が急に速くなった。	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった。	油の流れがつまっている	速度調整弁	開閉速度調整方法を参照願います。
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった。	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁（第3速度調整弁付タイプ）	開閉速度調整方法を参照願います。
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった。（ストップ付）	ストップねじのゆるみ	ストップ装置	ストップ角度調整は、ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった。	ねじのゆるみ	調整ねじ	ねじを締め付けてください。
	1、2速のバランスが悪い	速度調整弁	開閉速度調整方法を参照願います。

■ドアの開閉速度調整方法

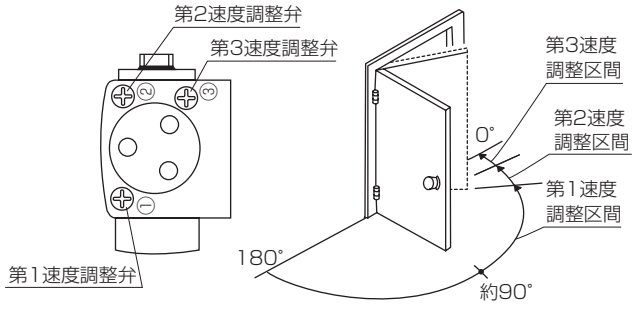
●ドアの開閉速度調整は、ドアクローザ本体の側面にある調整弁をドライバーでまわして調整します。
なお、調整は、20°程度の微小な回転で行ってください。まわしすぎると油漏れなど故障の原因になりますのでご注意ください。

●第2速度調整弁付タイプ



速度修正は、第1速度・第2速度の順に行ってください。
第1速度・第2速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。

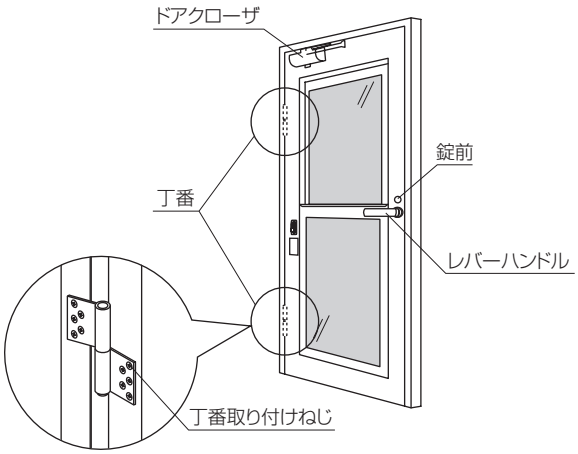
●第3速度調整弁付タイプ



速度修正は、第1速度・第2速度・第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
第1速度・第2速度・第3速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。
※ラッチングスピードは、ドア閉鎖位置手前2°まで閉じた時点でドアを素早く閉める機能です。不要の時は、全閉にしてください。
第2速度より遅くはなりません。

採風ドアの取り扱い(MTG)

姿　図

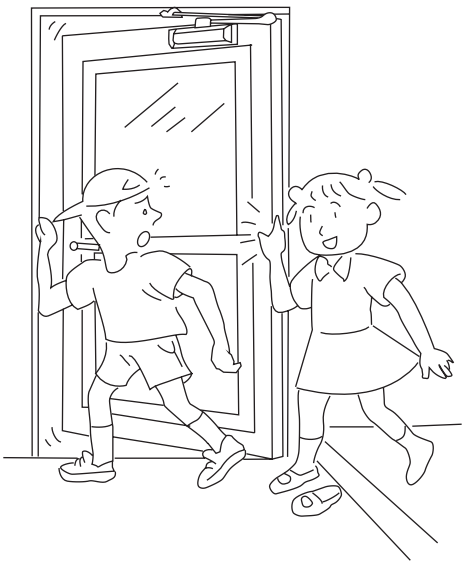


お 願 い

①ドアの開閉時には、丁番側のすき間に手を置かないでください。
指をはさんで大けがのおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

②ドアの開閉にあたっては、必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を放したり、ドアの先端に手を置くと、突風などでドアが急に閉まったとき、ドアと枠の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

③風の強いときはドアを閉めて、必ず錠をかけてください。
風によりドアが急に開閉することがあり、ドアの破損やけがにつながるおそれがあります。



■ドアの開閉

●ドアが開いているときは、ハンドルを回転操作しないでください。故障の原因となります。

■上げ下げガラス障子の操作

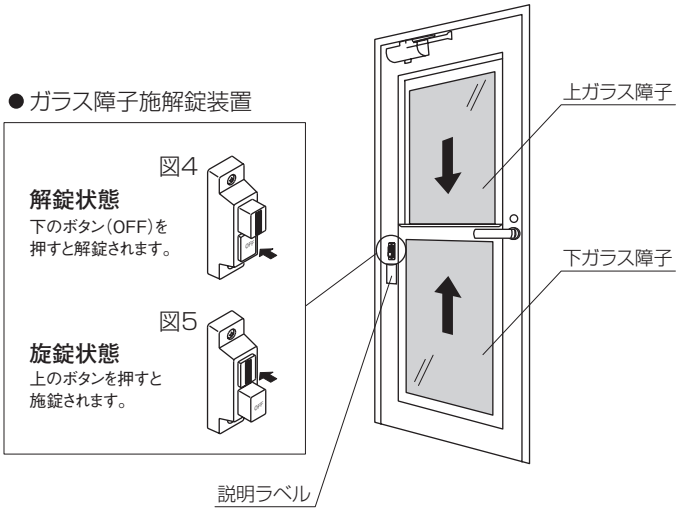
〔ガラス障子の開閉について〕

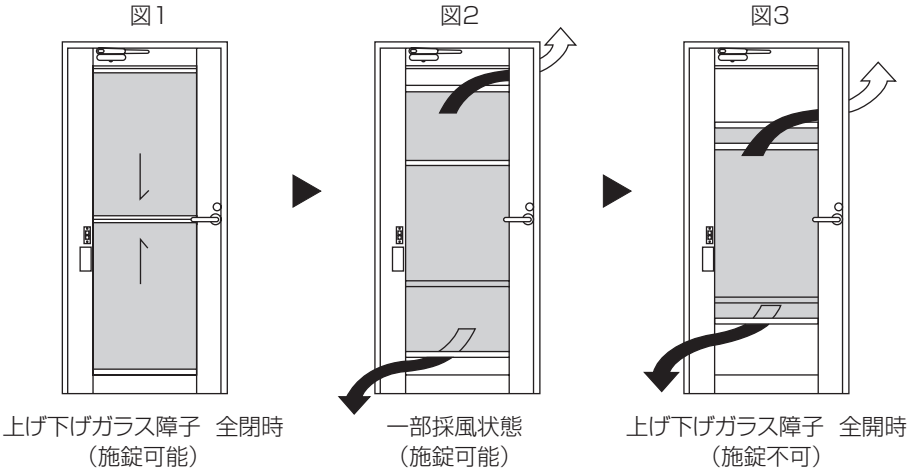
①施解錠装置の下のボタン（OFF）を押すと、解錠状態になります。（図4）
下側のガラス障子を上げると、上側のガラス障子が下がり上下から風を採り入れることができます。（図1→図3）

②ガラス障子の位置はお好みで調整することが可能ですが、ガラス障子はロックされた状態ではありませんので、力を加えてガラス障子を下げると全閉します。

③ガラス障子が開いている時に、一度施錠状態（図5）にして力を加えてガラス障子を下げると、下から約50mm開いた状態でロックすることができます。（図2）

④ガラス障子を全閉したい場合は、解錠状態（図4）にしてガラス障子を下げてください。防犯上、外出や就寝時などの際は、必ずガラス障子を施錠状態（図5）にしてください。

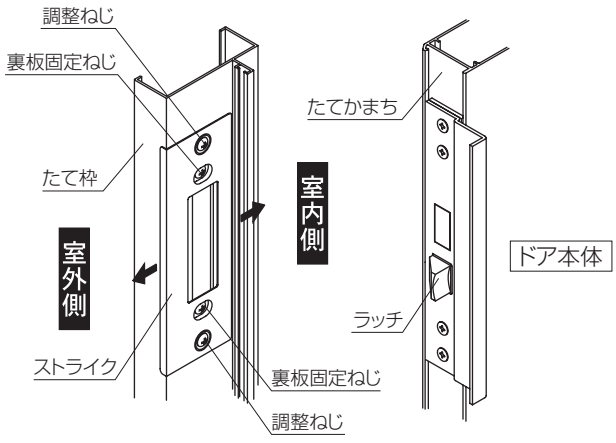




■ストライクの調整

●ドアのラッチや錠がかからない場合は、ストライクの調整ねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。

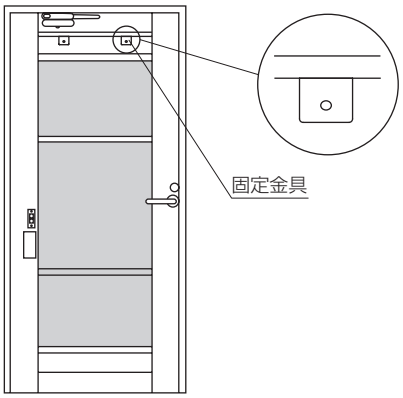
● 調整後、ゆるめた調整ねじを締めてください。



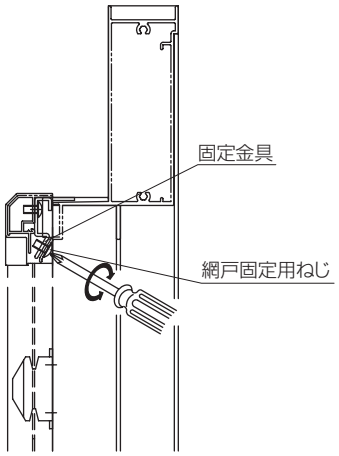
● ストライクの調整時、裏板固定ねじはまわさないでください。

■固定網戸の取りはずし方（清掃時）（格子付固定網戸もあります）

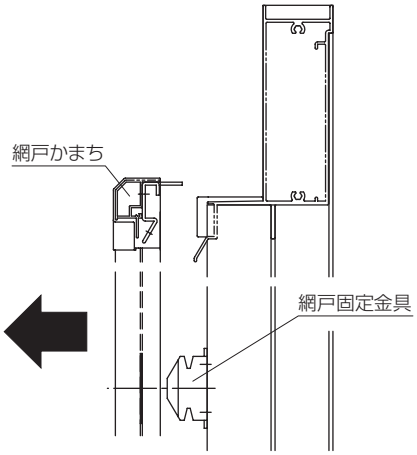
①ガラス障子施解錠装置を解除状態にし、上げ下げガラス障子を開けます。



②上部2ケ所の固定金具の網戸固定用ねじをドライバーでゆるめ、はずします。

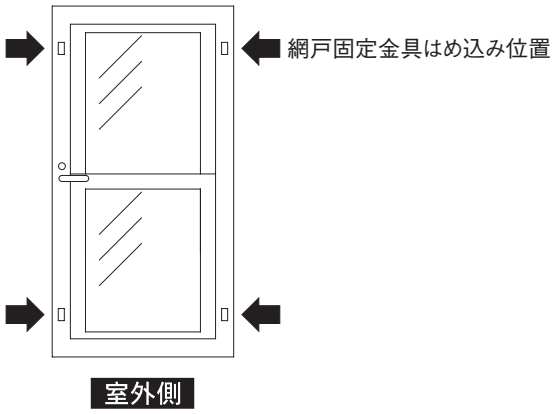


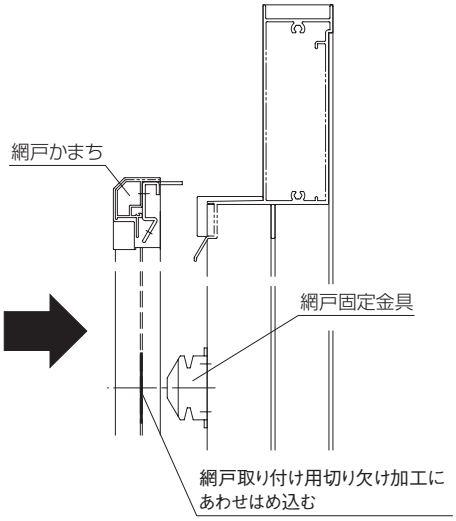
③室外側から網戸かまちを持ち、網戸を引いて取りはずします。



■固定網戸の取り付け方

①網戸固定金具に網戸かまちの切り欠け加工穴をあわせ、はめ込みます。





②室内側から上部2ケ所の固定金具を網戸固定用ねじで締めます。

■ドアクローザの点検と調整

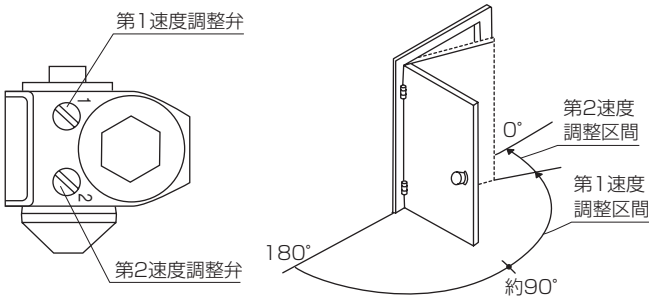
●ドアクローザの取り付いたドアの開閉に異常を感じられた際、次のとおりドアクローザの点検と調整を行ってください。
なお、ご自分で調整が難しい場合は、まずご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。

（現　　象）	（考えられる原因）	（点検箇所）	（対処方法）
ドアの閉じる速度が徐々に速くまたは遅くなった。	季節の温度変化など	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。
ドアの閉じる速度が急に速くなった。	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった。	油の流れがつまっている	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった。	ねじのゆるみ	調整ねじ	ねじを締め付けてください。
	油漏れ	ドアクローザ本体	ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整弁（第3速度調整弁付タイプ）	開閉速度調整方法を参照願います。
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった。（ストップ付）	ストップねじのゆるみ	ストップ装置	ストップ角度調整は、ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご依頼ください。
ドアがスムーズに閉まらなくなったり異音がするようになった。	ねじのゆるみ	調整ねじ	ねじを締め付けてください。
	1、2速のバランスが悪い	速度調整弁	速度調整方法を参照願います。

■ドアの開閉速度調整方法

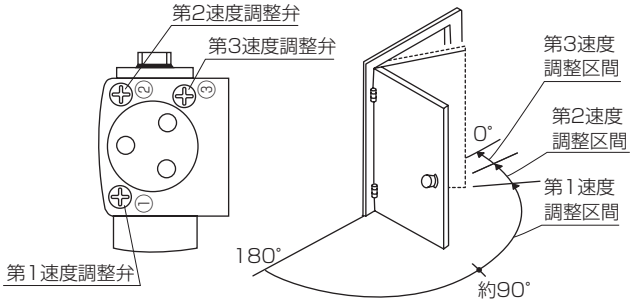
●ドアの開閉速度調整は、ドアクローザ本体の側面にある調整弁をドライバーでまわして調整します。
なお、調整は、20°程度の微小な回転で行ってください。まわしすぎると油漏れなど故障の原因になりますのでご注意ください。

●第2速度調整弁付タイプ



速度修正は、第1速度・第2速度の順に行ってください。
第1速度・第2速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。

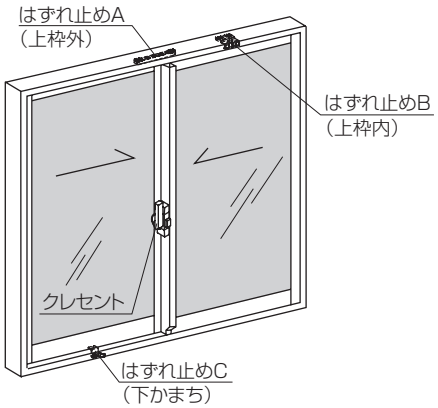
●第3速度調整弁付タイプ



速度修正は、第1速度・第2速度・第3速度（ラッチングアクション）の順に行ってください。
第1速度・第2速度・第3速度ともに
右にまわすと閉じ速度は遅くなります。
左にまわすと閉じ速度は速くなります。
※ラッチングスピードは、ドア閉鎖位置手前2°まで閉じた時点でドアを素早く閉める機能です。不要の時は、全閉にしてください。第2速度より遅くはなりません。

引違い窓の取り扱い(MTG)

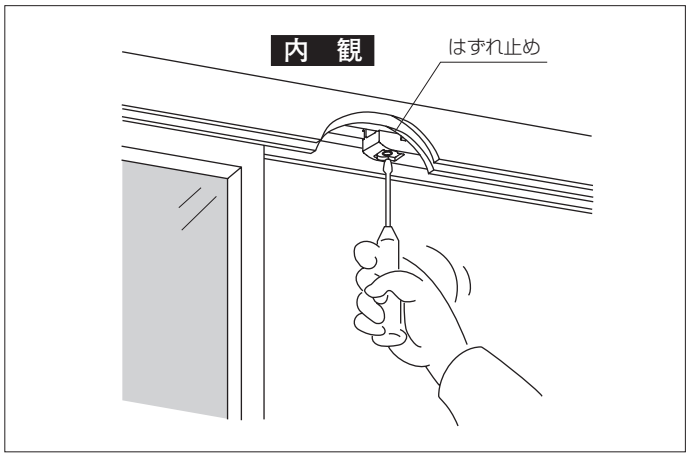
姿　図



⚠ 注　意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
  はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



■クレセントの開閉操作

- クレセントが確実に解錠の状態になっていることを確認して、ガラス障子を開閉してください。

- クレセントはハンドル（図-1）、サブロック（図-2）のダブルロッククレセントになっています。施錠の際、ハンドルが回転途中になっているとサブロックが作動しません。必ずハンドルを真上まで（180°）回転させてください。サブロックはスライド式でグリーン表示で施錠が確認できます。
- ハンドルが回転途中でガラス障子の開閉をすると、サッシやガラスに当たり、キズをつけたり、クレセントが壊れたりする原因になります。（図-3）

図-1

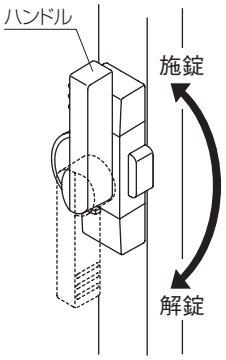


図-2

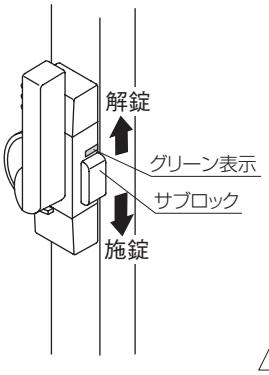
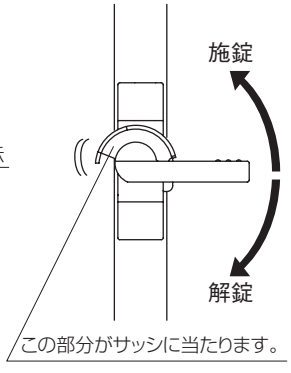


図-3



〔施錠〕

①ガラス障子をしっかり閉め、ハンドルを真上まで回転（180°）させてください。（図-1）

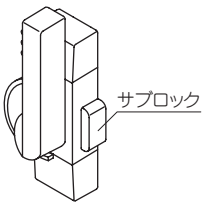
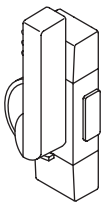
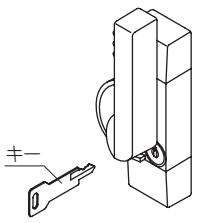
②サブロックを下げてください。
グリーン表示で施錠が確認できます。（図-2）

〔解錠〕

- 施錠の逆の順序で行ってください。
- クレセントが確実に解錠の状態になっていることを確認して、ガラス障子を開閉してください。
  ハンドルが回転途中でガラス障子を開閉すると、サッシやガラスに当たり、キズをつけたり、クレセントが壊れたりする原因になります。（図-3）

■クレセント

●クレセント形状

	クレセント	サブロック無クレセント	鍵付クレセント
姿　図			
操作方法	●クレセントの横に付いているサブロックを上下に動かすことにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。	●サブロック無クレセントはハンドルを180°回転させることにより、施錠・解錠するタイプです。	●クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。

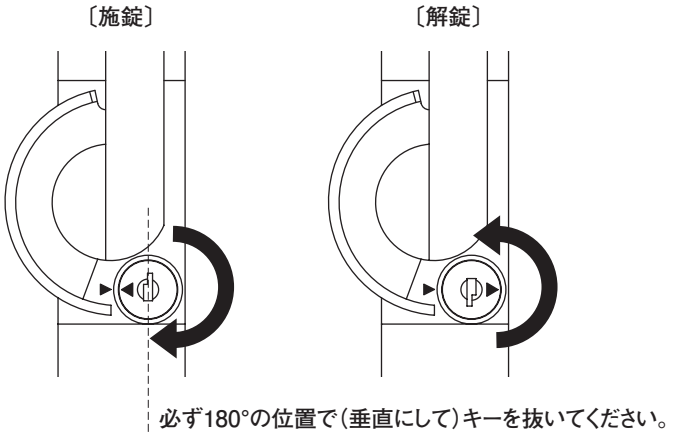
●鍵付クレセントの施錠は窓を閉めて、ハンドルを確実に閉めた状態（垂直）でキーの操作を行ってください。
ハンドルが確実に閉まっていない状態で無理にキー操作をすると故障の原因となります。

●サブロック作動状態および鍵施錠状態でハンドルを動かさないでください。
故障の原因となります。

〔キーの施解錠操作〕

クレセントの鍵穴にキーを挿入して半回転（180°回転）し、矢印の▶位置を施錠の位置にすることにより、施錠の状態になります。解錠の際にはキーを逆方向へ半回転（180°回転）してください。

※半回転以上キーをまわすと故障の原因となるおそれがあります。

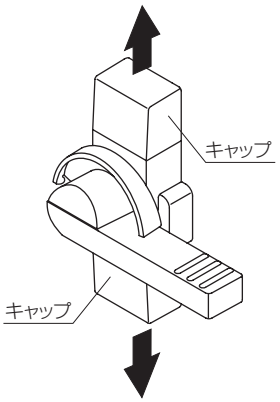


〔クレセントのかかり調整〕

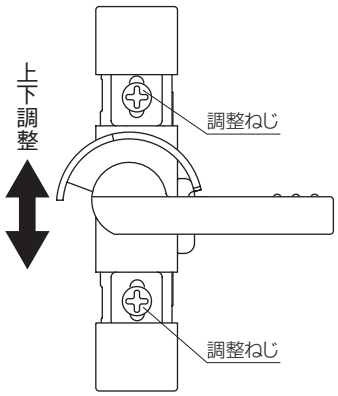
■クレセントの調整

クレセントのかかりが悪くなったら、キャップをはずして、クレセントの調整ねじをゆるめ、各々を位置調整してください。調整後、ゆるめた調整ねじを締めて、キャップをはめてください。

●キャップのはずし方



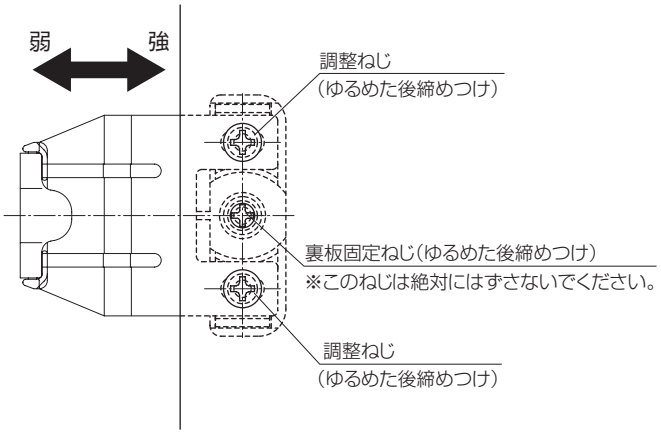
●クレセント



■クレセント受けの調整

- 調整ねじと裏板固定ねじをゆるめ、クレセント受けを調整してください。
- クレセント受けを調整後、ゆるめた調整ねじと裏板固定ねじを締めてください。

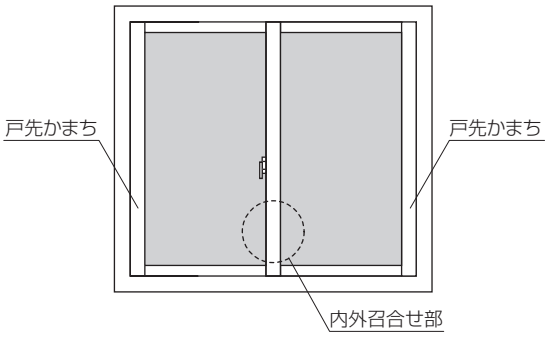
●クレセント受け



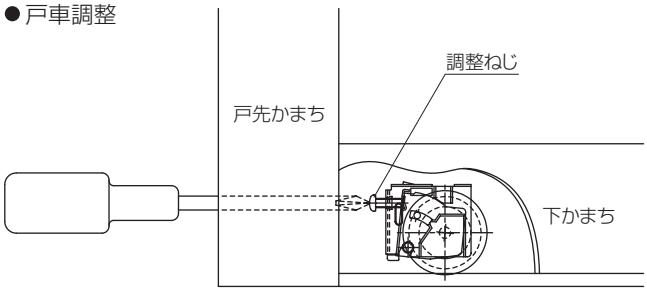
〔ガラス障子の建て付け調整〕

- ガラス障子を閉めて、内外召合せ部がズレているときは、戸先側の戸車を上下させ、内外召合せ部を並行に調整してください。

  ※召合せ下部には止水部品がありますので、召合せ側の戸車はさわらないでください。



●戸車調整

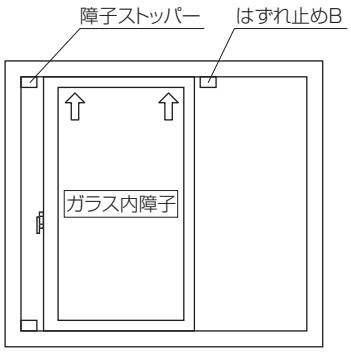


※ゴム状シートの十字切り込みの奥に調整ねじがあります。
左にまわすと戸車が下がり、右にまわすと戸車が上がります。

■ガラス障子のはずし方

〔ガラス内障子〕

● ガラス内障子は全開にした状態ではずしてください。
全開以外の位置ではずすことはできません。

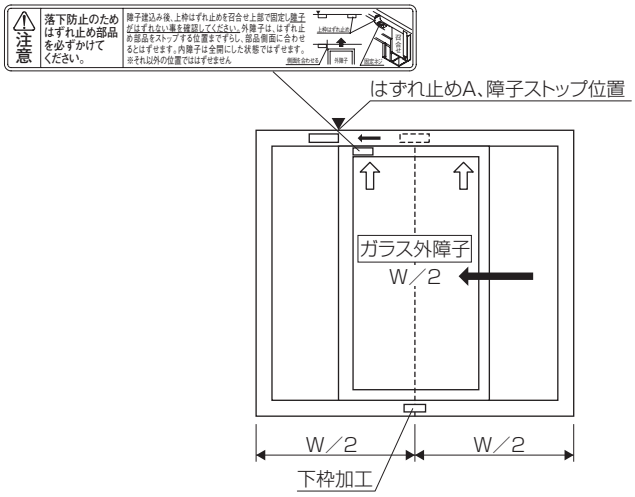


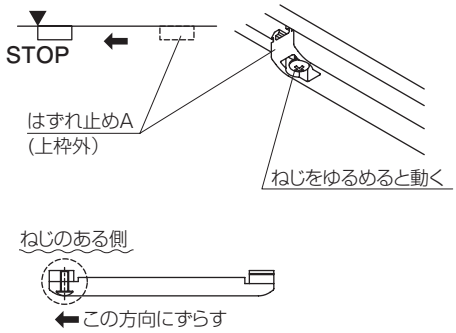
全開状態で

● ガラス障子を建て込む時は逆の手順で行ってください。

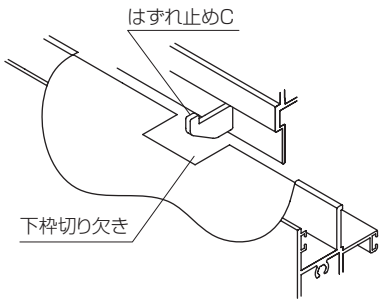
〔ガラス外障子〕

● 商品本体の表示ラベルに従って、はずれ止めAの固定ねじをゆるめ、内観左にストップする位置まで移動させます。





● ガラス外障子は、はずれ止めA部品の側面にあわせた位置ではずしてください。下かまちはずれ止めC位置が下枠切り欠き加工の中央となるため、ガラス障子をはずすことができます。

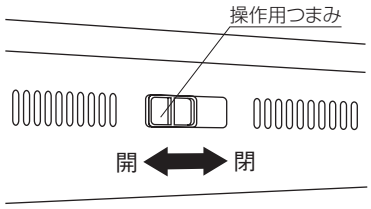


● ガラス障子を建て込む時は逆の手順で行ってください。

■換気装置の操作

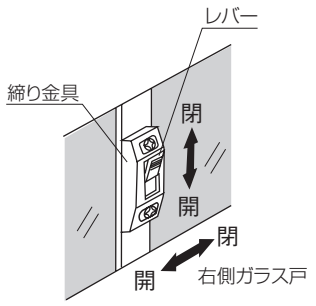
換気かまちの開閉

●換気かまちにある操作用つまみを左右にスライドさせることにより、開閉します。

姿　図	
操作の種類	スライド式

換気小窓の開閉

●小窓中央部の締り金具のレバーを操作し、右側のガラス戸をスライドさせてください。引き加減で通気量の調節ができます。

姿　図	
操作の種類	レバー式

■下枠レール・排水部の清掃

●下枠のレールは、砂ぼこりのたまりやすいところです。スムーズな開け閉めおよび雨水の排水のために、下枠レールや排水部は、時々清掃し、詰まらないようにしてください。ブラシやハケで砂ぼこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けたもので拭き取るときれいになります。

●グレーチング（排水口用目皿）が取り付く場合は、排水口が詰まらないように定期的に清掃してください。

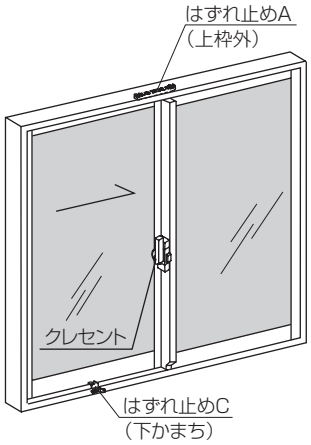
下枠レールの清掃

排水溝の清掃

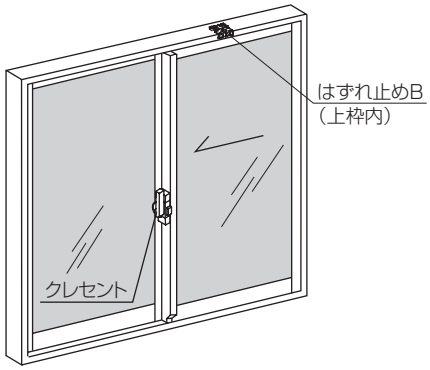
片引き窓の取り扱い(MTG)

姿　図

● 外動片引き窓



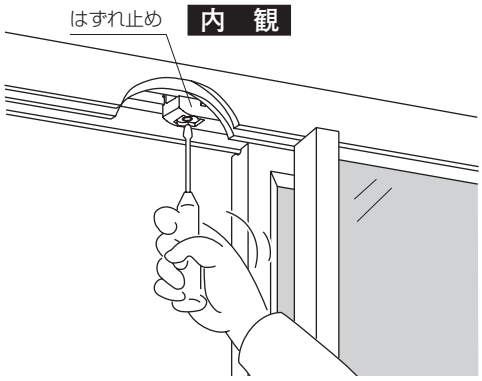
● 内動片引き窓



⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

● お手入れなどのためにガラス障子をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、ガラス障子が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



〔外動片引き窓の場合〕

■クレセントの開閉操作

● クレセントが確実に解錠の状態になっていることを確認して、ガラス障子を開閉してください。

● クレセントはハンドル（図-1）、サブロック（図-2）のダブルロッククレセントになっています。施錠の際、ハンドルが回転途中になっているとサブロックが作動しません。必ずハンドルを真上まで（180°）回転させてください。サブロックはスライド式でグリーン表示で施錠が確認できます。

● ハンドルが回転途中でガラス障子の開閉をすると、サッシやガラスに当たり、キズをつけたり、クレセントが壊れたりする原因になります。（図-3）

図-1

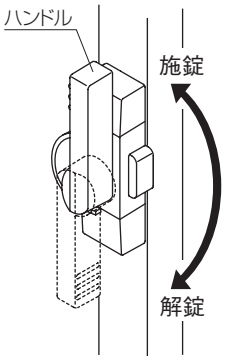


図-2

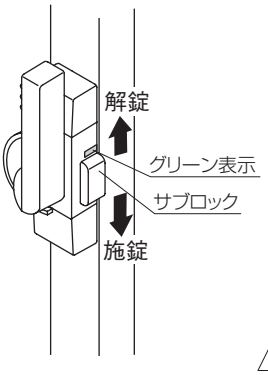
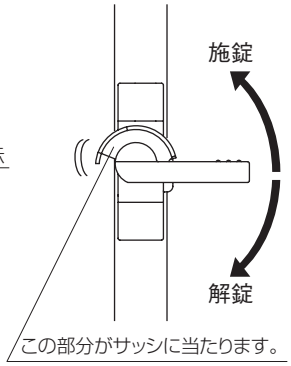


図-3



〔施錠〕

①ガラス障子をしっかり閉め、ハンドルを真上まで回転（180°）させてください。（図-1）

②サブロックを下げてください。
グリーン表示で施錠が確認できます。（図-2）

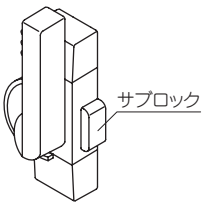
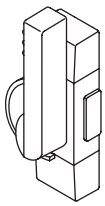
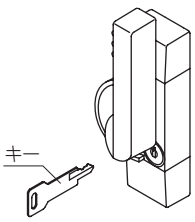
〔解錠〕

● 施錠の逆の順序で行ってください。

● クレセントが確実に解錠の状態になっていることを確認して、ガラス障子を開閉してください。
ハンドルが回転途中でガラス障子を開閉すると、サッシやガラスに当たり、キズをつけたり、クレセントが壊れたりする原因になります。（図-3）

■クレセント

●クレセント形状

	クレセント	サブロック無クレセント	鍵付クレセント
姿　図			
操作方法	●クレセントの横に付いているサブロックを上下に動かすことにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。	●サブロック無クレセントはハンドルを180°回転させることにより、施錠・解錠するタイプです。	●クレセントの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。

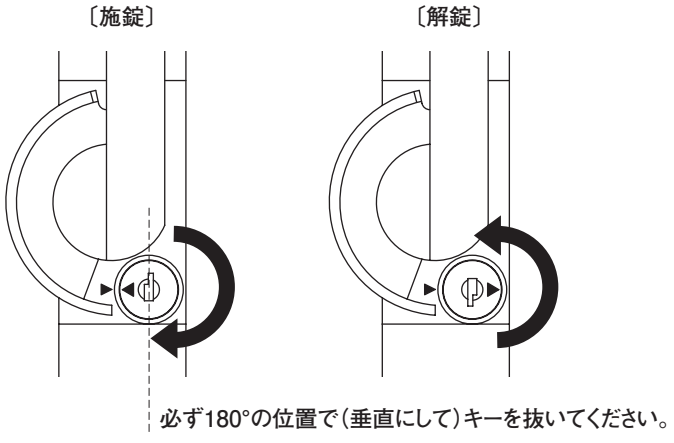
●鍵付クレセントの施錠は窓を閉めて、ハンドルを確実に閉めた状態（垂直）でキーの操作を行ってください。
ハンドルが確実に閉まっていない状態で無理にキー操作をすると故障の原因となります。

●サブロック作動状態および鍵施錠状態でハンドルを動かさないでください。
故障の原因となります。

〔キーの施解錠操作〕

クレセントの鍵穴にキーを挿入して半回転（180°回転）し、矢印の▶位置を施錠の位置にすることにより、施錠の状態になります。解錠の際にはキーを逆方向へ半回転（180°回転）してください。

※半回転以上キーをまわすと故障の原因となるおそれがあります。

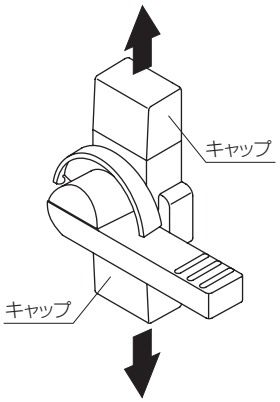


〔クレセントのかかり調整〕

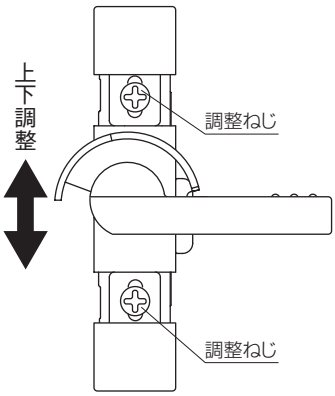
■クレセントの調整

●クレセントのかかりが悪くなったら、キャップをはずして、クレセントの調整ねじをゆるめ、位置調整してください。調整後、ゆるめた調整ねじを締めて、キャップをはめてください。

●キャップのはずし方



●クレセント

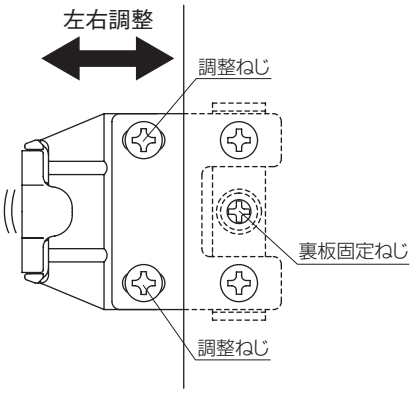


■クレセント受けの調整

●はじめに、クレセントを解錠してください。
クレセント受けの調整ねじをゆるめ、位置調整してください。調整後、ゆるめた調整ねじを締めて、クレセントを取り付けてください。

●クレセント受け調整時、裏板固定ねじはまわさないでください。

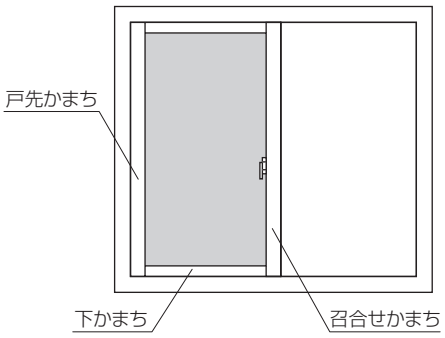
●クレセント受け



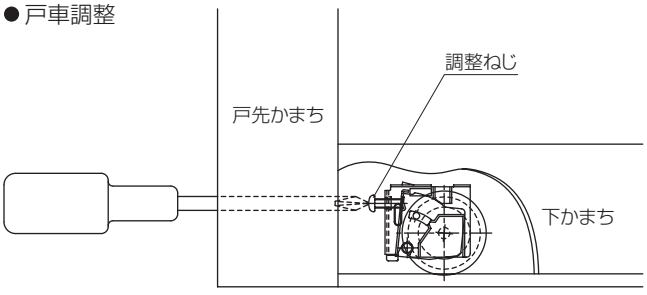
〔ガラス障子の建て付け調整〕

●ガラス障子を閉めて、内外召合せ部がズレているときは、戸先側の戸車を上下させ、内外召合せ部を並行に調整してください。

※召合せ下部には止水部品がありますので、召合せ側の戸車はさわらないでください。



●戸車調整

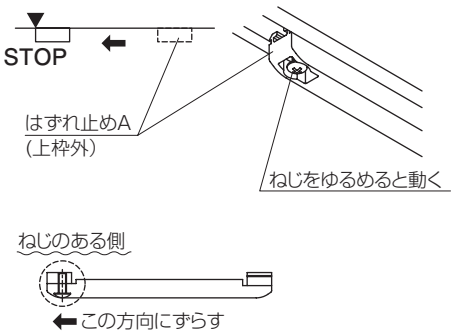


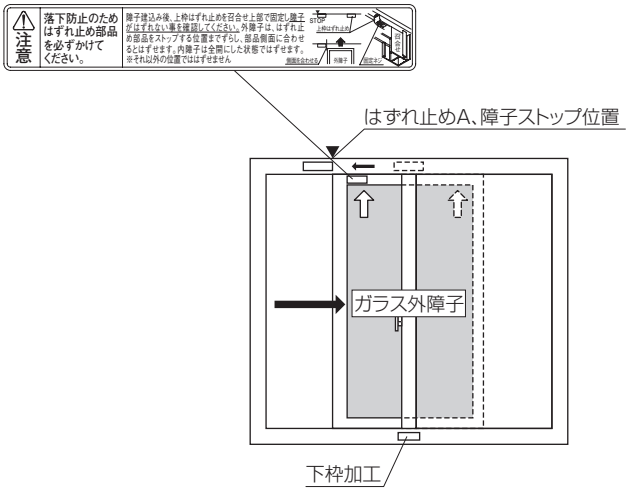
※ゴム状シートの十字切り込みの奥に調整ねじがあります。
左にまわすと戸車が下がり、右にまわすと戸車が上がります。

■ガラス障子のはずし方

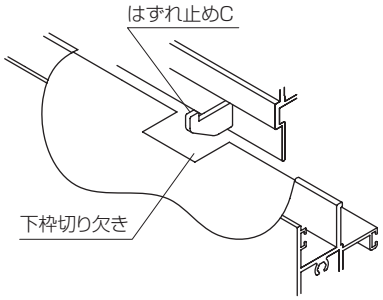
外動片引き窓（ガラス外障子）

● 商品本体の表示ラベルに従って、はずれ止めAの固定ねじをゆるめ、内観左にストップする位置まで移動させます。





● ガラス外障子は、はずれ止めA部品の側面にあわせた位置ではずしてください。下かまちはずれ止めC位置が下枠切り欠き加工の中央となるため、ガラス障子をはずすことができます。

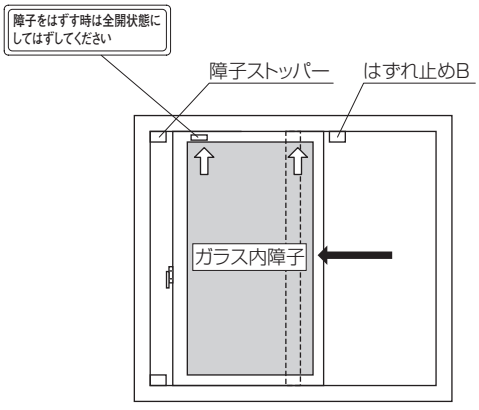


● ガラス障子を建て込む時は逆の手順で行ってください。

内動片引き窓（ガラス内障子）

● ガラス内障子は全開にした状態ではずしてください。全開以外の位置ではずすことはできません。

● ガラス障子を建て込む時は逆の手順で行ってください。



全開状態で

ノンレールタイプの清掃方法(MTG)

■アルミサッシ下枠のお手入れ

日常はアルミサッシの下枠表面を拭くだけできれいになります。ただし、長期間下枠の中にゴミやほこりがたまった時は下記の手順に従って下枠カバーを取りはずし、清掃を行ってください。

■お手入れの手順

①Ⓐ引違い窓の場合は、室内から見て左側のガラス障子を全開にし、網戸も右側へ移動してください。Ⓑ～Ⓓ片引き窓の場合は、ガラス障子と網戸を全開にしてください。(図1)

②下枠カバー(図1 ▭ 部の下枠カバーのみ)を固定している固定用ねじをプラスドライバーで取りはずしてください。(図2)

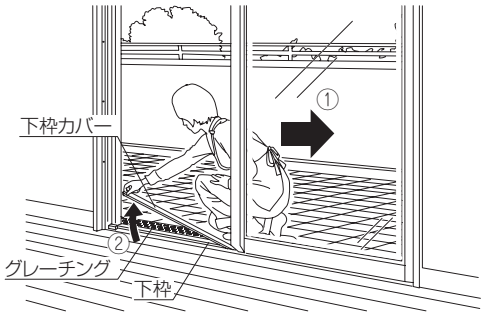
③下枠カバー端部に取り付いている持手部品をつまみ、持ち上げるようにはずしてください。(図3)
お手入れ時のご注意 注1)、注2)をお読みください。

④水で洗い流すか掃除機で吸い込み、下枠の中のゴミやほこりを取り除いてください。(図4)

⑤はずした下枠カバーを固定カバー側から下枠にはめ込み(図5)、固定用ねじをプラスドライバーで強く締め込んでください。

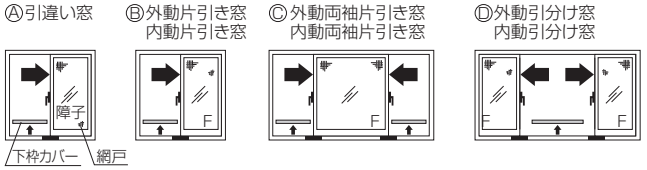
⑥Ⓐ引違い窓の場合は、室内から見て右側のガラス障子を全開にし、網戸も左側へ移動してください。Ⓑ～Ⓓ片引き窓の場合は、ガラス障子と網戸を全閉にしてください。(図6)

⑦②～⑤と同じ手順で右記に示す下枠カバーをはずして掃除を行ってください。



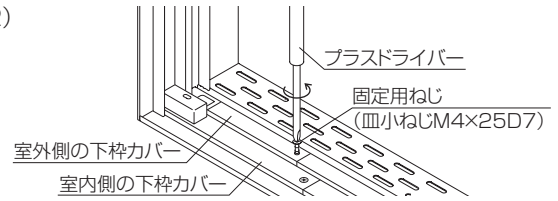
(図1)

お客様の使用しているサッシの種類によって取りはずす下枠カバーの位置が異なります。

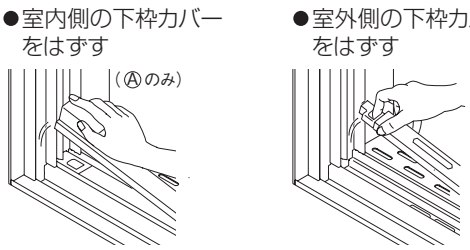


※▭ 部の下枠カバーをはずします。▬ 部の下枠カバーははずせません。

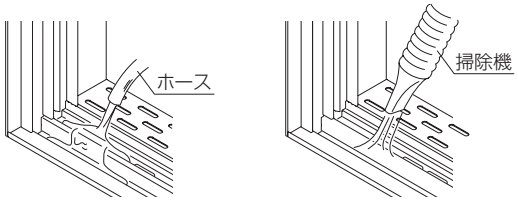
(図2)



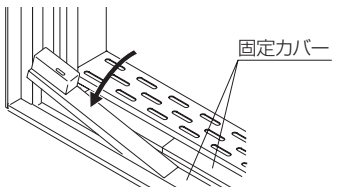
(図3)



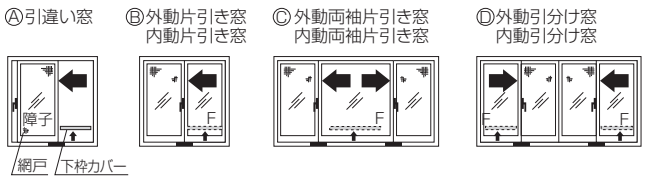
(図4)



(図5)



(図6)

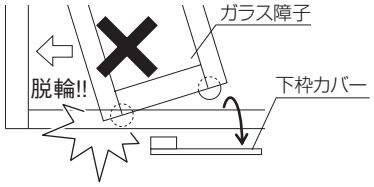


※▭ 部の下枠カバーをはずします。▬ 部の下枠カバーははずせません。

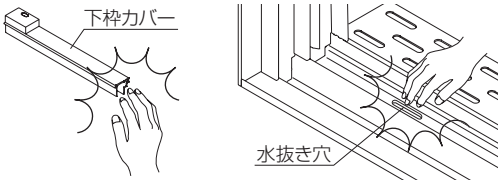
お手入れ時のご注意

※安全のため、下記の事項は必ず守ってください。

注1）ガラス障子が脱輪しますので、下枠カバーをはずした状態で絶対にガラス障子を動かさないでください。

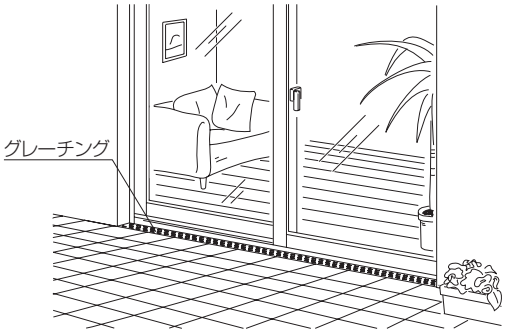


注2）下枠カバーのカドや下枠の水抜き穴に触れるとけがをするおそれがありますのでご注意願います。



■グレーチングのお手入れ

日常はグレーチングの表面を拭くだけできれいになります。ただし、長期間グレーチングの下にゴミやほこりがたまった時は、下記の手順に従って清掃を行ってください。



■お手入れの手順

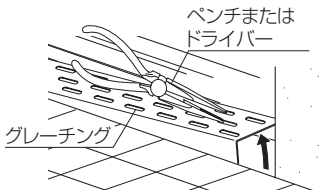
①網戸を取りはずしてください。

※取りはずし方は、『可動網戸の取り扱い（MTG）』を参照ください。

②ペンチやドライバーなどをグレーチングのスリット穴に引っかけ、持ち上げてはずし（図1）、グレーチングの下にたまったゴミやほこりを取り除いてください。

お手入れ時のご注意 ※注1）をお読みください。

（図1）



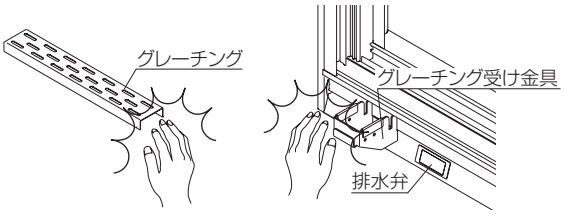
③グレーチングを取り付けてください。

④最後に網戸を取り付けてください。

お手入れ時のご注意

※安全のため、下記の事項は必ず守ってください。

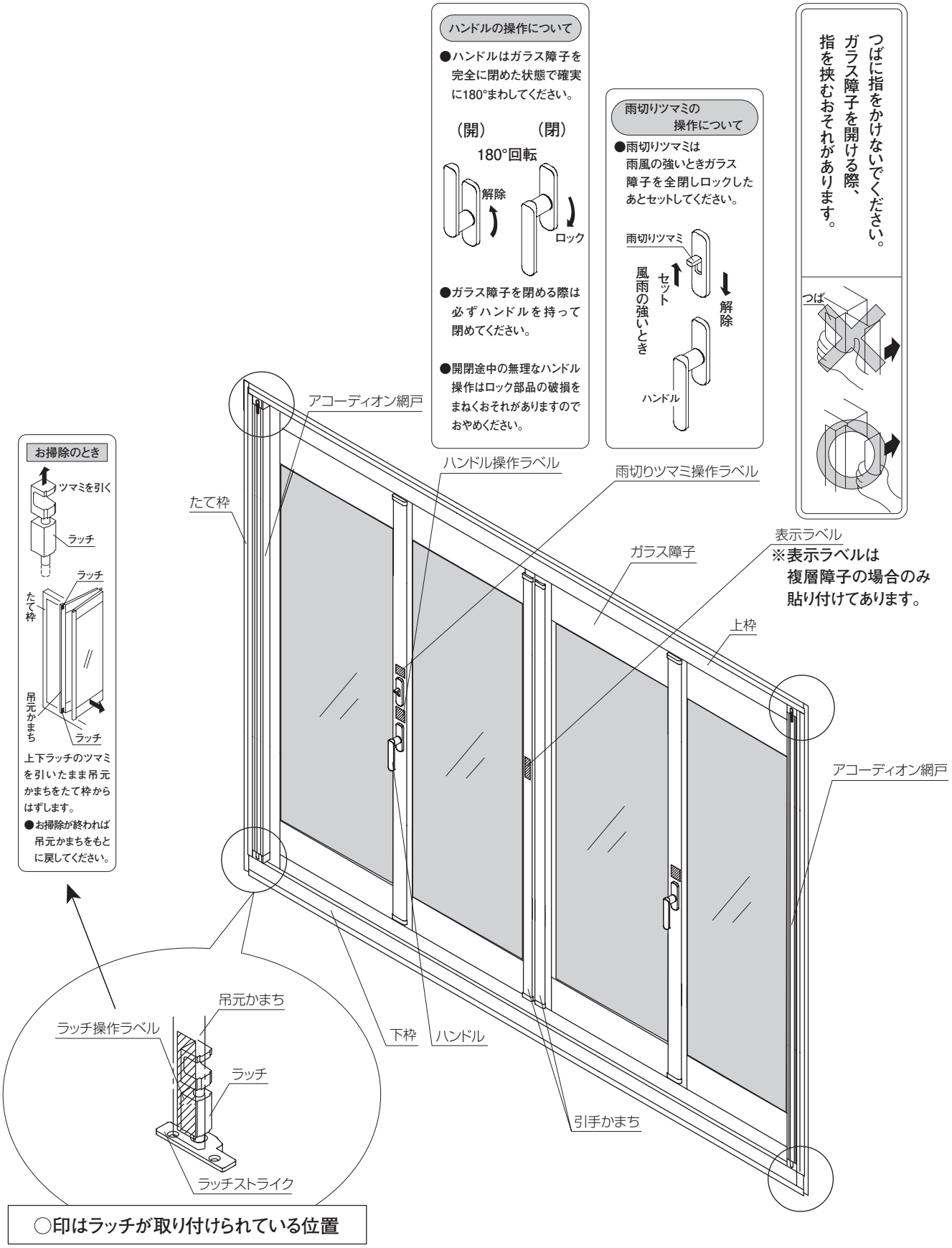
※注1）グレーチング･グレーチング受け金具･排水弁のカドに触れるとケガをするおそれがありますので手を触れないようご注意願います。



※注2）清掃中は幼児を近づけたり、はずした物に触れさせないでください。思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

折りたたみ窓の取り扱い(レポルテⅡ)

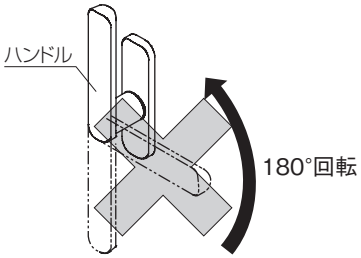
姿　図



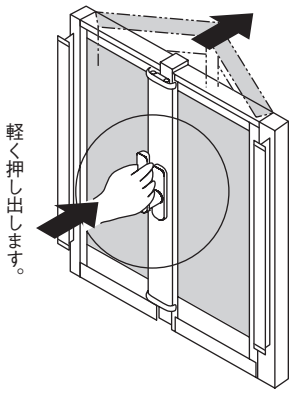
■ガラス障子の開操作およびロック解除操作

■閉→開の場合

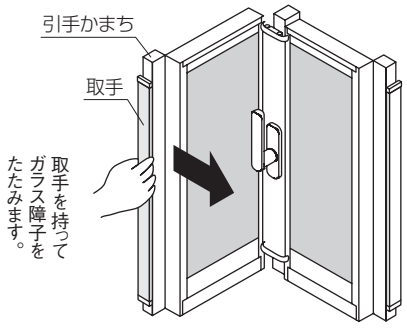
①開けるガラス障子のハンドルを上向きに反時計まわり180°回転させてください。障子のロックが解除されます。
ハンドルが90°前後の状態でガラス障子を開けないでください。ガラスにハンドルが当たり割れるおそれがあります。



②ハンドルを持ってガラス障子を軽く外へ押し出します。



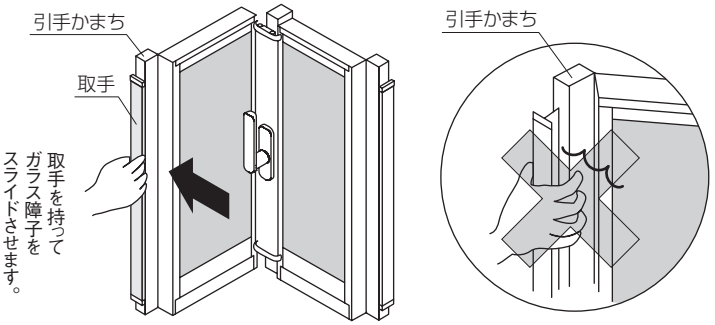
③ハンドルから手を離し、引手かまちの取手を持ってガラス障子を折りたたみ開放します。



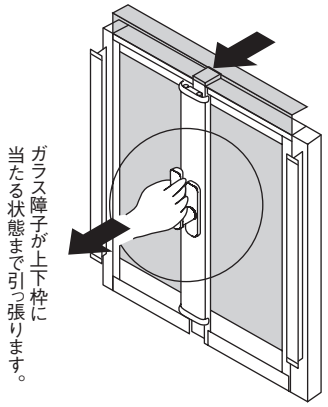
■ガラス障子の閉操作およびロック操作

■開→閉の場合

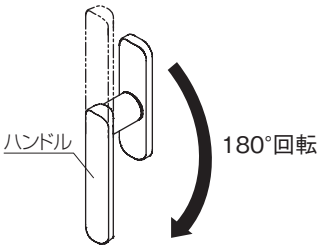
①引手かまちの取手を持ってガラス障子をスライドし閉めてください。引手かまちに手をそえて操作すると、指をはさみ、けがをするおそれがあります。



②ハンドルを持って手前に軽く引き、ガラス障子を完全に閉窓してください。

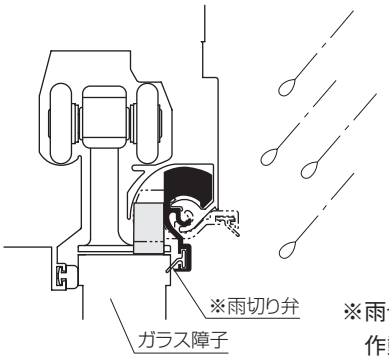


③ガラス障子を完全に閉窓した状態のまま、ハンドルを下向きに時計まわりに180°回転させてください。ガラス障子がロックします。



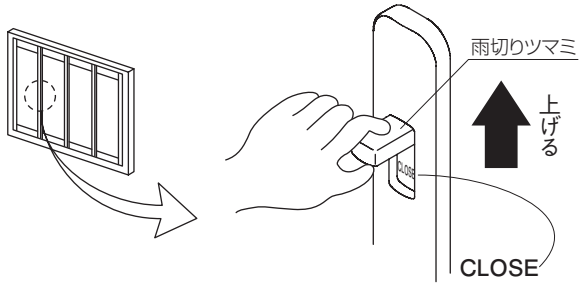
■雨切りツマミの操作

●雨切りツマミは、ガラス障子の上方から雨水が浸入するのを防ぐために用います。
通常の天気では、ハンドルだけで十分対応できますが、雨･風の強いときは窓の密閉をよくするために雨切りツマミを**CLOSE**の状態にし、雨切り弁を作動させてください。

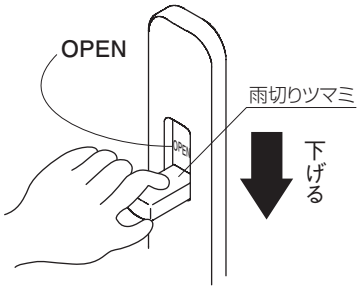


※雨切りツマミの操作により弁が作動します。

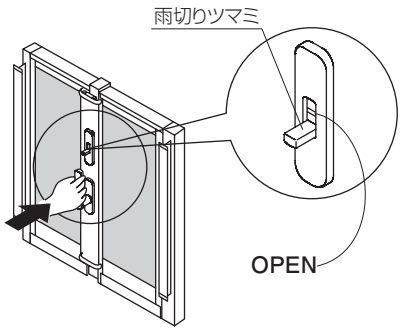
①作動･･･雨切りツマミを上げる
ツマミを上げて**CLOSE**の状態にすると雨切り弁が作動します。
ツマミはガラス障子が完全に閉じていなければ操作できません。



②解除･･･雨切りツマミを下げる
ツマミを下におろして**OPEN**の状態にすると雨切り弁が解除されます。
雨切り弁はガラス障子の上方を覆う構造であり、作動状態であると、ガラス障子を開けることはできません。



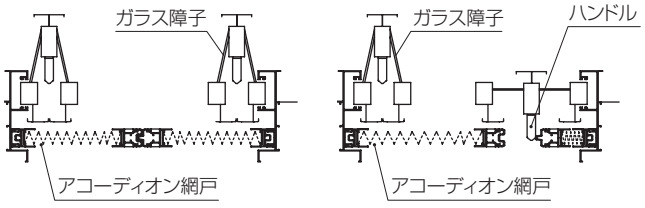
●ガラス障子を開けるときは、雨切りツマミが下にある（**OPEN**の文字が見えている）か必ずご確認ください。
雨切りツマミが上にある（**CLOSE**の文字が見えている）状態で無理にガラス障子を開けようとすると雨切り弁が破損するおそれがあります。



■アコーディオン網戸の操作

●アコーディオン網戸は両方のガラス障子を開けたとき、両側のアコーディオン網戸でご使用ください。また、片方のガラス障子を開けたとき、開放した側のアコーディオン網戸をご使用ください。

※ガラス障子が閉まっている部分のアコーディオン網戸は動かさないでください。ハンドルと網戸がぶつかり手をはさむおそれがあります。

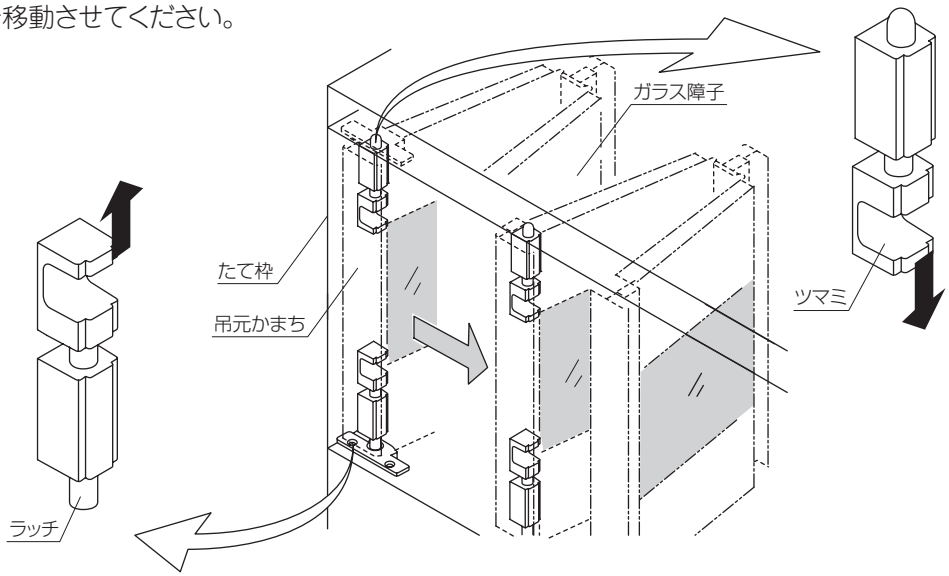


■ガラス障子固定金具（ラッチ）の使い方

ガラス障子の清掃のとき、ガラス障子をたて枠から離し移動させ清掃することができます。

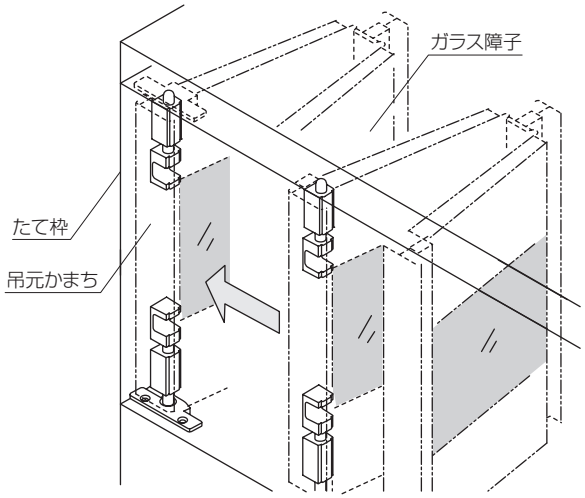
1.ガラス障子固定金具（ラッチ）の解除

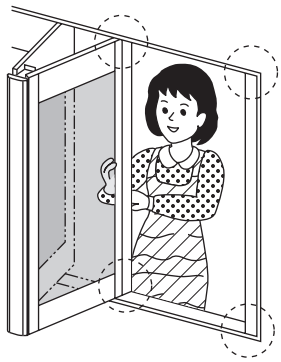
- 上下ラッチのツマミを引くとラッチは解除され、吊元かまちがたて枠から離れます。
- ガラス障子を移動させてください。



2.ガラス障子固定金具（ラッチ）のロック

- 移動したガラス障子を閉めて、吊元かまちをたて枠に戻してください。
- 窓全体のガラス障子を閉めれば所定の位置にラッチがロックされます。



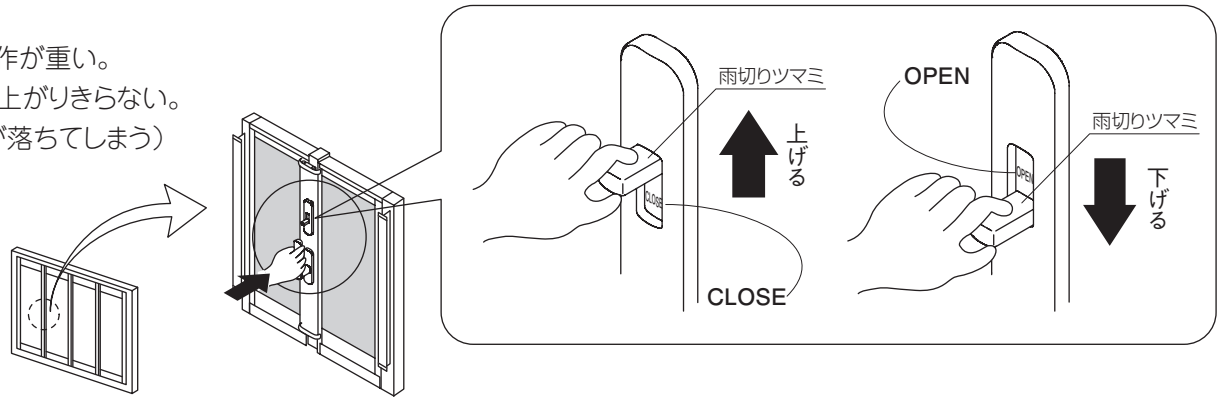


■雨切り弁について

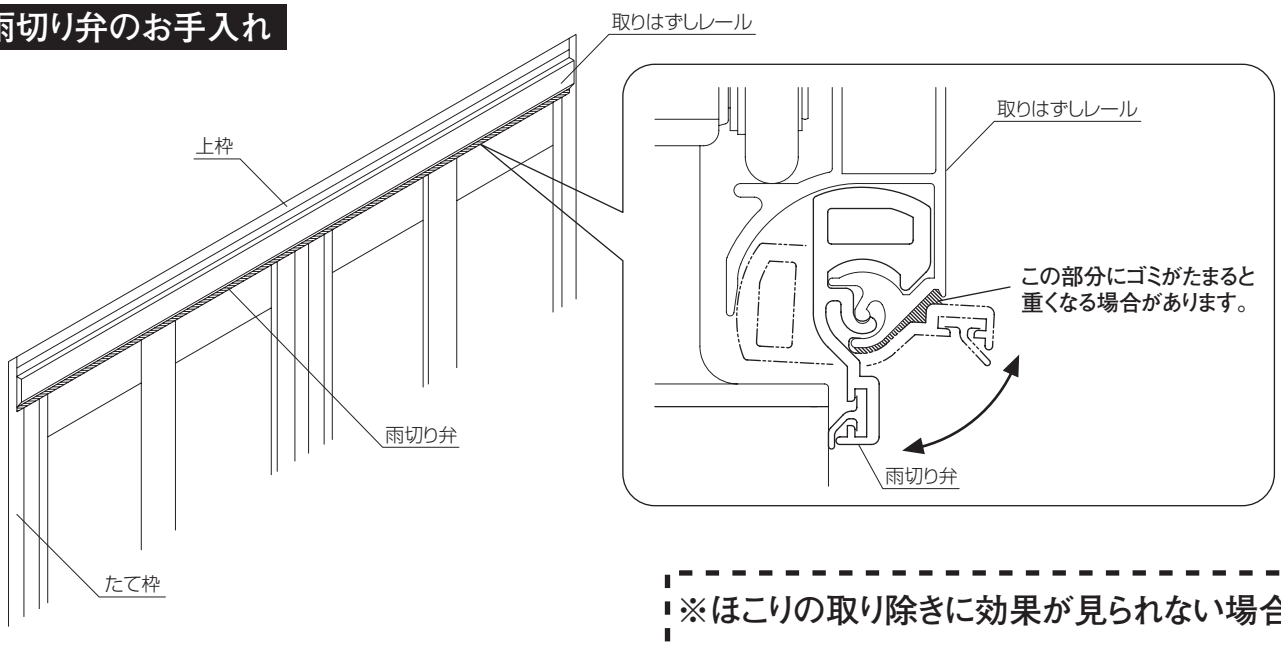
ツマミ操作時に、下記のような現象が見られる場合は、雨切り弁のお手入れをお願いします。

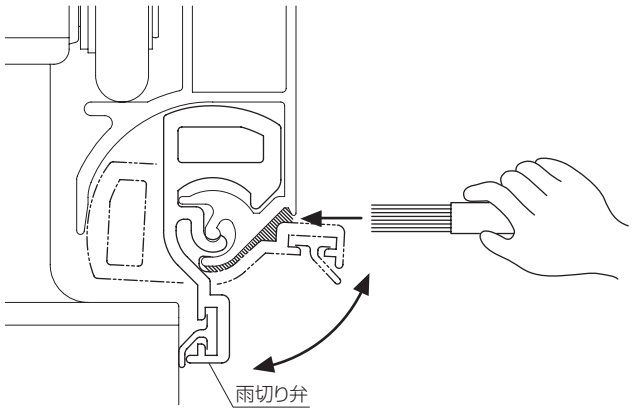
現象

- ツマミ操作が重い。
- 最後まで上がりきらない。
  （ツマミが落ちてしまう）



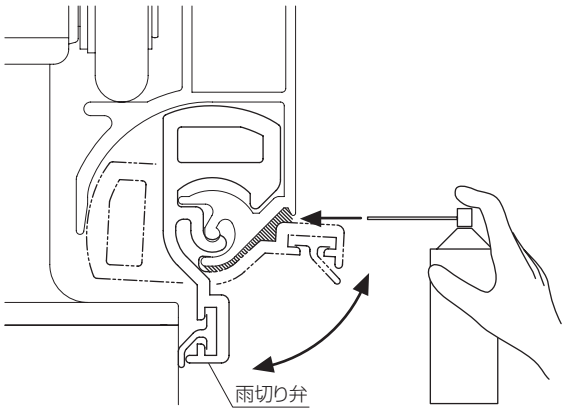
雨切り弁のお手入れ





ブラシを使用してゴミ･ほこりを
取り除いてください。

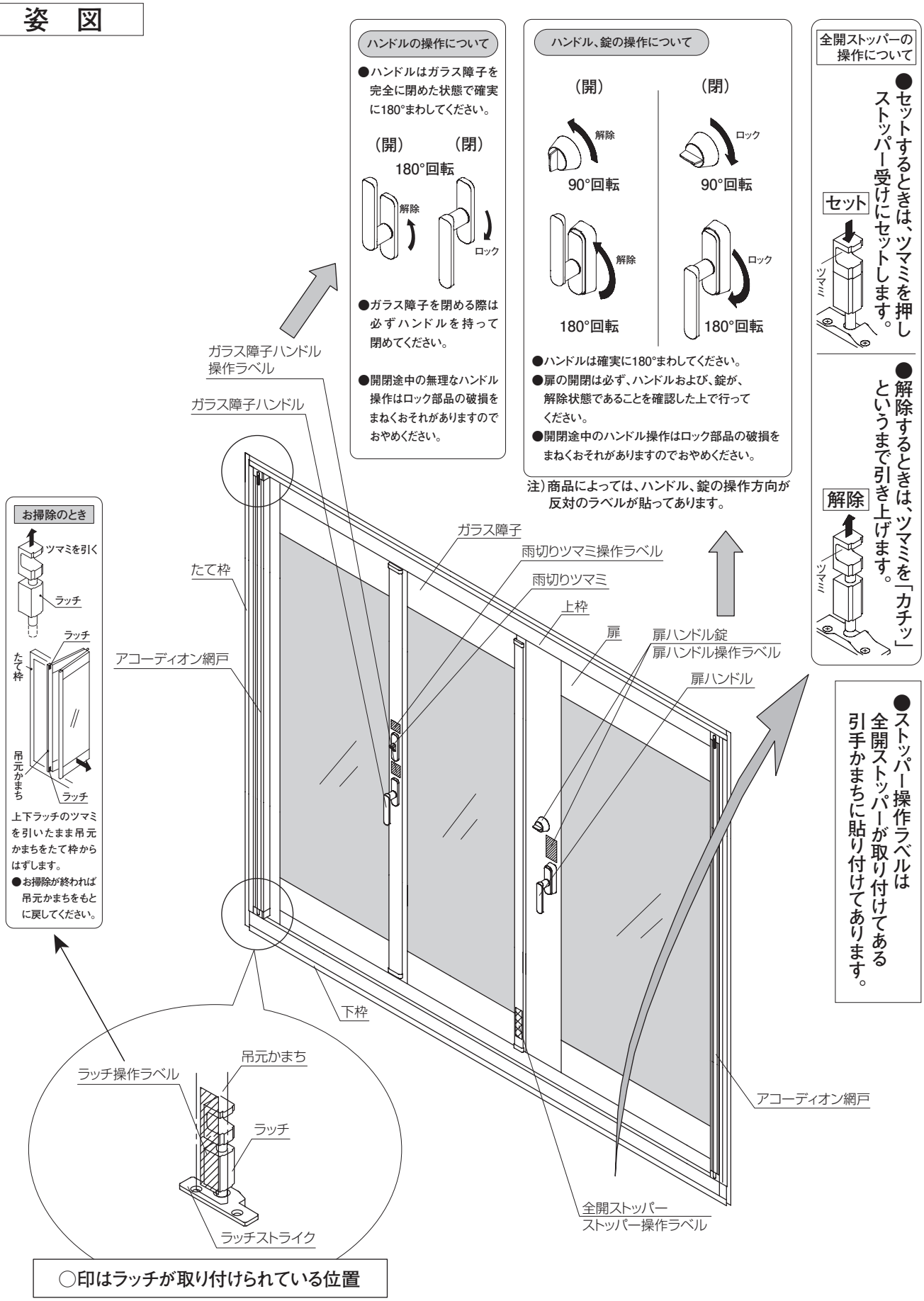
※ほこりの取り除きに効果が見られない場合



取りはずしレールと雨切り弁のすき間に
潤滑剤（シリコーン系）を塗布してください。
（あくまで、効果がない場合のお手入れに限る）

折りたたみ窓袖扉付の取り扱い(レポルテIIドア内蔵型)

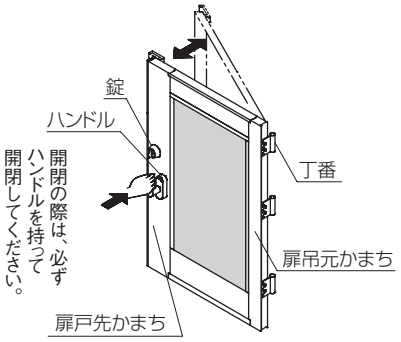
姿　図

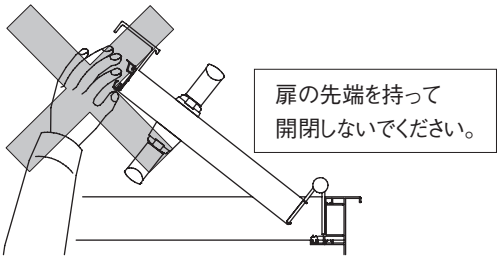


■扉のご使用について

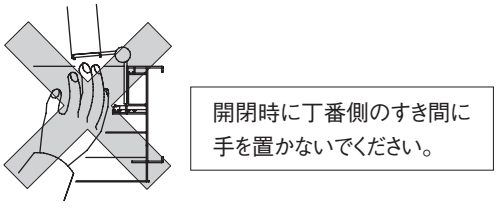
お 願 い

● 扉の開閉にあたっては必ずハンドルを持って操作してください。
ハンドルから手を放したり、扉の先端に手を置くと、突風などにより扉が急に閉まったとき、扉とガラス障子の間で指をはさみ、思わぬけがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。





● 扉の開閉時には、丁番側のすき間に絶対に手を置かないでください。
指をはさんで大けがをするおそれがあります。
特にお子様にはご注意ください。

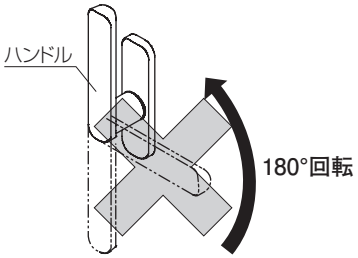


● 風の強いときは扉を閉めて、必ず錠をかけてください。
風により扉が急に開閉することがあり、扉の破損やけがにつながるおそれがあります。

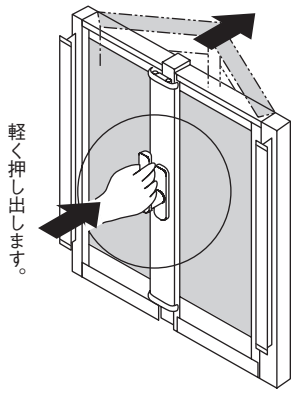
■ガラス障子の開操作およびロック解除操作

■閉→開の場合

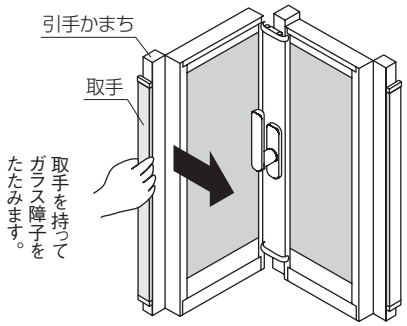
①開けるガラス障子のハンドルを上向きに反時計まわり180°回転させてください。障子のロックが解除されます。
ハンドルが90°前後の状態でガラス障子を開けないでください。ガラスにハンドルが当たり割れるおそれがあります。



②ハンドルを持ってガラス障子を軽く外へ押し出します。

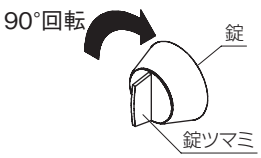
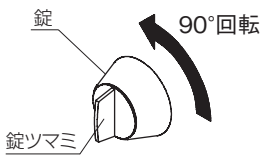
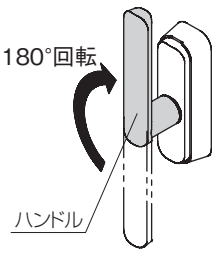
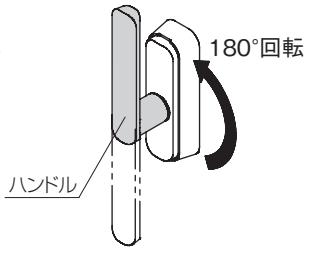
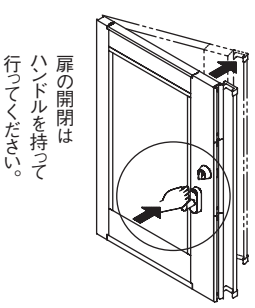
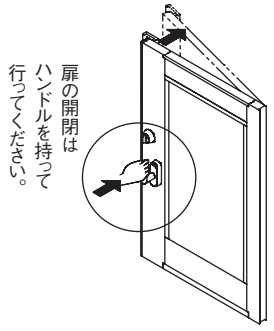


③ハンドルから手を離し、引手かまちの取手を持ってガラス障子を折りたたみ開放します。



■扉の開操作およびロック解除操作

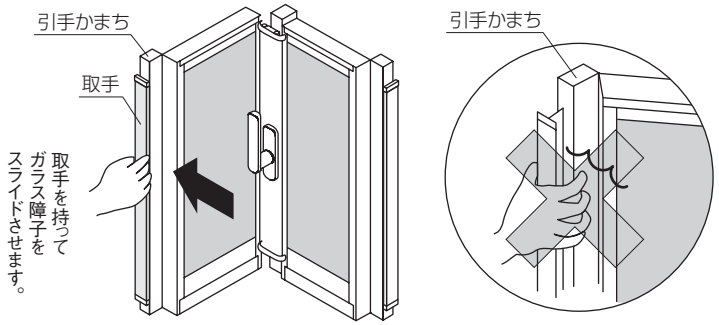
■閉→開の場合

室内側から見て、扉が左側にある場合	室内側から見て、扉が右側にある場合
①錠のツマミが解除（たて）になっていることを確認してください。 	①錠のツマミが解除（たて）になっていることを確認してください。 
②扉のハンドルを**時計まわりに180°**上向きにまわしてください。扉のロックが解除されます。 	②扉のハンドルを**反時計まわりに180°**上向きにまわしてください。扉のロックが解除されます。 
③ハンドルを持って扉を開放してください。 	③ハンドルを持って扉を開放してください。 

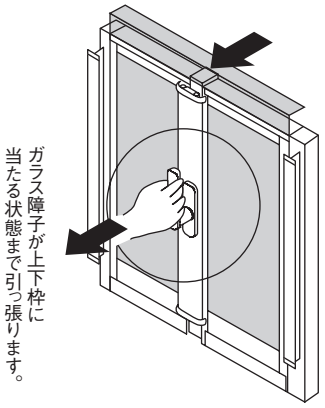
■ガラス障子の閉操作およびロック操作

■開→閉の場合

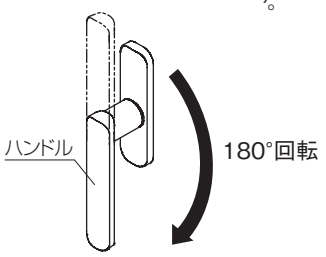
①引手かまちの取手を持ってガラス障子をスライドし閉めてください。引手かまちに手をそえて操作すると、指をはさみ、けがをするおそれがあります。



②ハンドルを持って手前に軽く引き、ガラス障子を完全に閉窓してください。

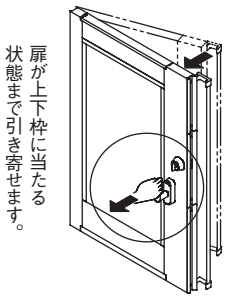
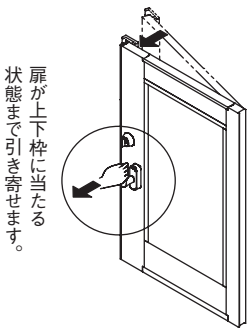
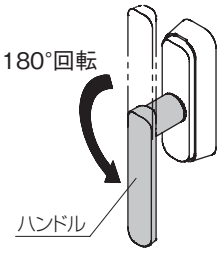
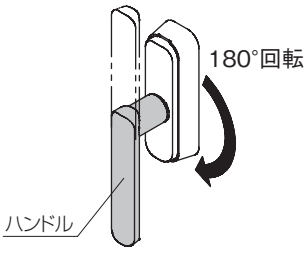
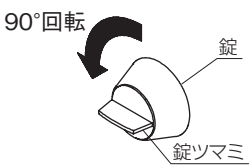
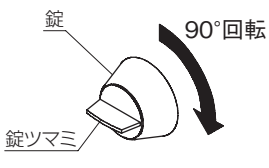


③ガラス障子を完全に閉窓した状態のまま、ハンドルを下向きに時計まわりに180°回転させてください。ガラス障子がロックします。



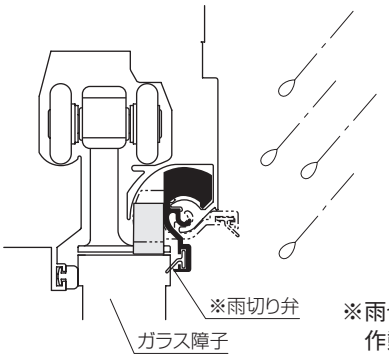
■扉の閉操作およびロック操作

■開→閉の場合

室内側から見て、扉が左側にある場合	室内側から見て、扉が右側にある場合
①ハンドルが上向きになっていることを確認してから、ハンドルを持って扉を完全に引き寄せてください。 	①ハンドルが上向きになっていることを確認してから、ハンドルを持って扉を完全に引き寄せてください。 
②扉を完全に引き寄せた状態のまま、ハンドルを**反時計まわりに180°**下向きにまわしてください。扉がロックします。 	②扉を完全に引き寄せた状態のまま、ハンドルを**時計まわりに180°**下向きにまわしてください。扉がロックします。 
③ハンドルがロックされていることを確認してから、必要に応じて錠をロックしてください。 	③ハンドルがロックされていることを確認してから、必要に応じて錠をロックしてください。 

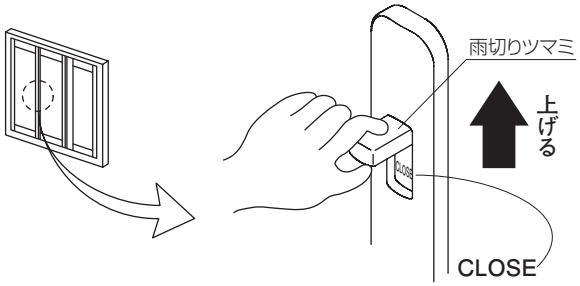
■雨切りツマミの操作

●雨切りツマミは、ガラス障子および、扉の上方から雨水が浸入するのを防ぐために用います。
通常の天気では、グレモンハンドルだけで十分対応できますが、雨・風の強いときは窓の密閉をよくするために雨切りツマミを**CLOSE**の状態にし、雨切り弁を作動させてください。

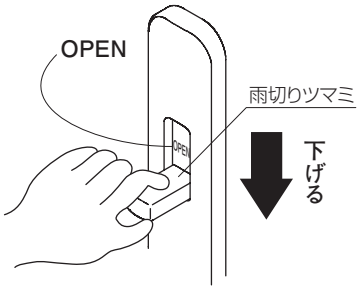


※雨切りツマミの操作により弁が作動します。

①作動・・・雨切りツマミを上げる
ツマミを上げて**CLOSE**の状態にすると雨切り弁が作動します。
ツマミはガラス障子および、扉が完全に閉じていなければ操作できません。



②解除・・・雨切りツマミを下げる
ツマミを下におろして**OPEN**の状態にすると雨切り弁が解除されます。
雨切り弁はガラス障子の上方を覆う構造であり、作動状態であると、ガラス障子を開けることはできません。



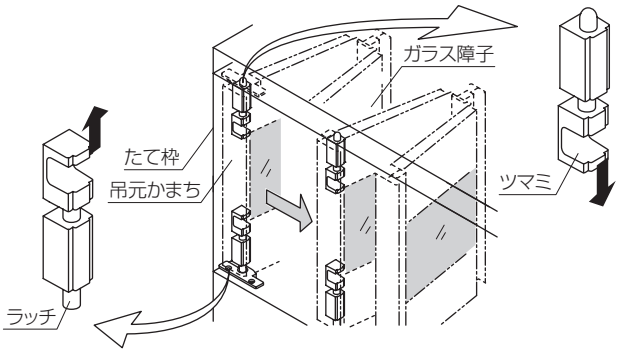
●ガラス障子を開けるときは、雨切りツマミが下にある（**OPEN**の文字が見えている）か必ずご確認ください。
雨切りツマミが上にある（**CLOSE**の文字が見えている）状態で無理にガラス障子を開けようとすると雨切り弁が破損するおそれがあります。

■ガラス障子固定金具（ラッチ）の使い方

ガラス障子の清掃のとき、ガラス障子をたて枠から離し移動させ清掃することができます。

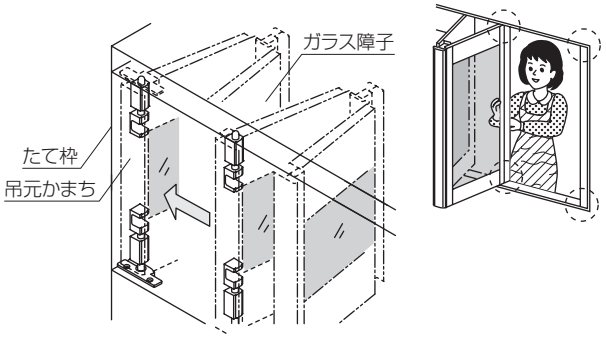
1.ガラス障子固定金具（ラッチ）の解除

●上下ラッチのツマミを引くとラッチは解除され、吊元かまちがたて枠から離れます。
●ガラス障子を移動させてください。



2.ガラス障子固定金具（ラッチ）のロック

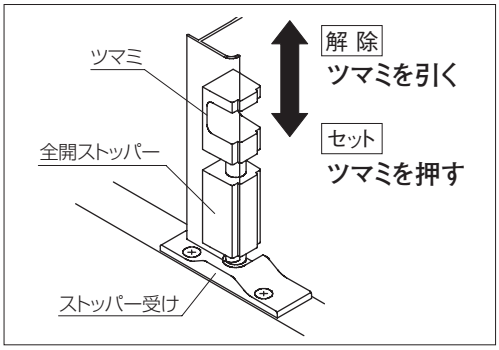
●移動したガラス障子を閉めて、吊元かまちをたて枠に戻してください。
●窓全体のガラス障子を閉めれば所定の位置にラッチがロックされます。



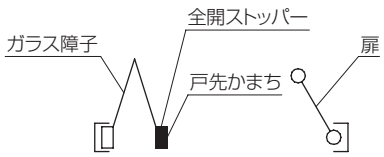
■全開ストッパーの使い方

1.全開ストッパーの使い方

●ガラス障子全開時、戸先用引手かまちの下に取り付けてある全開ストッパーを、ストッパー受けにセットすることで、開放状態が保持されます。
（全開ストッパーの位置は、商品の種類によって異なります）



■全開ストッパーの取り付け位置



3枚パネル
〔開きが反対の場合もあります〕

5枚パネル
〔開きが反対の場合もあります〕

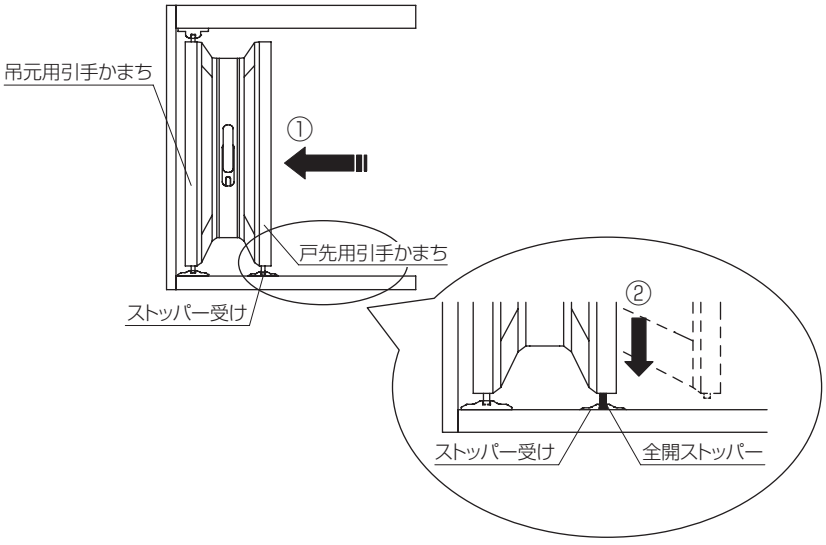
2.全開ストッパーの操作

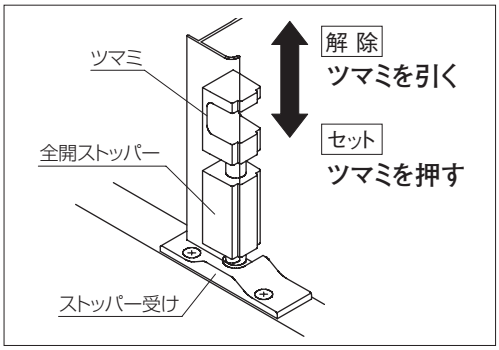
セット方法

①ガラス障子を全開位置まで開きます。
②ストッパー受けのところで、全開ストッパーのツマミ部分を押します。

解除方法

ツマミを「カチッ」と音がするまで、引きます。



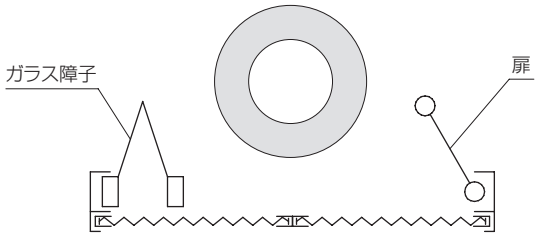


●全開ストッパーのセット時に、ガラス障子の無理な操作は、部品の破損をまねくおそれがありますのでおやめください。
●風が強い場合、ガラス障子を全開ストッパーにて固定してもはずれるおそれがありますので、ガラス障子は固定せず、すぐに閉じてください。

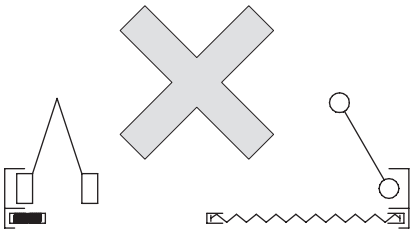
■アコーディオン網戸の操作

● **アコーディオン網戸は、次のことを守って操作してください。**
誤った操作をすると、手をはさんだり、虫が入るおそれがあります。

①ガラス障子、扉を全開した場合は、両側のアコーディオン網戸を操作してください。



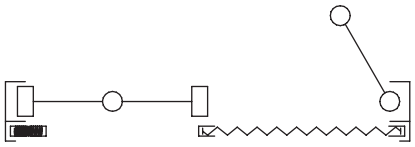
ガラス障子および、扉を全開した場合、必ず両側の
アコーディオン網戸を操作してください。



アコーディオン網戸は、中央付近までしか引けません。

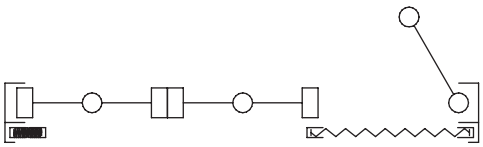
②網戸を片側のみ使用する場合は、扉を開放し、扉側の網戸を操作してください。

● パネル3枚の場合（ガラス障子2枚+扉1枚）
扉を開放した場合のみ使用できます。

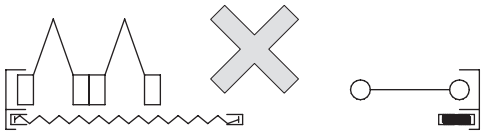


〔 パネルの組み合わせによっては、
図と反対の場合もあります 〕

● パネル5枚の場合（ガラス障子4枚+扉1枚）
扉を開放した場合のみ使用できます。



〔 パネルの組み合わせによっては、
図と反対の場合もあります 〕



**アコーディオン網戸は、中央付近までしか引くことが
できないため、ガラス障子のみを開放した状態での
網戸使用はできません。**

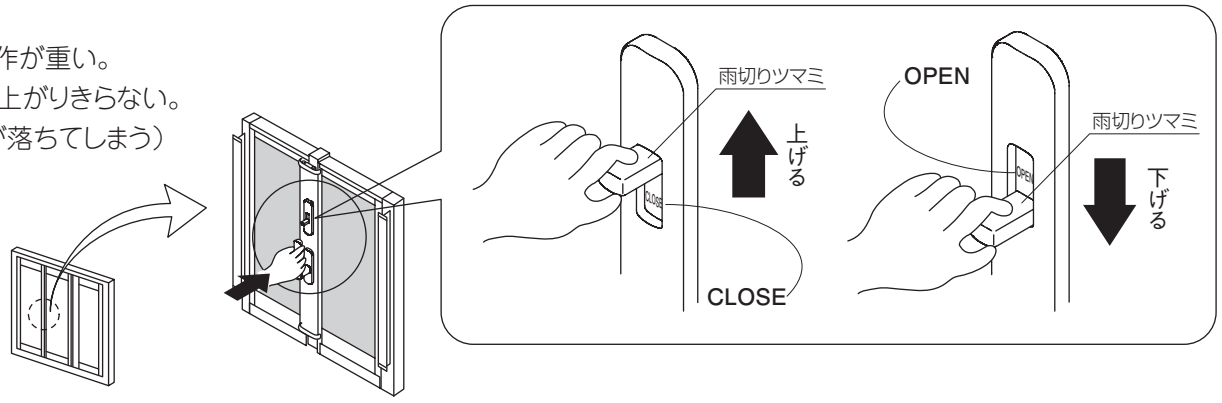
扉のみを開放して使用する場合、**必ず扉側のアコーディオン網戸**をご使用ください。
ガラス障子側の網戸を使用しますと、網戸がガラス障子のハンドルにぶつかり、手をはさむおそれがあります。
また、風の強い日は、扉が急に開閉することがあり、破損やけがにつながるおそれがありますので、**網戸は使用せず、
ガラス障子、扉は閉じてください。**

■雨切り弁について

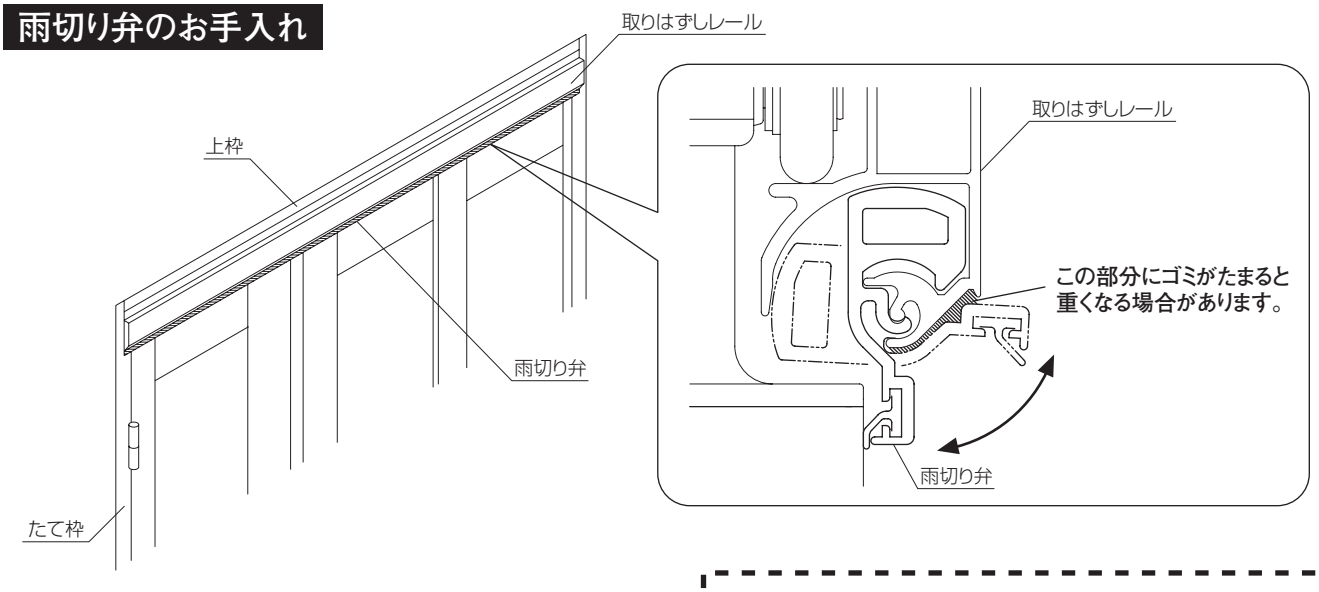
ツマミ操作時に、下記のような現象が見られる場合は、雨切り弁のお手入れをお願いします。

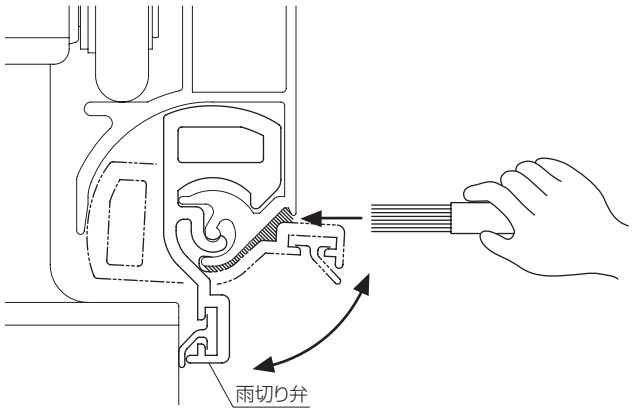
現象

- ツマミ操作が重い。
- 最後まで上がりきらない。
  （ツマミが落ちてしまう）



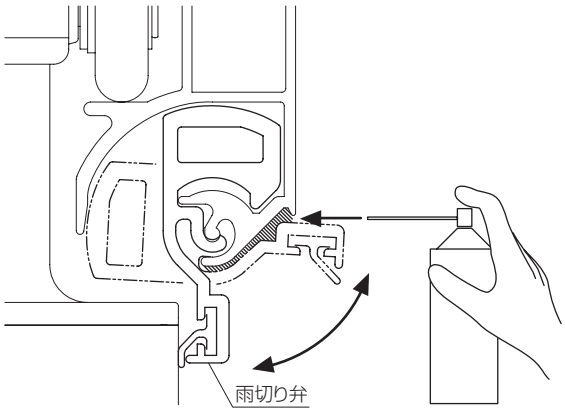
雨切り弁のお手入れ





ブラシを使用してゴミ･ほこりを
取り除いてください。

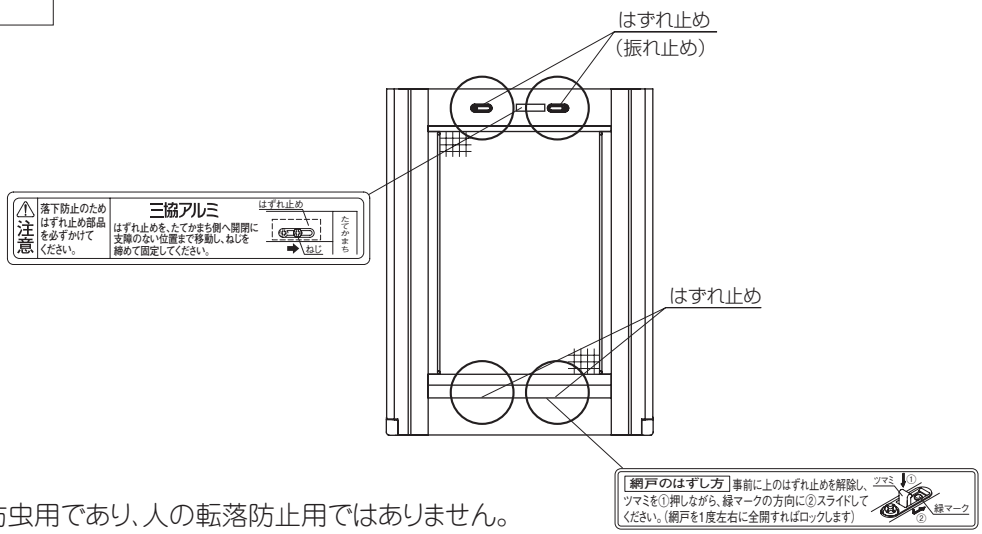
※ほこりの取り除きに効果が見られない場合



取りはずしレールと雨切り弁のすき間に
潤滑剤（シリコーン系）を塗布してください。
（あくまで、効果がない場合のお手入れに限る）

可動網戸の取り扱い(MTG)

姿　図

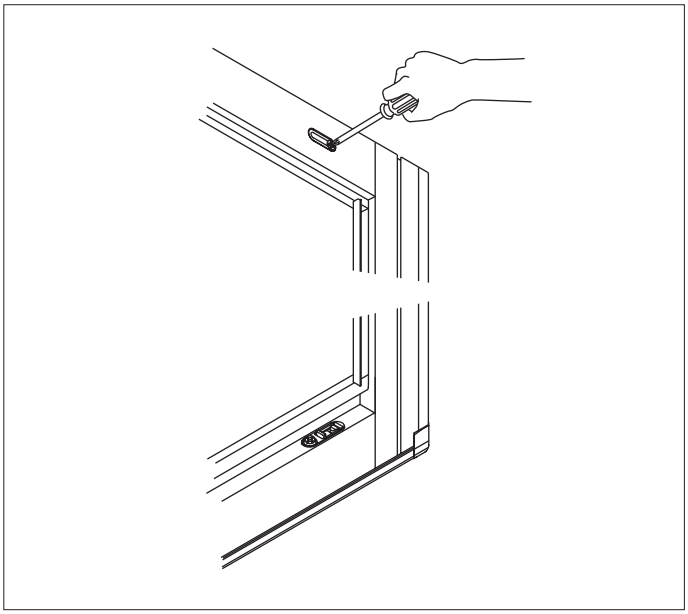


- この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
  網戸に寄りかかったり押したりしないでください。
  転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
  はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。



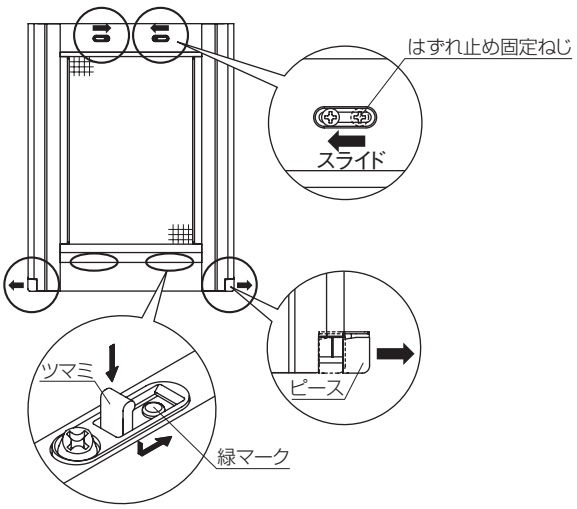
■はずれ止めの取りはずし方

- 可動網戸は、脱落を防止するため、網戸の上部および下部にはずれ止め部品が取り付けられています。
- 網戸をはずすときは、はずれ止めの解除操作をし網戸を持ち上げて、網戸の下部を外部側に押し出し後はずしてください。
- 網戸を取り付けたときは、はずれ止め部品を必ずセットしてください。

①網戸上部のはずれ止め固定ねじをゆるめて（はずれ止めが動く程度）、はずれ止め固定ねじを網戸中央側へスライドさせてください。

②網戸下部のツマミを押しながら、緑マークの方向にスライドさせてください。
スライドさせるとピースが出ます。ピースが出ることで、はずれ止めが解除されたことを確認できます。

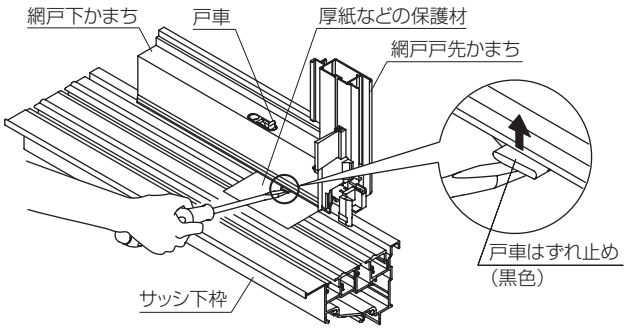
③網戸を取りはずしてください。



■ノンレール用網戸がはずれにくい場合

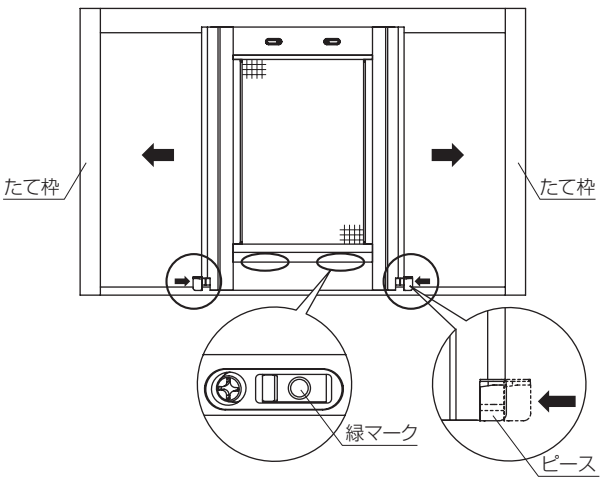
- 網戸の調整によっては、戸車のはずれ止めがサッシ下枠と干渉し、網戸がはずれにくい場合があります。その場合、マイナスドライバーなどではずれ止めを上げながら網戸の下部を外部側に押し出してください。

※ キズ防止のため、右図のように厚紙などの保護材を敷いて作業してください。

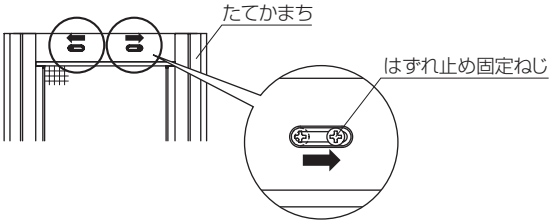


■はずれ止めの取り付け方

①網戸をサッシ枠に建て込み後、一度左右のたて枠に当たるまで網戸を移動し、網戸下部に緑マークが出ているかを確認してください。



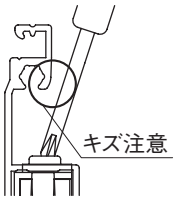
②網戸上部のはずれ止め固定ねじを、たてかまち側へ開閉に支障のない位置までスライドし、ねじを締めて固定してください（網戸を上へ持ち上げ、ねじが動かないことを確認してください）。

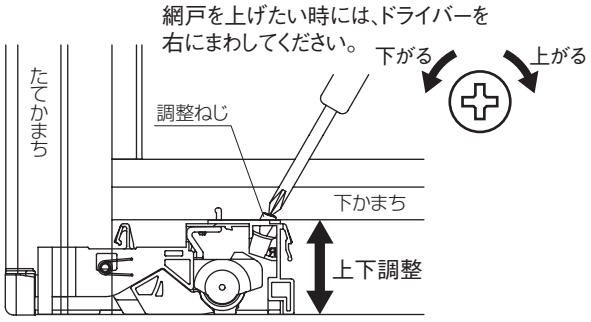


■戸車調整

●網戸が枠に正しく納まらず、すき間やガタつきがあるときは、網戸下部の戸車を上下調整することで、傾きを修正し、枠に納まるようにすることができます。

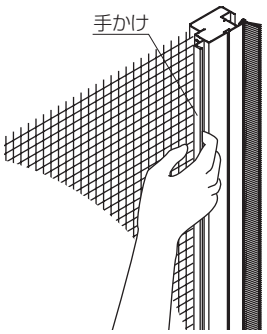
※戸車調整時、プラスドライバーで下かまちにキズをつけないように、十分注意して調整を行ってください。





■網戸使用時のお願い

●網戸の開閉は、網戸たてかまちの手かけに手をかけて行ってください。網戸たてかまちの全体を持つと、モヘヤに手の干渉グセがつくことがあります。

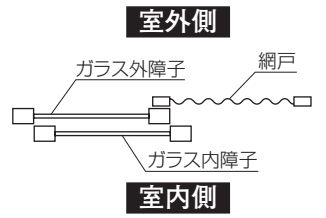


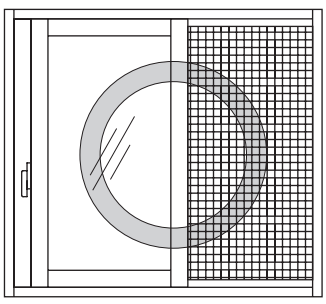
■引違い窓の場合

●網戸は室内側より見て右側に移動して使用してください。

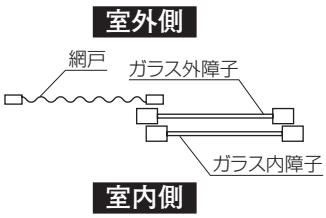
●室内側より見て左側で網戸を使用される場合は、ガラス外障子を全開にしてください。
全開にしないと、ガラス外障子と網戸の間にすき間ができます。

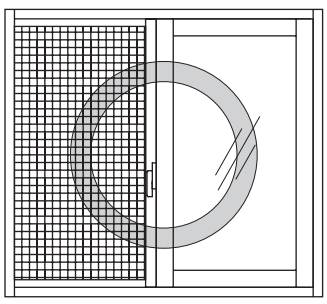
●長期間、網戸をガラス外障子側で使用された後、ガラス内障子側で使用される際に、モヘヤにクセがつき、たて枠とモヘヤにすき間ができることがあります。
クセは徐々に戻りますが、モヘヤを指でなぞると直すことができます。
網戸は同じ側（ガラス外障子または内障子側）でのご使用をおすすめします。



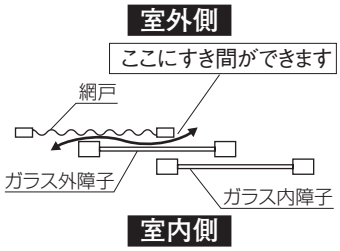


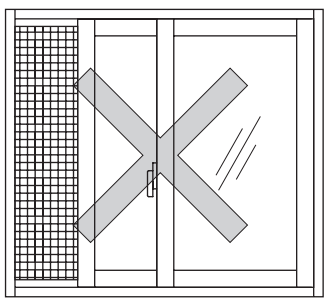
網戸（内観右側）





網戸（内観左側）
ガラス外障子（全開状態）

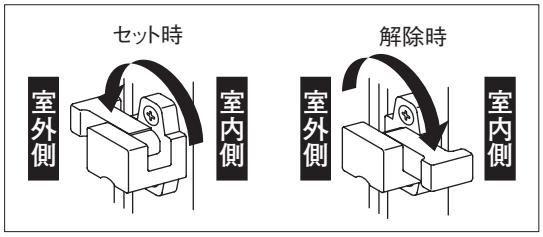




網戸（内観左側）
ガラス外障子（半開状態）

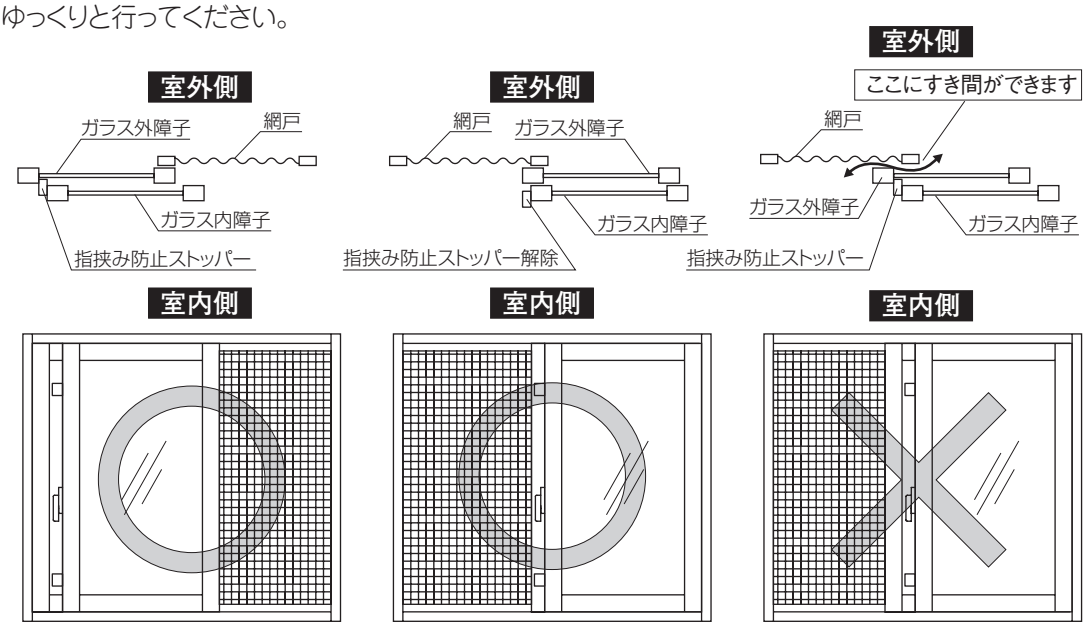
■指挟み防止ストッパー（オプション）使用時のお願い

●指挟み防止ストッパー



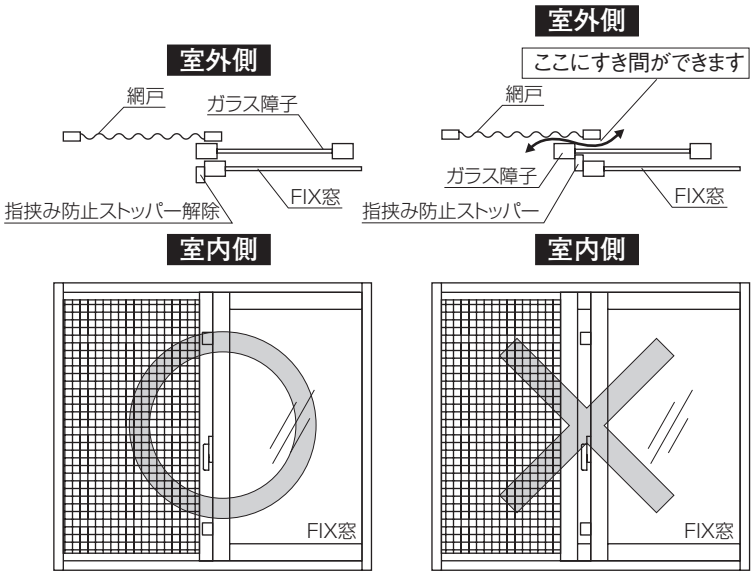
■引違い窓の場合

- ●指挟み防止ストッパーをセット状態で網戸を使用される場合は、網戸を室内側より見て右側に移動してください。
- ●室内側より見て左側で網戸を使用される場合は、指挟み防止ストッパーを解除しガラス外障子を全開にしてください。
- ●ガラス障子の開閉動作は、ゆっくりと行ってください。



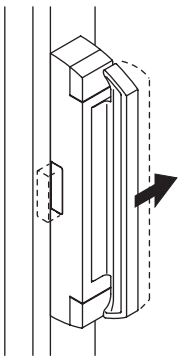
■外動片引き窓の場合

- ●網戸を使用される場合は、指挟み防止ストッパーを解除してください。
- ●ガラス障子の開閉動作は、ゆっくりと行ってください。

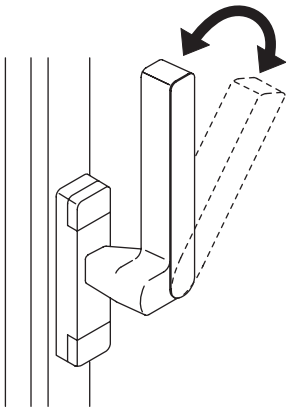


■レバレッジ引手・ユニバーサルハンドル・大型把手（オプション）使用時のお願い

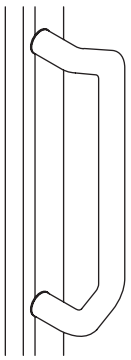
●レバレッジ引手



●ユニバーサルハンドル

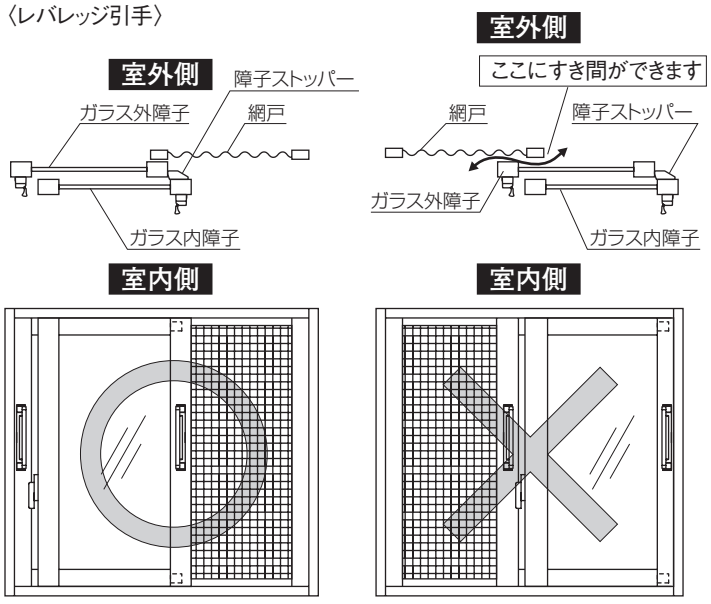


●大型把手

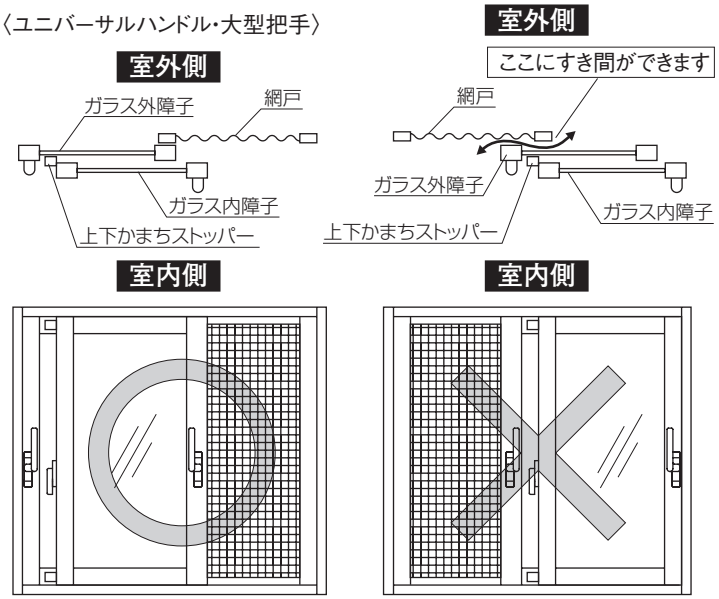


- レバレッジ引手、ユニバーサルハンドル、大型把手が取り付いているサッシの場合は、網戸を室内側より見て右側に移動して使用してください。
- ガラス障子の開閉動作は、ゆっくりと行ってください。

〈レバレッジ引手〉



〈ユニバーサルハンドル・大型把手〉



■網戸のお手入れ

網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光が当たったり、風雨にさらされるなど、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網がはずれることがあります。

時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部のはずれのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。
異常があれば、お早めに張り替えてください。

■お手入れ方法

網戸をはずし、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ・スポンジ※などで水洗いしてください。油汚れがひどい場合は、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をつけた柔らかい布・スポンジ※で軽く拭いてください。なお、網戸のはずし方は、「商品別使用上のご注意とお願い」および「各部の調整方法」についての各窓の種類を参照してください。

●網戸の枠の部分は、サッシのお手入れと同じ方法で行ってください。

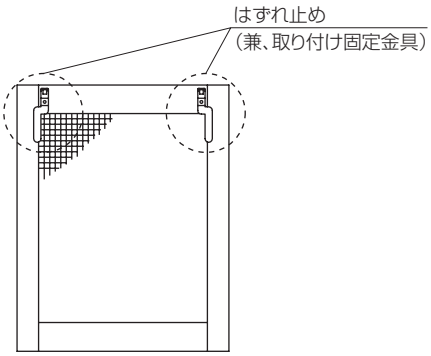
■お手入れのご注意

網の張ってある側を上にしたり、たてかけたままで洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがありますので、必ず網の張ってある側を下にして床に置いて清掃してください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

固定網戸（外部取り付け）の取り扱い(MTG)

姿　図



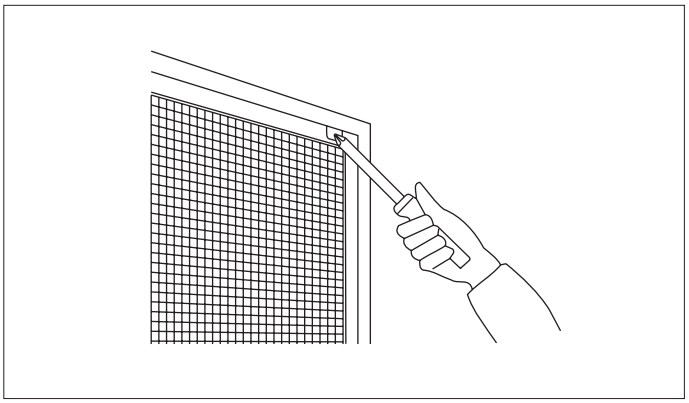
●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
網戸に寄りかかったり押したりしないでください。
転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠注　意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

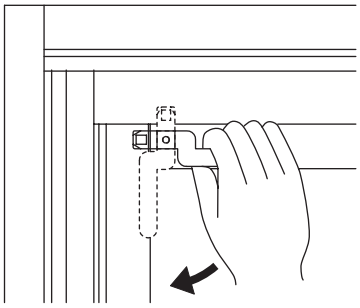
●お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

●風が強い時は作業を行わないでください。網戸が落下したり、商品にぶつかりキズがつくおそれがあります。



■はずれ止め（兼、取り付け固定金具）について

●網戸の脱落を防止し、取り付けする固定金具で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。はずれ止め（兼、取り付け固定金具）が機能していないと、強風時に脱落するおそれがあります。



●金具を回転させて、固定する。

■網戸のお手入れ

網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光が当たったり、風雨にさらされるなど、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網がはずれることがあります。

時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部のはずれのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。
異常があれば、お早めに張り替えてください。

■お手入れ方法

網戸をはずし、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ・スポンジ※などで水洗いしてください。油汚れがひどい場合は、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をつけた柔らかい布・スポンジ※で軽く拭いてください。なお、網戸のはずし方は、「商品別使用上のご注意とお願い」および「各部の調整方法」についての各窓の種類を参照してください。

●網戸の枠の部分は、サッシのお手入れと同じ方法で行ってください。

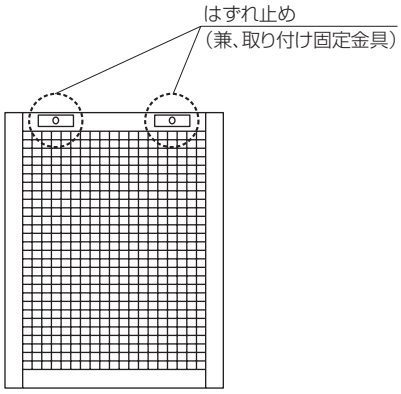
■お手入れのご注意

網の張ってある側を上にしたり、たてかけたままで洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがありますので、必ず網の張ってある側を下にして床に置いて清掃してください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

固定網戸（内部取り付け）の取り扱い(MTG)

姿　図



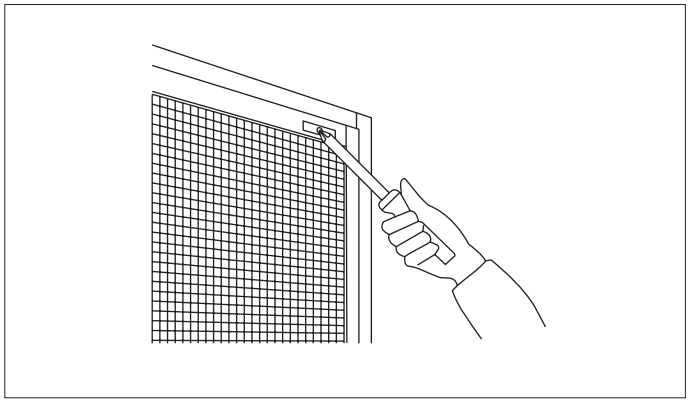
●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
網戸に寄りかかったり押したりしないでください。
転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

⚠注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

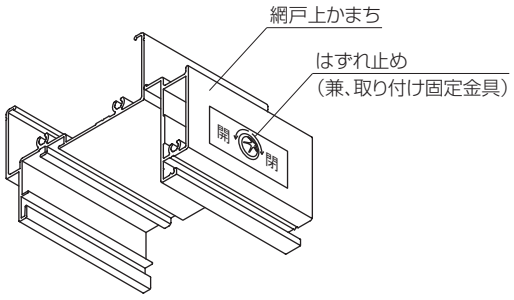
●お手入れなどのために網戸をはずした後、再び窓枠に取り付けたときは、表示ラベルに従ってはずれ止め部品を必ずかけてください。また、ご使用中、はずれ止め部品がずれることがあります。時々点検してください。
はずれ止め部品が正しくかかっていないと、網戸が窓枠からはずれて落下し、人身事故や物損事故につながるおそれがあります。

●風が強い時は作業を行わないでください。網戸が落下したり、商品にぶつかりキズがつくおそれがあります。



■はずれ止め（兼、取り付け固定金具）について

●網戸の脱落防止を兼ねた、取り付け固定金具で、網戸の上かまちの両端に取り付けられています。はずれ止め（兼、取り付け固定金具）が機能していないと、開閉時や強風時に脱落するおそれがあります。

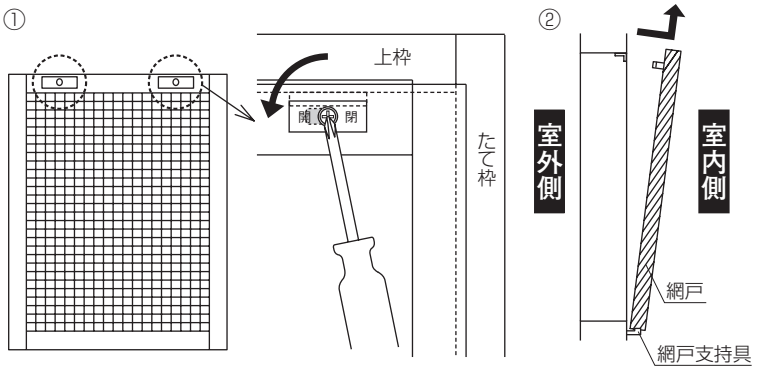


■網戸の取りはずし

●手の届かない場所に窓がある場合は、足場の確保を確実にして操作してください。

①網戸上部2箇所のはずれ止め（兼、取り付け固定金具）をプラスドライバーで開の方向（逆時計まわり）にまわしてください。網戸上部が上枠よりはずれます。

②網戸を持ち上げ、下枠の網戸支持具より取りはずしてください。



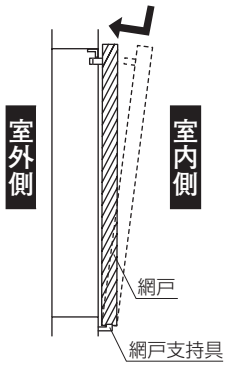
■網戸の取り付け

●手の届かない場所に窓がある場合は、足場の確保を確実にして操作してください。

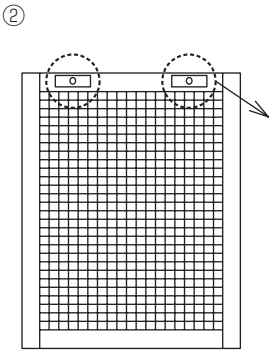
①網戸下部を下枠の網戸支持具にはめ込み、網戸を枠に押し当てます。

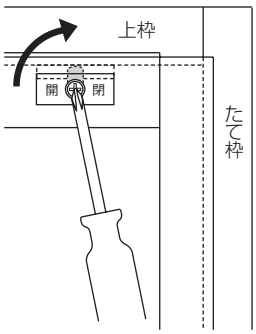
②網戸上部2箇所のはずれ止め（兼、取り付け固定金具）をプラスドライバーで閉の方向（時計まわり）にまわして網戸を枠に固定させてください。

①



②





■網戸のお手入れ

網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光が当たったり、風雨にさらされるなど、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網がはずれることがあります。

時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部のはずれのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。
異常があれば、お早めに張り替えてください。

■お手入れ方法

網戸をはずし、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ・スポンジ※などで水洗いしてください。油汚れがひどい場合は、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をつけた柔らかい布・スポンジ※で軽く拭いてください。なお、網戸のはずし方は、「商品別使用上のご注意とお願い」および「各部の調整方法」についての各窓の種類を参照してください。

●網戸の枠の部分は、サッシのお手入れと同じ方法で行ってください。

■お手入れのご注意

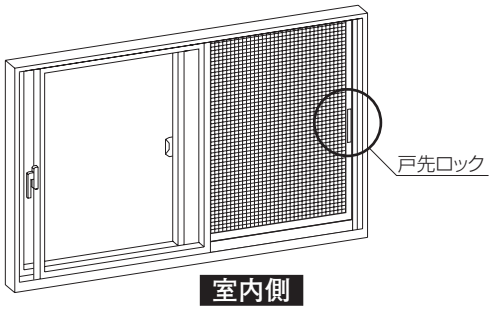
網の張ってある側を上にしたり、たてかけたままで洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがありますので、必ず網の張ってある側を下にして床に置いて清掃してください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

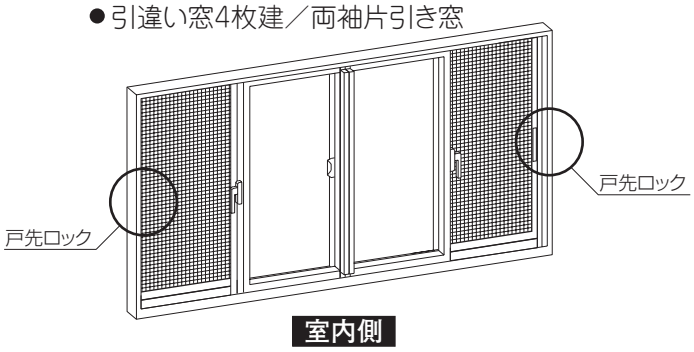
網戸自走防止部品(戸先ロック)の取り扱い(MTG)

姿　図

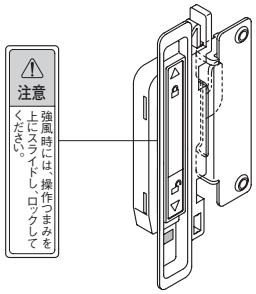
●引違い窓2枚建／片引き窓



●引違い窓4枚建／両袖片引き窓

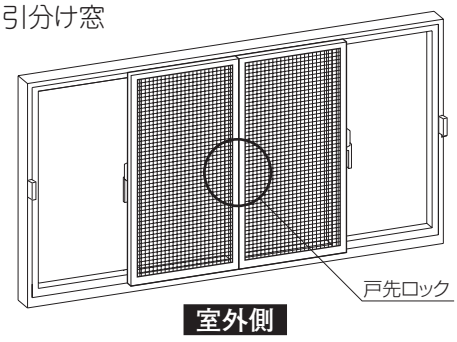


■戸先ロックの施錠状態



●この商品は強風時の網戸自走を防止するものであり、人の転落防止用ではありません。

●引分け窓

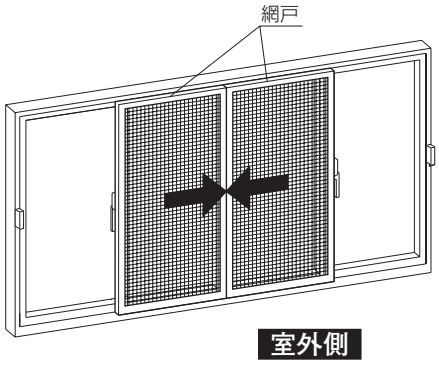


⚠ 注 意

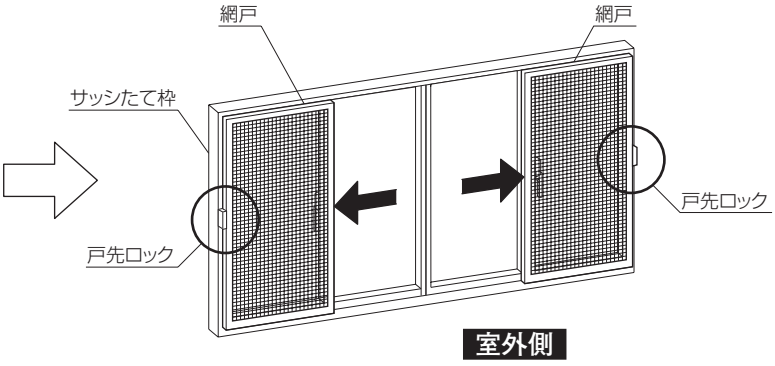
安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

●風の強いときは、網戸をサッシたて枠に押し当ててから、戸先ロックで施錠してください。
戸先ロックで施錠しないと網戸が急激な開閉で衝撃を受け、破損などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

●引違い窓4枚建で網戸を中央で使用している場合、サッシたて枠側に網戸を引き分けて、戸先ロックで施錠してください。



中央で使用の場合



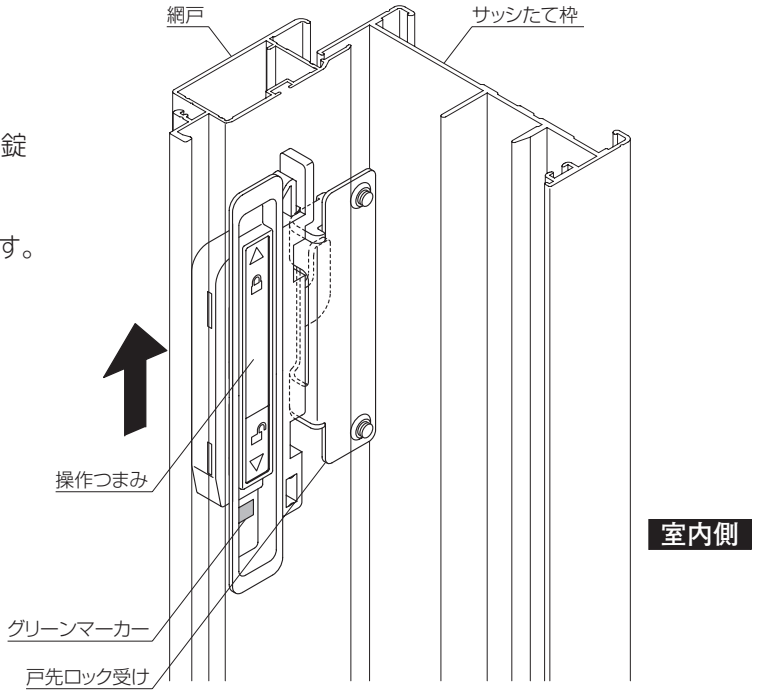
強風時は引き分ける

■戸先ロックの操作

■施錠する

- 網戸を確実にサッシたて枠に押し当ててください。
- 戸先ロックの操作つまみを上にスライドさせ、網戸を施錠してください。

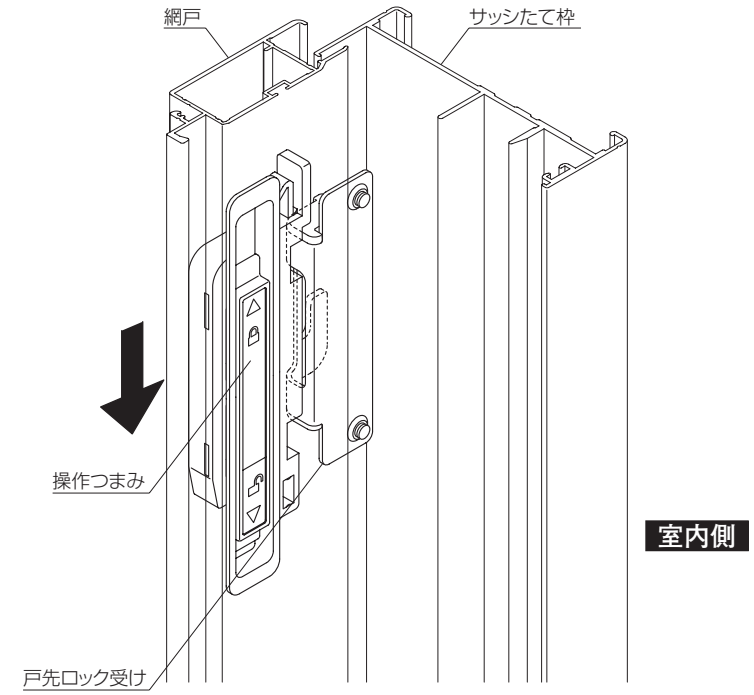
  グリーンマーカーが表示されている場合は施錠状態です。
- 戸先ロック操作後、網戸を引いて確実に施錠されているかを確認してください。



■解錠する

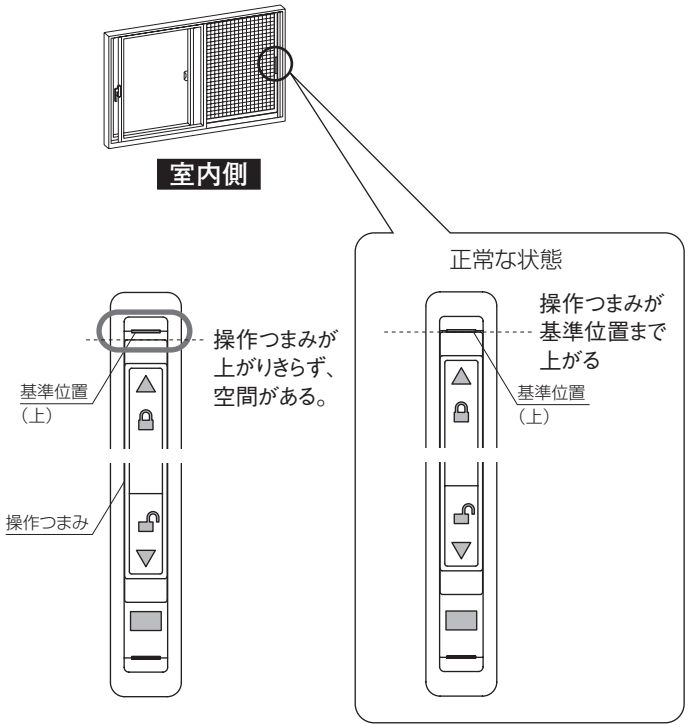
- 戸先ロックの操作つまみを下にスライドさせ、網戸を解錠してください。
- 操作つまみが下にスライドしにくい場合は、網戸たてかまちをサッシたて枠に押し当ててから操作してください。

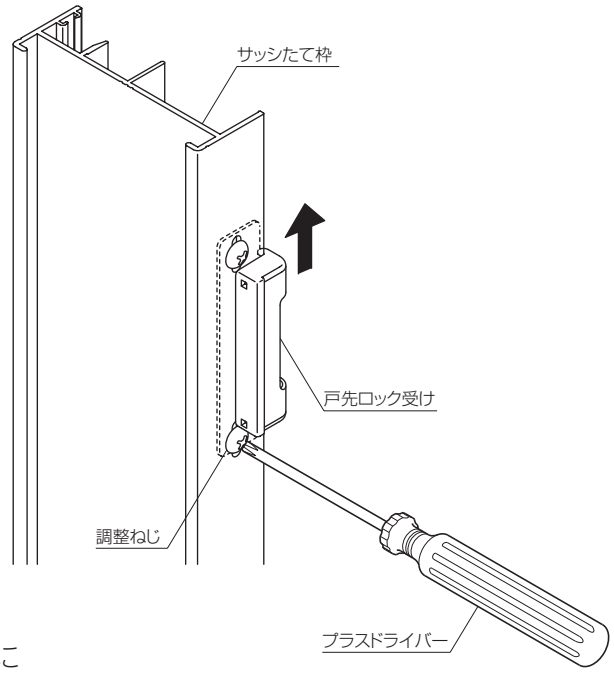
※たて枠から網戸が離れた状態で、戸先ロックを施錠しないでください。その状態で網戸を閉めると、部品が破損するおそれがあります。



■戸先ロック受けの調整

●戸先ロックを施錠しても操作つまみが基準位置（上）まで上がらない場合は、
戸先ロック受けの位置を調整してください。





■調整方法

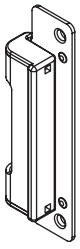
①解錠状態にて戸先ロック受けを固定しているねじをゆるめて、上に
スライドしてください。
②ゆるめた調整ねじを締め付けてください。
③操作つまみが基準位置（上）まで上がることを確認してください。

●戸先ロック受けの調整ねじは取りはずさずにゆるめて調整してください。
部品がサッシたて枠から脱落して思わぬけがや事故につながります。

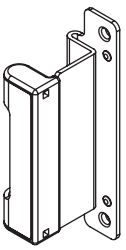
■戸先ロック受けの種類

網戸本体のタイプごとに4種類の戸先ロック受けがあります。

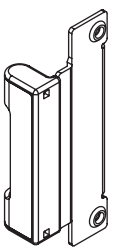
●可動網戸



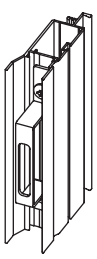
●持ち出し網戸



●持ち出し網戸（補助材付き）



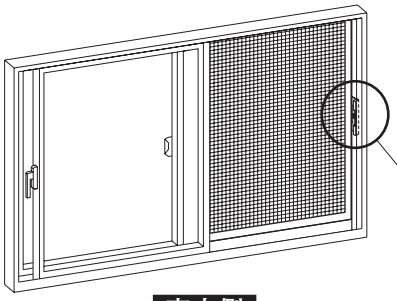
●引分け用



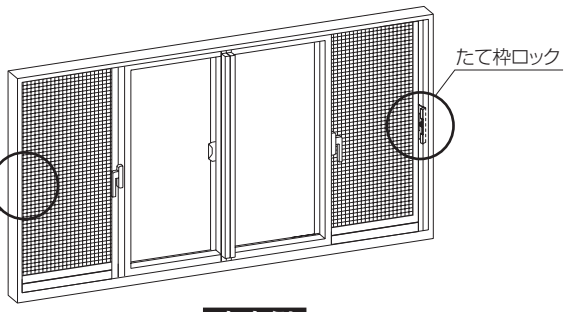
網戸自走防止部品（たて枠ロック）の取り扱い(MTG)

姿　図

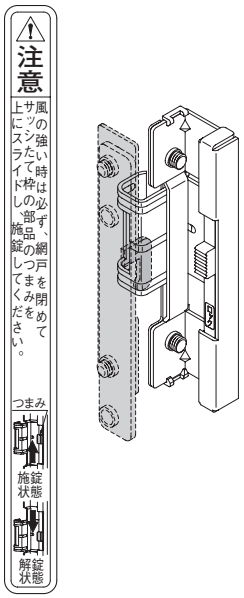
●引違い窓2枚建／片引き窓



●引違い窓4枚建／両袖片引き窓



■たて枠ロックの施錠状態



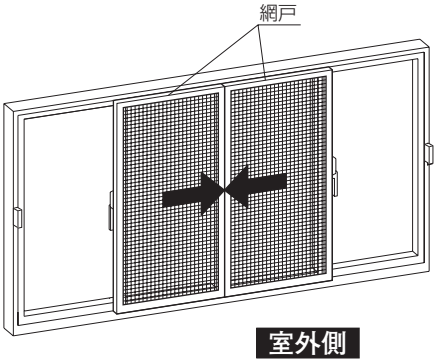
●この商品は強風時の網戸自走を防止するものであり、
人の転落防止用ではありません。

⚠ 注 意

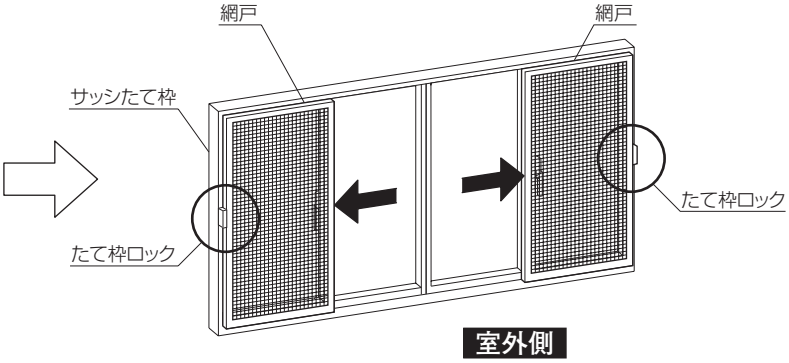
安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

●風の強いときは、網戸をサッシたて枠に押し当ててから、たて枠ロックで施錠してください。
たて枠ロックで施錠しないと網戸が急激な開閉で衝撃を受け、破損などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

●引違い窓4枚建で網戸を中央で使用している場合、サッシたて枠側に網戸を引き分けて、たて枠ロックで施錠してください。



中央で使用の場合



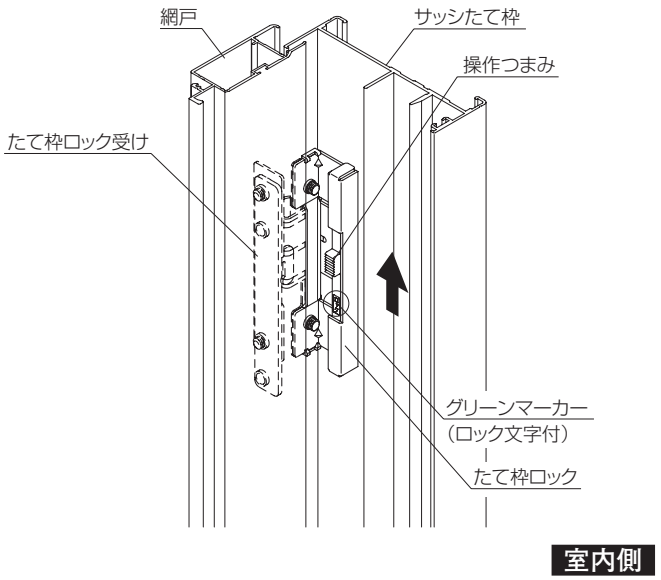
強風時は引き分ける

■たて枠ロックの操作

■施錠する

- 網戸を確実にサッシたて枠に押し当ててください。
- たて枠ロックの操作つまみを上にスライドさせ、網戸を施錠してください。

  グリーンマーカーでロックの文字が表示されている場合は、網戸が施錠状態です。

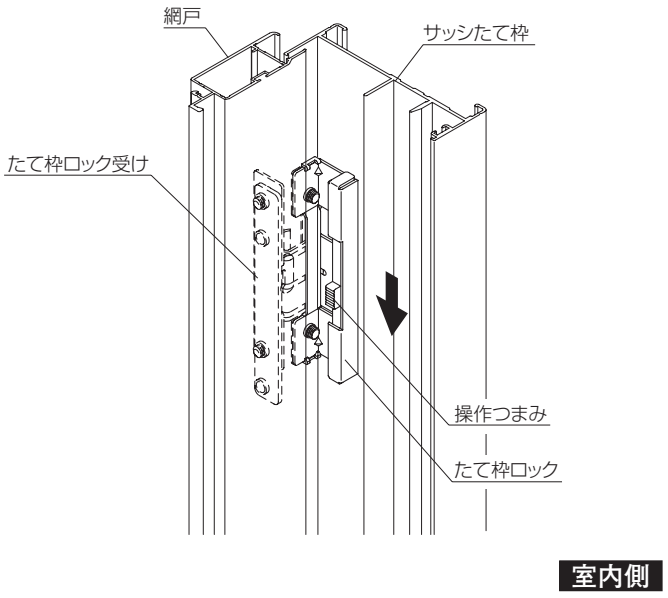


- たて枠ロック操作後、網戸を引いて確実に施錠されているかを確認してください。

■解錠する

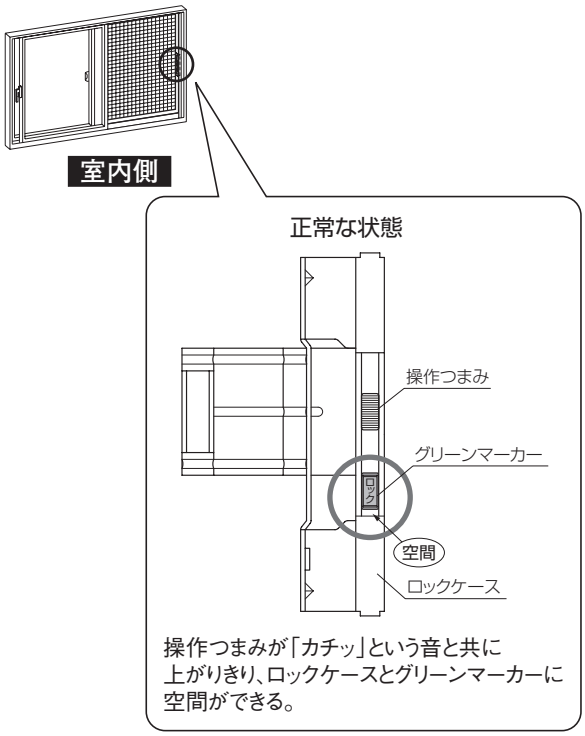
- たて枠ロックの操作つまみを下にスライドさせ、網戸を解錠してください。
- 操作つまみが下にスライドしにくい場合は、網戸たてかまちをサッシたて枠に押し当ててから操作してください。

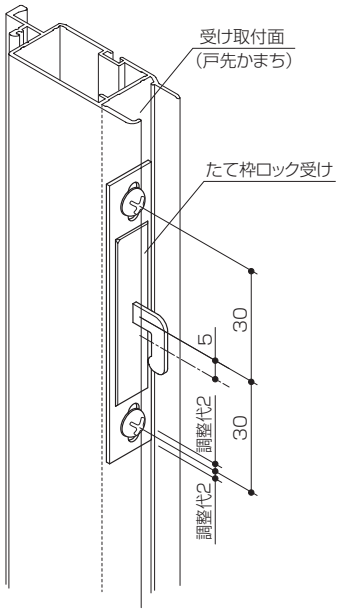
※たて枠から網戸が離れた状態で、たて枠ロックを施錠しないでください。その状態で網戸を閉めると、部品が破損するおそれがあります。



■たて枠ロック受けの調整

●たて枠ロックを施錠してもグリーンマーカーが完全に上がらない場合は、
たて枠ロック受けの位置を調整してください。





■調整方法

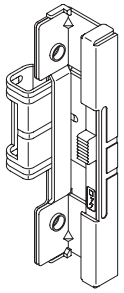
①解錠状態にてたて枠ロック受けを固定しているねじをゆるめ、上にスライド
してください。
②ゆるめた調整ねじを締め付けてください。
③グリーンマーカーが完全に上がることを確認してください。

●たて枠ロック受けの調整ねじは取りはずさずにゆるめて調整してください。
部品が網戸戸先かまちから脱落して思わぬけがや事故につながります。

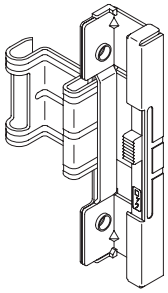
■たて枠ロックの種類

網戸本体のタイプごとに3種類のたて枠ロックがあります。

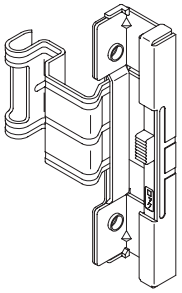
●可動網戸用



●持ち出し網戸用

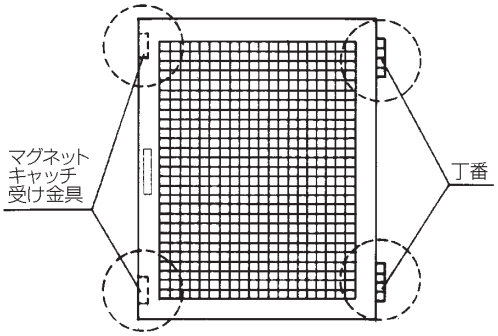


●持ち出し網戸35･36溝専用



開き網戸の取り扱い(MTG)

姿　図



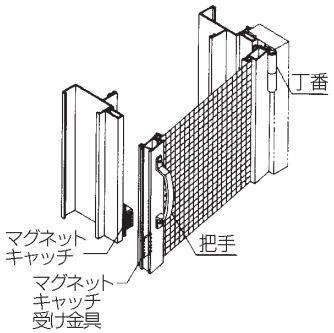
●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
網戸に寄りかかったり押したりしないでください。
転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■網戸の開閉

●この網戸は、外部側窓の開閉操作のために、室内側へ開く網戸になっています。網戸の吊り元側は丁番で、施錠側はマグネットキャッチで固定されています。網戸の開閉は、把手を引くだけで開けることができます。

●強風時には、風で網戸が開く場合がありますので、外部の窓を閉めてください。

●マグネットキャッチは引き渡し時に調整してありますが、使用中にねじがゆるみマグネットの吸引力が変わる場合がありますので、その時はマグネットキャッチの取り付けねじをゆるめて調整してください。



■網戸のお手入れ

網戸の網や網を押さえている網押さえは、樹脂部品です。直射日光が当たったり、風雨にさらされるなど、ご使用いただいている住宅の立地条件や自然環境によって、劣化が早く進むことがあります。劣化したままにしておきますと、網が破れたり、網がはずれることがあります。

時々点検して、網の破れ、大きなたるみ、周辺部のはずれのほか網押さえのひび割れなどがないか確認してください。
異常があれば、お早めに張り替えてください。

■お手入れ方法

網戸をはずし、網の張ってある側を下にして床に置き、柔らかいブラシ・スポンジ※などで水洗いしてください。油汚れがひどい場合は、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をつけた柔らかい布・スポンジ※で軽く拭いてください。なお、網戸のはずし方は、「商品別使用上のご注意とお願い」および「各部の調整方法」についての各窓の種類を参照してください。

●網戸の枠の部分は、サッシのお手入れと同じ方法で行ってください。

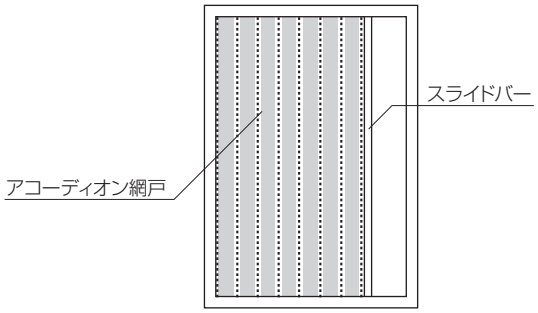
■お手入れのご注意

網の張ってある側を上にしたり、たてかけたままで洗うと、網が押されてゆるんだり、破れたりするおそれがありますので、必ず網の張ってある側を下にして床に置いて清掃してください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

アコーディオン網戸Ⅲの取り扱い

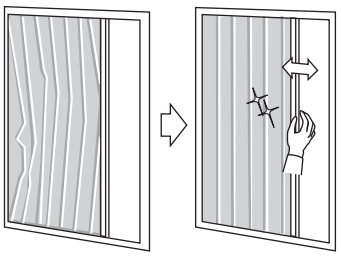
姿　図



●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。
網戸に寄りかかったり押したりしないでください。
転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■網戸の開閉方法

●網戸を開閉するときは、スライドバーに手をかけて行ってください。
この時、ネットを一緒につかまないよう注意してください。
●ネットにたるみが生じた場合は、開閉動作を行って戻してください。



■使用上の注意

●長期間ネットを出したままにすると、収納性が悪くなります。使用しないときにはこまめに収納するようにしてください。
●無理な開閉や乱暴な取り扱いをすると、網戸を破損するおそれがありますので、開閉はゆっくり行ってください。
●強風時には使用しないでください。
●お子様が本商品で遊ばないようにご注意ください。

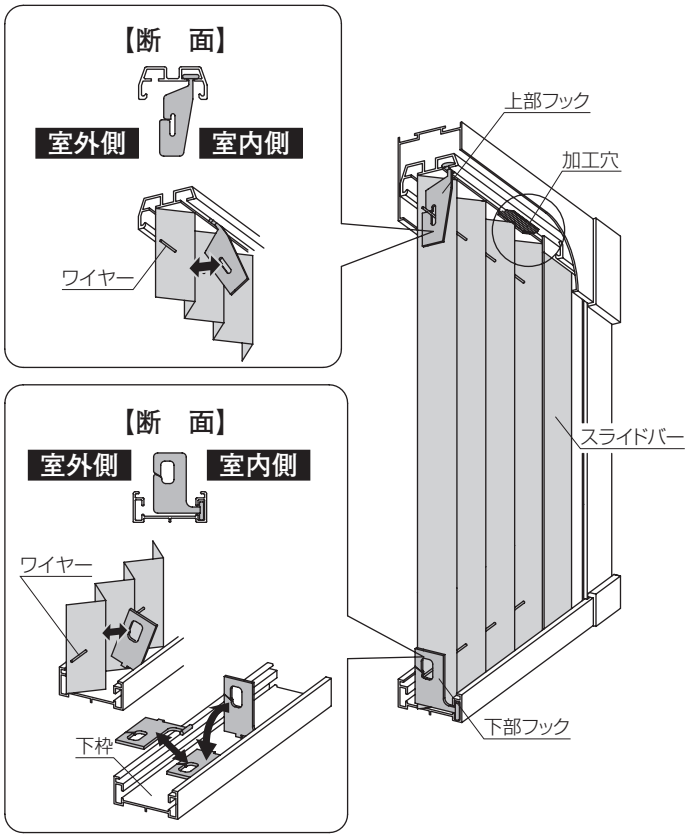
⚠ 注 意

●網戸が脱落するおそれがあります。取り付け後、収納枠・戸当り枠の赤表示がラッチつまみに隠れていること、また網戸本体を引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。

■網戸本体の取りはずし方・取り付け方

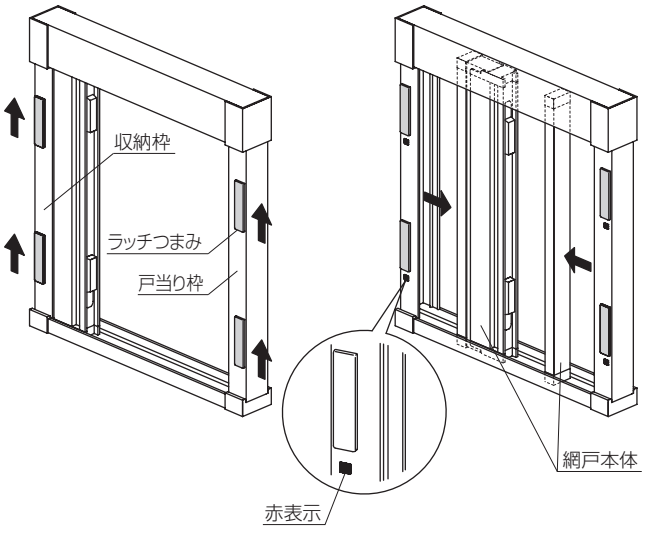
■網戸本体の取りはずし方法

①スライドバーを引き出し、網戸を使用状態にしてください。
②上部フックをワイヤーからはずし、スライドバー付近にある加工穴から抜いてください。
③下部フックをワイヤーからはずし、図のように下枠から抜いてください。



④収納枠･戸当り枠の側面についているラッチつまみを上にスライドさせて、ロックを解除してください。
赤表示が見える状態がロック解除状態です。
⑤収納枠、戸当り枠、上下枠から網戸本体をはずしてください。

※H寸法が大きい場合や腰窓の場合は、上部ラッチつまみの操作が高所となりますので、脚立などを使用して行ってください。

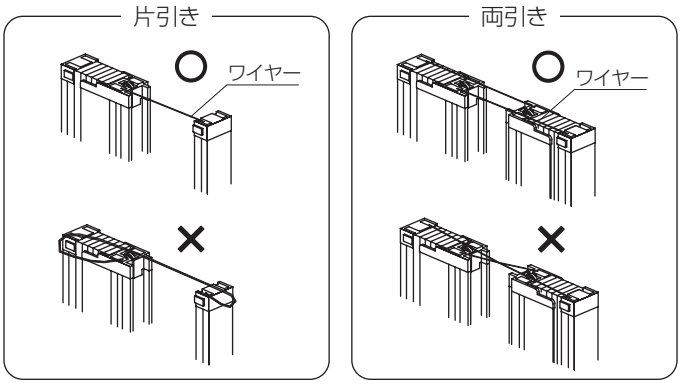


■網戸本体の取り付け方法

①網戸本体の上下から出ているワイヤーにねじれやカラミがないことを確認してください。ねじれたまま取り付けると開閉に支障をきたすおそれがあります。

②網戸本体の取り付けは「網戸本体の取りはずし方法」の逆手順で行ってください。

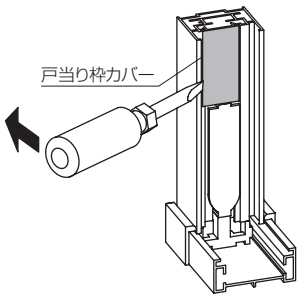
※網戸本体を収納枠・戸当り枠にしっかり押し当ててラッチつまみを下にスライドさせてください。ラッチ下の赤表示がラッチに隠れている状態がロック状態です。



カラミがある場合は枠を回転させて
正しい状態に戻してください。

■建て付け調整方法

●建て付けが“悪く”なった場合には、以下の状況に応じてワイヤーの調整を行ってください。



■片引きの調整方法

①戸当り枠カバーをマイナスドライバーなどではずしてください。

②戸当り枠に固定してある調整ねじをゆるめ、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整してください。

〔ワイヤーにたるみが出てガタつく場合〕

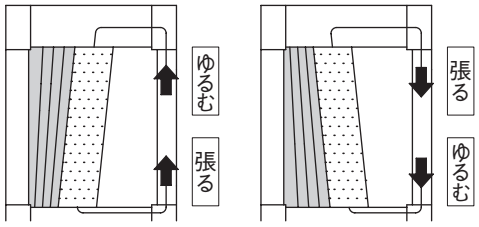
●すべてのねじを張る方向に少しずらして固定します。

〔開閉が重い場合〕

●すべてのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。

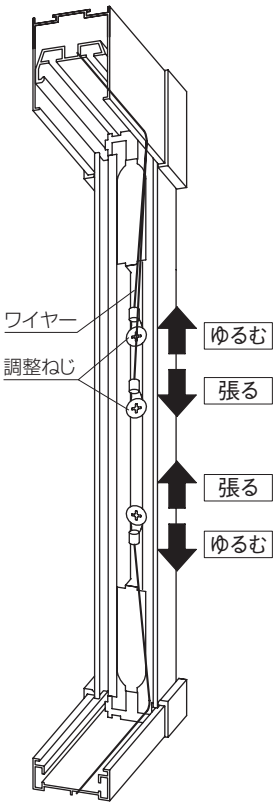
〔スライドバーが斜めになる場合〕

●下図のように、すべてのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



上部をゆるむ方向
下部を張る方向

下部をゆるむ方向
上部を張る方向



③調整が終わりましたら、調整ねじを締めて戸当り枠カバーを戸当り枠にはめ込んでください。

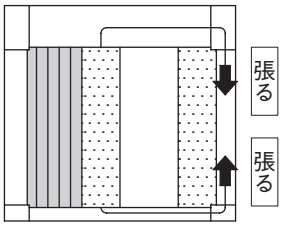
■両引きの調整方法

●左右の網戸は連動していません。片側ずつ調整してください。

①収納枠内に固定してある調整ねじをゆるめ、下記の各状況に応じて位置を移動させて調整してください。

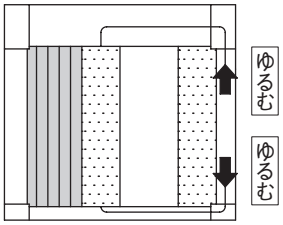
〔ワイヤーにたるみが出てガタつく場合〕

●すべてのねじを張る方向に少しずらして固定します。



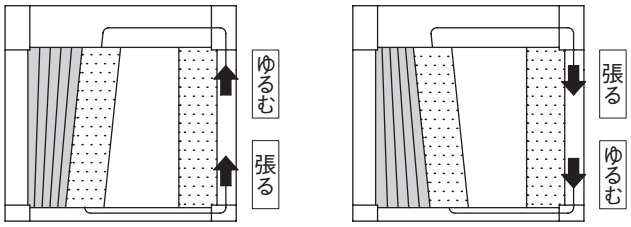
〔開閉が重い場合〕

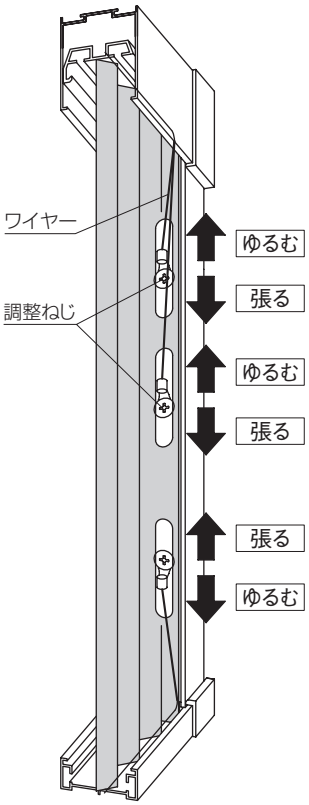
●すべてのねじをゆるむ方向に少しずらして固定します。



〔スライドバーが斜めになる場合〕

●下図のように、すべてのねじを同一方向に移動しバランスをとってください。



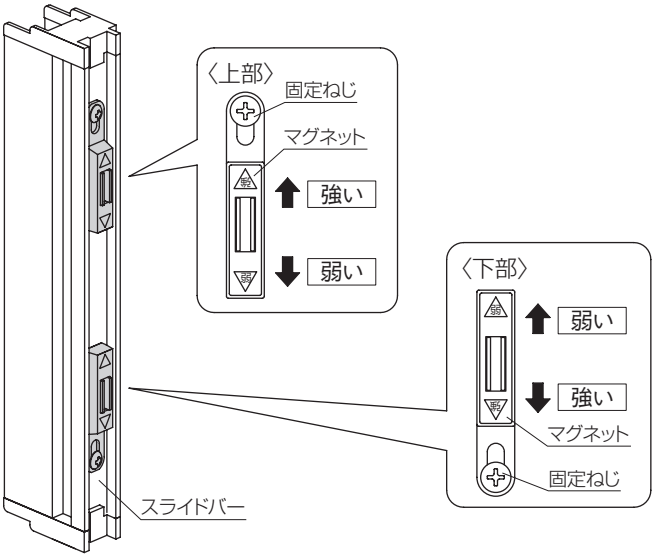


②調整が終わりましたら、調整ねじを締めてください。

■スライドバー固定強度の調整方法

●風などでスライドバーが開いてしまう場合は、マグネットの調整を行ってください。

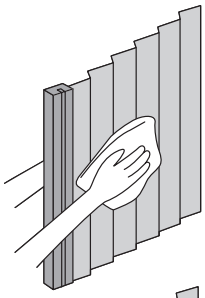
①スライドバーの上下に付いているマグネットの固定ねじをゆるめ、上下に移動させてください。マグネットとマグネット受けの当たる面積が変わり固定強度が変化します。
②調整が終わりましたら、固定ねじを締め、マグネットを固定してください。



■アコーディオン網戸のお手入れ

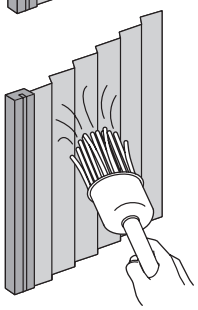
■お手入れ方法

●網についた綿ぼこりや砂ぼこりは、掃除機で吸い取ってください。
●しつこい汚れの場合は、綿ぼこりを取り除き、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）や網戸用スプレー洗剤をつけ、スポンジ※などで網をはさみながら洗ってください。
水をつけて固く絞った雑巾で網をはさみ、洗剤を拭き取ってください。



■お手入れのご注意

●掃除機は先端にブラシなどの付いたノズルを使って網の折り目（たて方向）に沿ってかけてください。
●網を強く引っ張らないでください。網戸破損の原因となります。

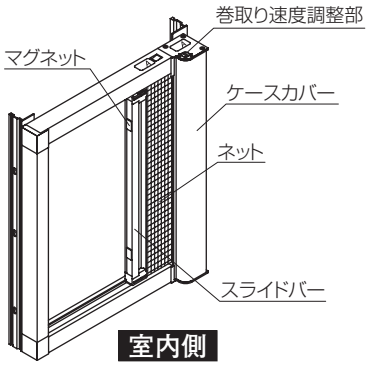


※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

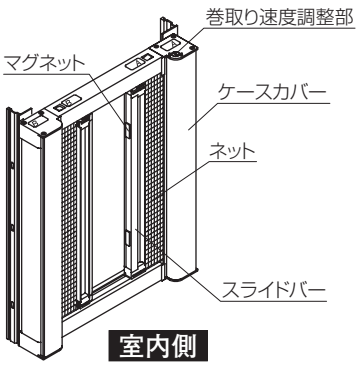
横引きロール網戸の取り扱い

姿　図

●片引きタイプ



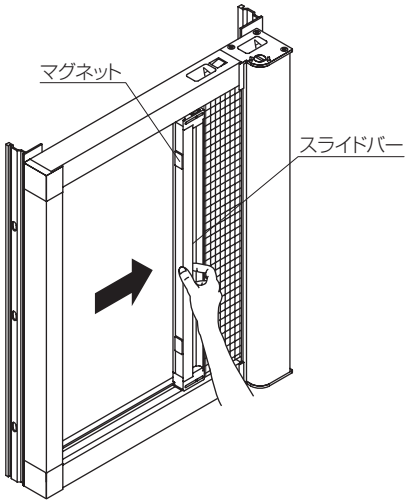
●両引きタイプ



●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押したりしないでください。転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■網戸の操作方法

●網戸を開けるときは、スライドバーを横に引いて、マグネットキャッチを解除すると、自動的に収納します。
●網戸を閉めるときは、スライドバーを持ち、マグネットキャッチが働くまで引き出してください。
●スライドバー以外の部分を持って操作すると、スムーズに開閉しないうえ破損の原因にもなります。
●スライドバーが勢いよく戻りすぎる場合は、途中までスライドバーに手をそえて、静かに戻る位置で手をはなしてください。
●強風などで一時的に網戸が戻らない場合は、スライドバーを持って戻すようにしてください。



■使用上の注意

●無理な開閉や乱暴な取り扱いをすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬけがの原因となりますので、ご注意ください。

■巻取り速度の調整方法

※ネットの収納がスムーズでない場合は、巻取り速度の調整が必要となります。

●ケースカバーを右図のように開きます。①②

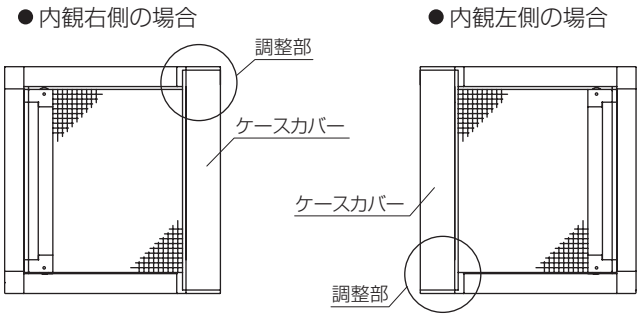
※ケースカバーは、開くと取りはずし可能な機構となっています。落下のおそれがありますので、開いたまま手を離した状態で放置しないでください。

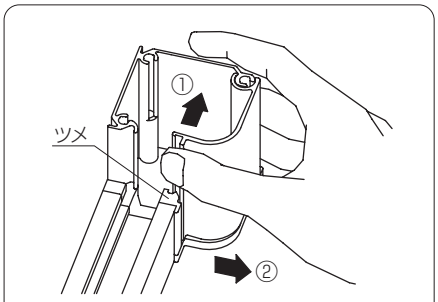
●巻取り速度調整部が見える位置までネットを引き出します。③

●マイナスドライバーを使って、調整部を矢印の方向に回転させて調整を行います。④

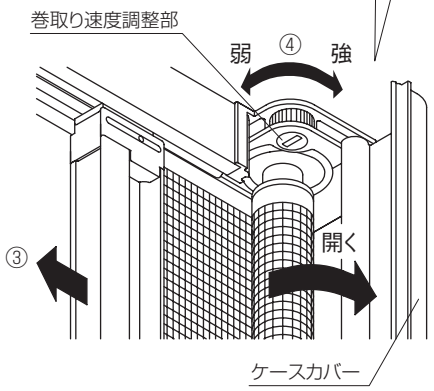
強の方向にまわす：巻取り速度が上がります。
弱の方向にまわす：巻取り速度が下がります。

※右図は網戸本体が内観右側の場合を表しています。内観左側の場合は、調整部は下側となります。





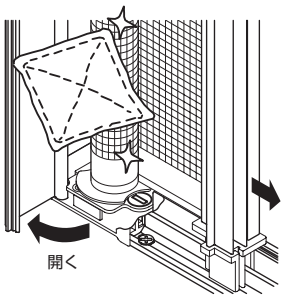
※ケースカバーは①の方向に力をかけて、ツメのかかりをはずしながら②の方向に開いてください。



■ロール網戸（左右開閉タイプ・上下開閉タイプ）のお手入れ

■網のお掃除

<室内側>
網戸を使用した状態にし、網を強く押さない程度に柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
<室外側>
ケースカバーを開け、スライドバーを動かしながらロール部を柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。



- ケースカバーを開いたままで放置しないでください。ケースカバーが脱落するおそれがあります。ケースカバーはメンテナンスのため取りはずし可能な機構になっています。
- 網の交換の際は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■全体のお掃除

- レールは、砂やほこりのたまりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をするようにしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けて拭き取ればさらにきれいになります。
- アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電気的に腐食を起こすことがあります。釘やヘアピンなどを放置しないようにしてください。

■お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取り除いてください。
②汚れは、柔らかい布、スポンジ※などで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、台所用合成洗剤（液性:中性）を薄めて、柔らかい布などを使って洗い落としてください。
③洗剤使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分を拭き取ってください。

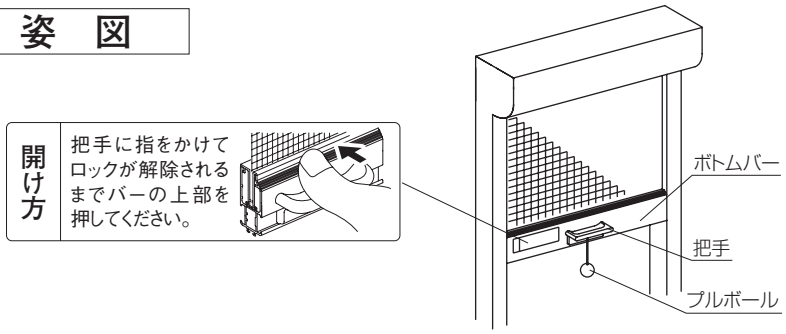
■お手入れのご注意

- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。また、金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

ロール網戸Ⅱの取り扱い(スプリングタイプ)

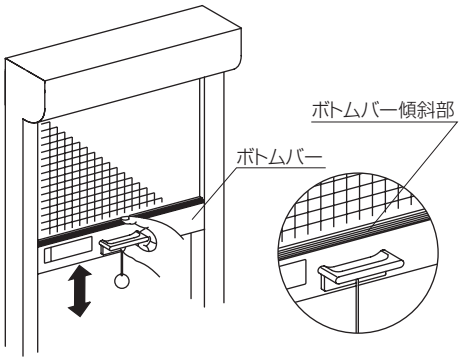
姿　図



●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押したりしないでください。転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■網戸の操作方法

〔ロール網戸の開閉〕



■閉め方

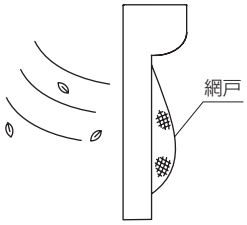
①把手を持って「カチッ」という音がするところまで網戸を下げてください。

■開け方

①把手上部（ボトムバー傾斜部）を前の方へ押し、ロックを解除します。
②把手を持って網戸を上げてください。

●把手以外の部分を持って操作すると、スムーズに開閉しないうえ破損の原因にもなります。
●ボトムバーが勢いよく上がりすぎる場合は、途中まで把手に手をそえて、静かに巻き上がる位置で手を離してください。

■使用上の注意



●無理な開閉や乱暴な取り扱いをすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬけがの原因となりますので、ご注意ください。
●強風などで一時的に網戸が戻らない場合は、把手を持って戻すようにしてください。
●強風などで網戸が膨らみ開閉が重くなる場合は、少し風が治まるのを待ってから、また室内ドアや他の窓を閉め風の通りを遮ってから操作してください。

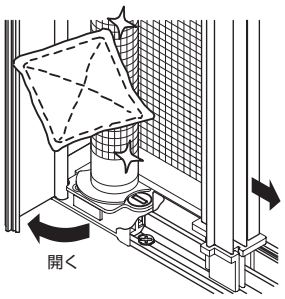
■お願い

●お子様が本商品で遊ばないよう、ご注意ください。
●商品本体にはブラインド用のブラケットやカーテンレール取り付けのためのねじは止めないでください。ネット破損の原因になります。

■ロール網戸（左右開閉タイプ・上下開閉タイプ）のお手入れ

■網のお掃除

<室内側>
網戸を使用した状態にし、網を強く押さない程度に柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
<室外側>
ケースカバーを開け、スライドバーを動かしながらロール部を柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。



- ケースカバーを開いたままで放置しないでください。ケースカバーが脱落するおそれがあります。ケースカバーはメンテナンスのため取りはずし可能な機構になっています。
- 網の交換の際は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■全体のお掃除

- レールは、砂やほこりのたまりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をするようにしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けて拭き取ればさらにきれいになります。
- アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電気的に腐食を起こすことがあります。釘やヘアピンなどを放置しないようにしてください。

■お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取り除いてください。
②汚れは、柔らかい布、スポンジ※などで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、台所用合成洗剤（液性:中性）を薄めて、柔らかい布などを使って洗い落としてください。
③洗剤使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分を拭き取ってください。

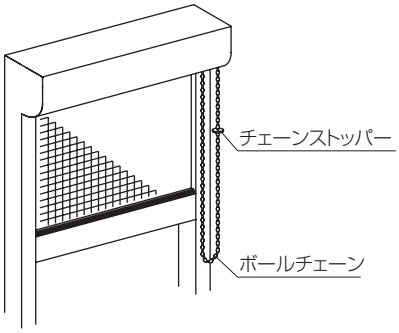
■お手入れのご注意

- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。また、金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

ロール網戸Ⅱの取り扱い（ボールチェーンタイプ）

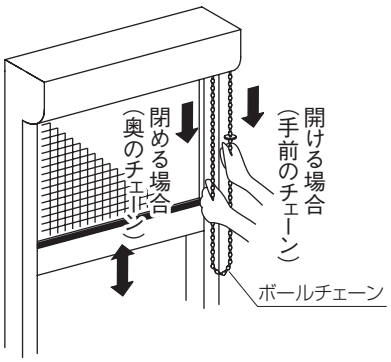
姿　図



●この商品は防虫用であり、人の転落防止用ではありません。網戸に寄りかかったり押したりしないでください。転落するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

■網戸の操作方法

〔ロール網戸の開閉〕



■閉め方

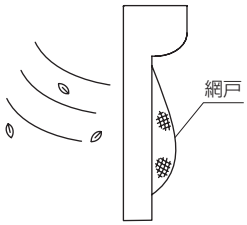
①ボールチェーンの奥側のコードを引いてください。

●網戸を完全に下まで閉めた状態でさらに奥側のコードを引くと操作が逆になって破損の原因になります。操作が逆になってしまった場合は手前のコードを引き続けると正常に戻ります。

■開け方

②ボールチェーンの手前のコードを引いてください。

■使用上の注意



●無理な開閉や乱暴な取り扱いをすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬけがの原因となりますので、ご注意ください。

●強風などで網戸が膨らみ開閉が重くなる場合は、少し風が治まるのを待ってから、また室内ドアや他の窓を閉め風のとおりを遮ってから操作してください。

■お願い

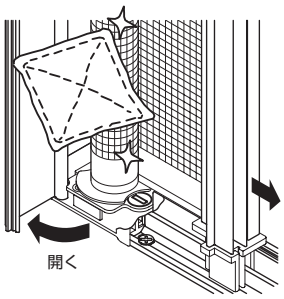
●お子様が本商品で遊ばないよう、ご注意ください。

●商品本体にはブラインド用のブラケットやカーテンレール取り付けのためのねじは止めないでください。ネット破損の原因になります。

■ロール網戸（左右開閉タイプ・上下開閉タイプ）のお手入れ

■網のお掃除

<室内側>
網戸を使用した状態にし、網を強く押さない程度に柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
<室外側>
ケースカバーを開け、スライドバーを動かしながらロール部を柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。



- ケースカバーを開いたままで放置しないでください。ケースカバーが脱落するおそれがあります。ケースカバーはメンテナンスのため取りはずし可能な機構になっています。
- 網の交換の際は、販売店様または三協立山株式会社 三協アルミ社までご連絡ください。

■全体のお掃除

- レールは、砂やほこりのたまりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をするようにしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ほこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けて拭き取ればさらにきれいになります。
- アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電気的に腐食を起こすことがあります。釘やヘアピンなどを放置しないようにしてください。

■お手入れ方法

①表面についた砂やほこりをていねいに取り除いてください。
②汚れは、柔らかい布、スポンジ※などで水洗いにより、洗い落としてください。水洗いで取れない汚れは、台所用合成洗剤（液性:中性）を薄めて、柔らかい布などを使って洗い落としてください。
③洗剤使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分を拭き取ってください。

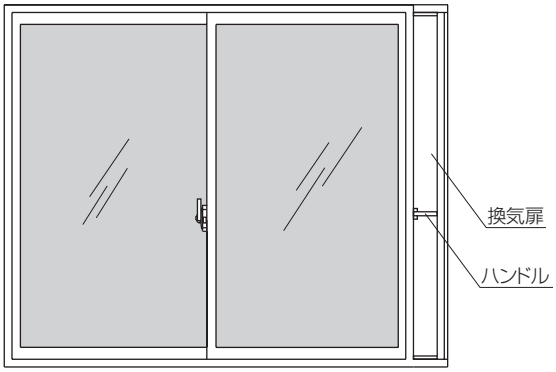
■お手入れのご注意

- 有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。また、金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。

※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

キャブコンの取り扱い(MTG)

姿　図

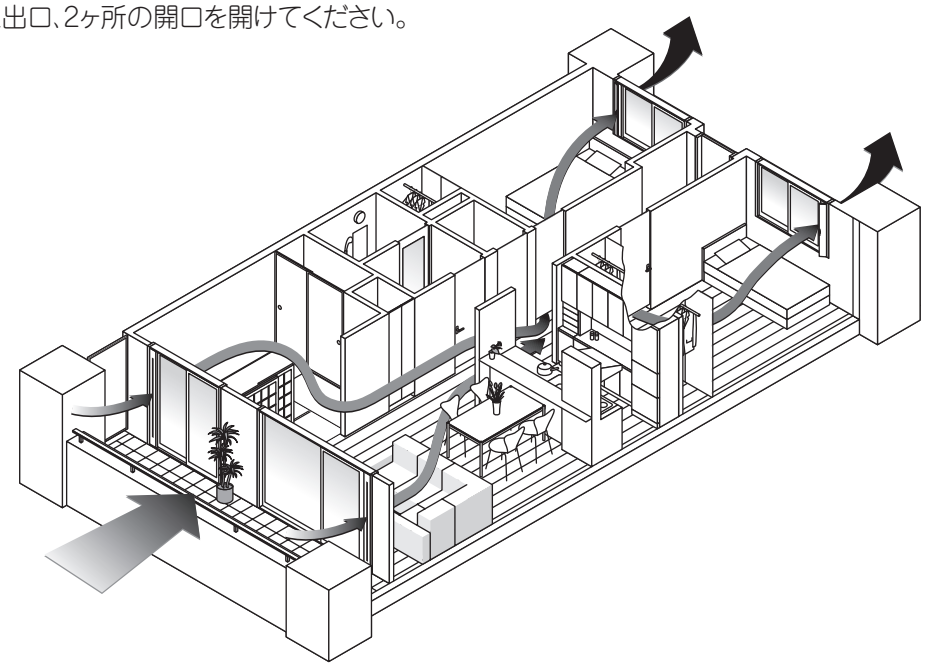


お 願 い

①24時間換気の給気口としての設備ではありませんので、必要に応じて開閉してください。
②換気扉を閉める際に指をはさまぬよう、ハンドルを持って操作してください。
③換気扉は60°以上開きません。無理に開けようとすると部品が壊れ、思わぬけがや事故につながります。
④ハンドルに無理な力を加えないでください。思わぬけがや事故につながります。
⑤換気扉の内部に指を入れないでください。思わぬけがや事故につながります。
⑥気象条件によっては、雨が吹き込む場合があります。強風雨時には閉めてください。
⑦本商品とカーテンが干渉すると十分な換気が行えません。十分な換気を得るためにはカーテンと本商品が干渉しないようにしてください。

効率の良い自然換気を行うには

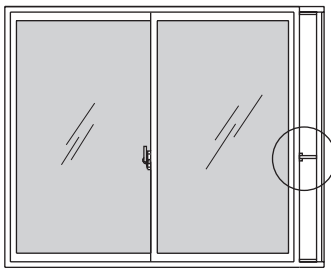
●開口部が1ヶ所では効率の良い自然換気が行えません。換気をする場合は、風のとおる入口と出口、2ヶ所の開口を開けてください。

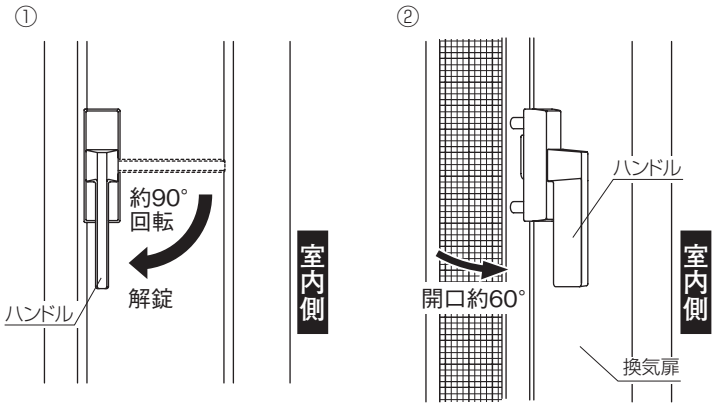


■換気扉の操作方法

〔開け方〕

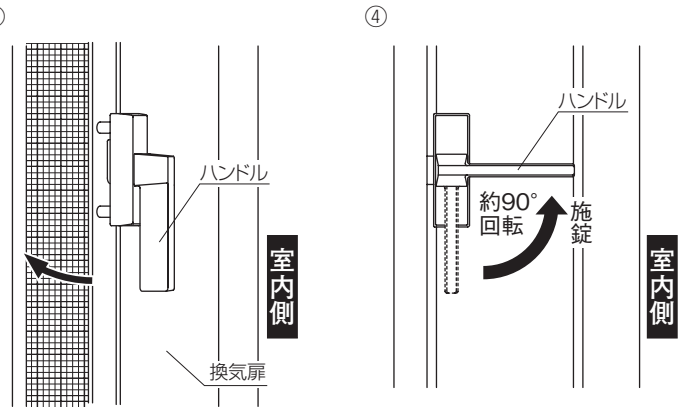
①ハンドルを下向きにまわし解錠してください。
②ハンドルを持って換気扉を手前に引いてください。
　換気扉が約60°開きます。





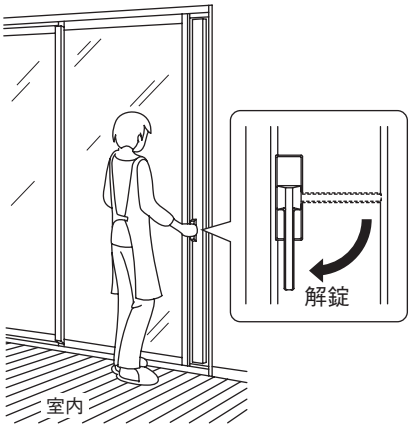
〔閉め方〕

③ハンドルを持って換気扉を閉めてください。
④ハンドルを横向きにまわし施錠してください。

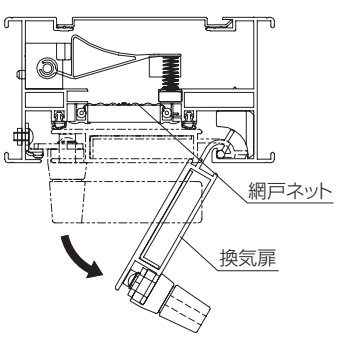


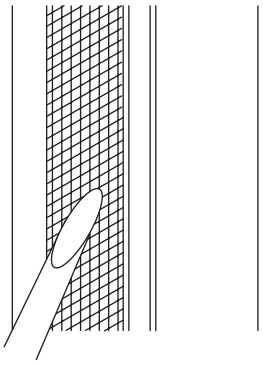
■網戸のお手入れ方法について

①ハンドルを解錠します。



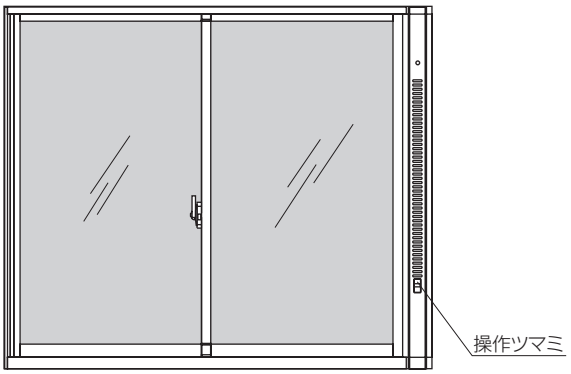
②換気扉を最大まで開き、網戸ネットの汚れを掃除機で吸引してください。掃除機を使用する際、すき間用ノズルなど先の細いもので吸引すると効果的です。





ウィンドウブレスの取り扱い(MTG)

姿　図

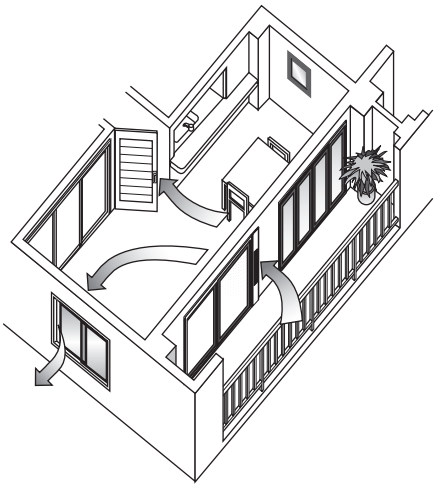


■使用上の注意

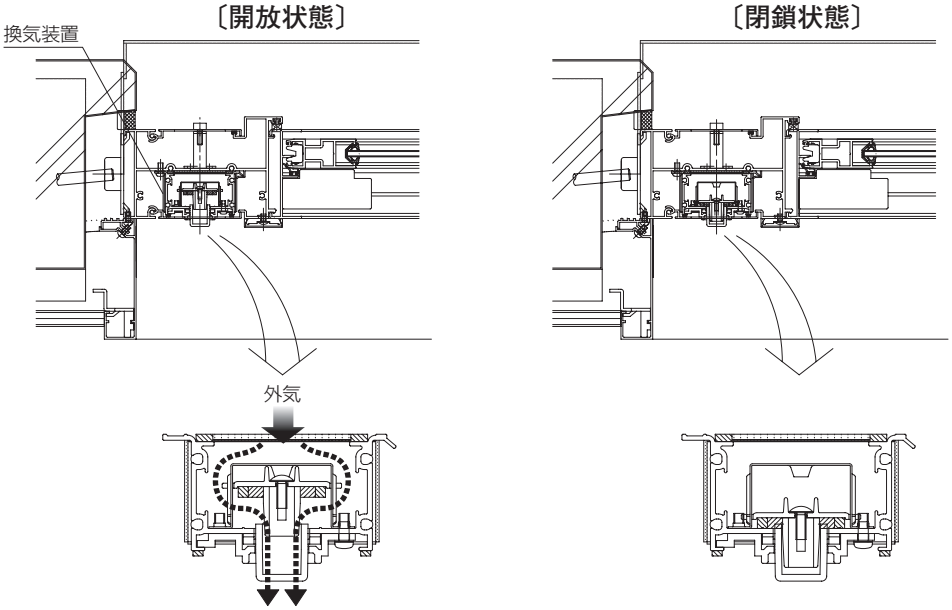
- 気象条件によっては、雨が吹き込む場合があります。
  強風雨時には閉めてください。

効率の良い自然換気を行うには

- 開口部が1ヶ所では効率の良い自然換気が行えません。換気をする場合は、風のとおる入口と出口、2ヶ所の開口を開けてください。



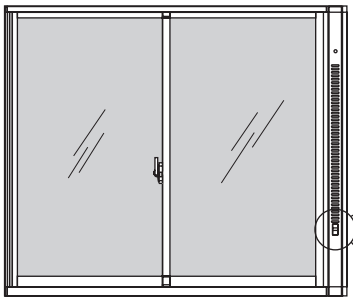
■機構説明

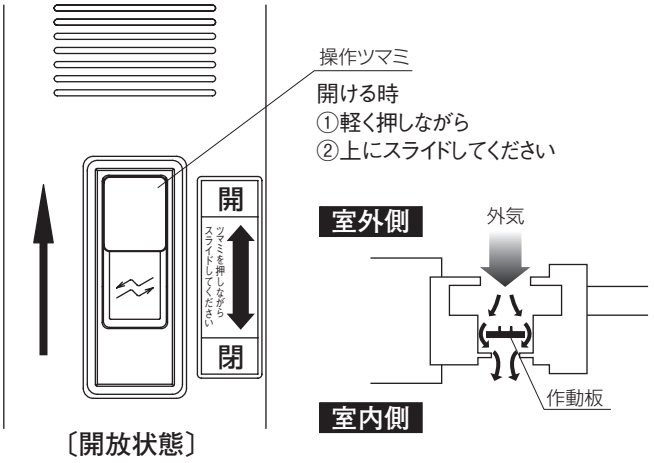


■開閉方法

〔換気口開放時〕

● 操作ツマミを軽く押しながら、上にスライドしてください。

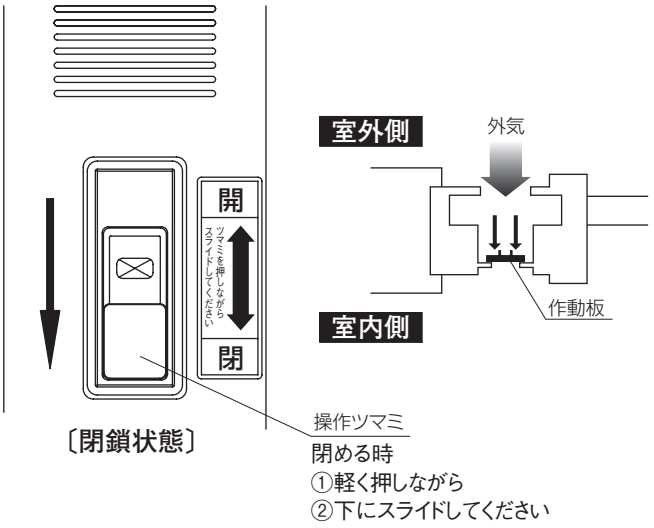




〔開放状態〕

〔換気口閉鎖時〕

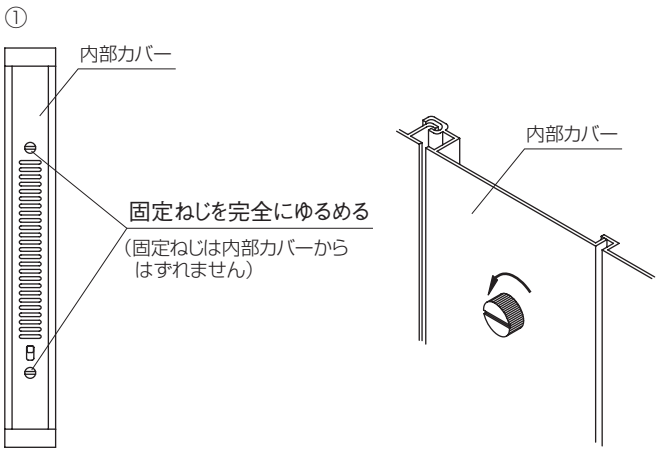
● 操作ツマミを軽く押しながら、下にスライドしてください。



〔閉鎖状態〕

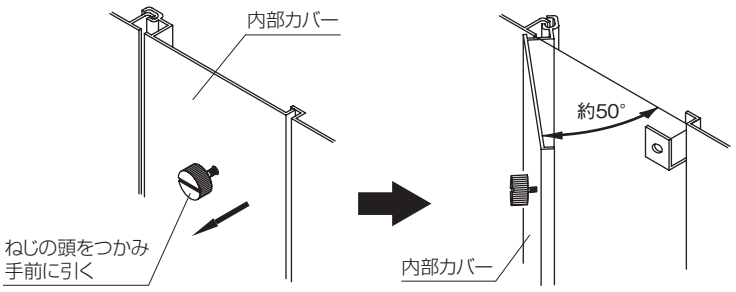
■網戸ネットのお手入れ方法

①上下二つの固定ねじを完全にゆるめてください。
（ゆるみにくい場合はコインやマイナスドライバーでまわしてください）
固定ねじは内部カバーからはずれません。

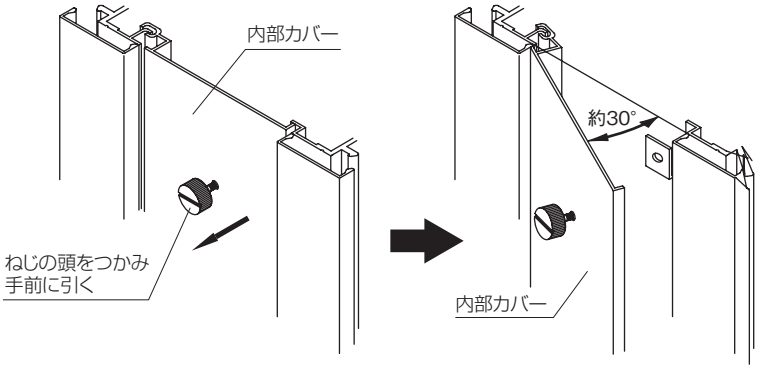


②ゆるんだねじの頭を持ち、内部カバーを手前に引くと、カバーの片側が固定された状態で開きます。カバーの全開状態は約50°です。（中間方立タイプの場合の全開状態は約30°となります。ウィンドウブレスの取り付け位置によっては反対に開く場合があります）

②　●たて枠タイプ、端部方立タイプ

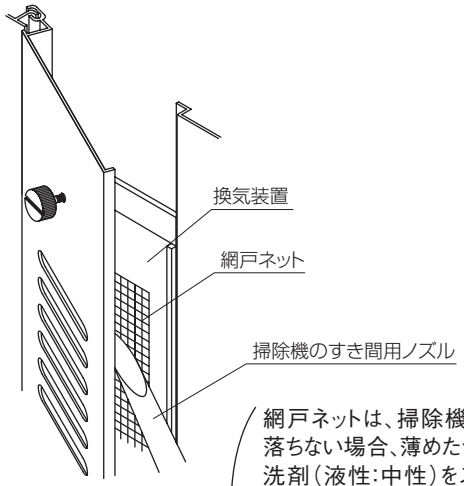


●中間方立タイプ



③カバーを開け、換気装置の網戸ネットの汚れを掃除機で吸引してください。掃除機を使用する際、すき間用ノズルなど先の細いもので吸引すると効果的です。

③



網戸ネットは、掃除機でも汚れが落ちない場合、薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をスポンジ※につけ軽く塗るような気持ちでつけた後、しぼったスポンジ※で薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）および汚れを落としてください。

④内部カバーを閉める場合は、逆の手順②→①となります。

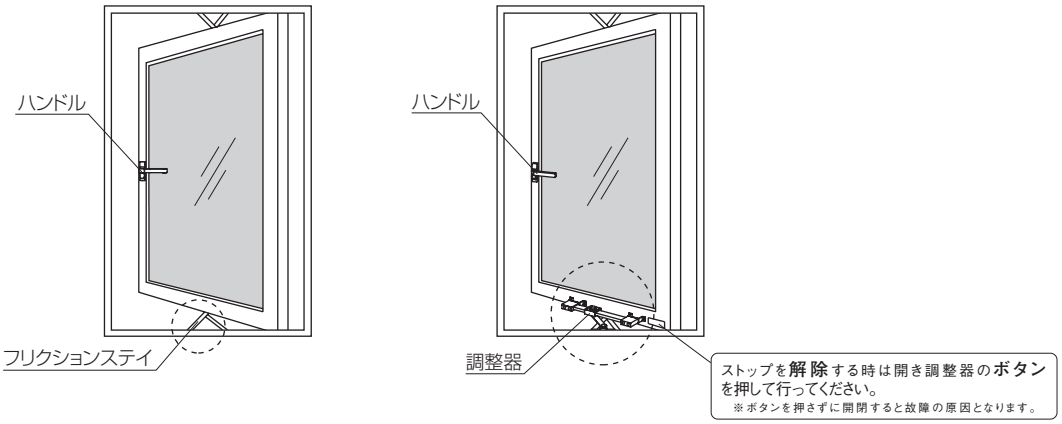
※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

■網戸ネットのお手入れについて

●網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやほこりも防ぎます。
長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、しみなどの原因となります。
汚れの軽いうちに清掃してください。清掃の目安は年1～2回程度です。

たてすべり出し窓の取り扱い(MTG)

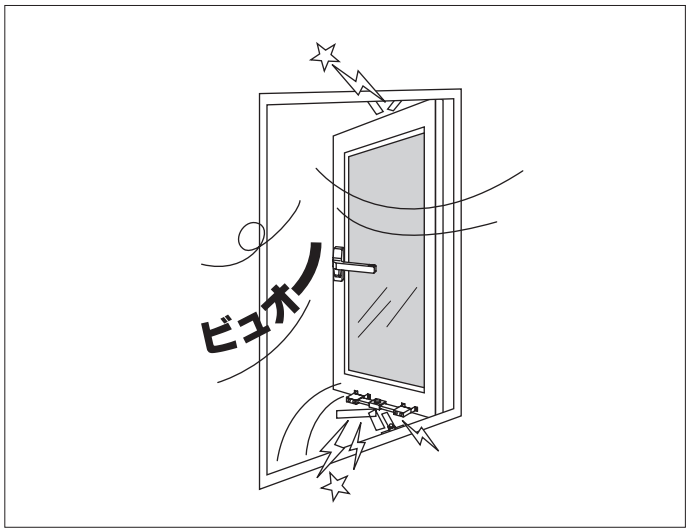
姿　図



⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



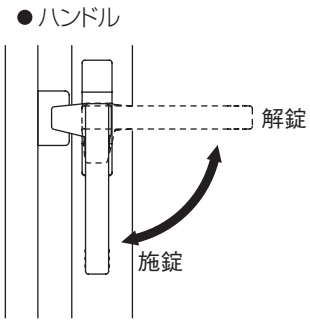
お 願 い

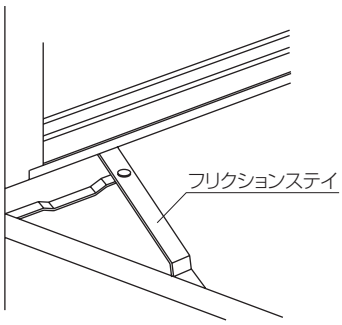
- ●開閉時、窓が動き出したら、フリクションステイに手を触れないでください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

■ガラス障子の開閉

〔フリクションステイ〕

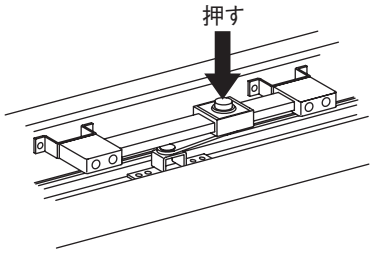
①ハンドルを**解錠**位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を開きます。
②開き角度は、任意の位置で止めることができます。
③ガラス障子を閉めた後、必ずハンドルを**施錠**位置にまわしてください。



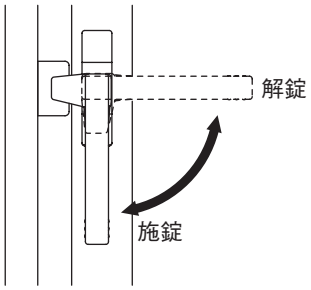


〔調整器〕

①ハンドルを**解錠**位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を開きます。初期角度は30°でガラス障子は止まります。
②開き角度を90°にする場合は調整器の押しボタンを押して開きます。
③ガラス障子を閉める場合は、調整器の押しボタンを押してハンドルを持ちガラス障子を閉めます。ガラス障子を閉めたらハンドルを**施錠**位置にまわします。



●ハンドル

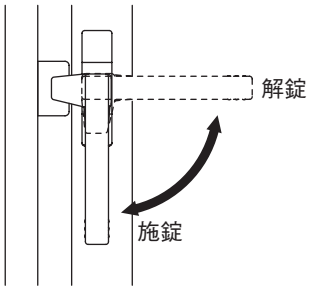


■ハンドルの種類

●ハンドル

ハンドルを90°まわして、施錠・解錠するタイプです。

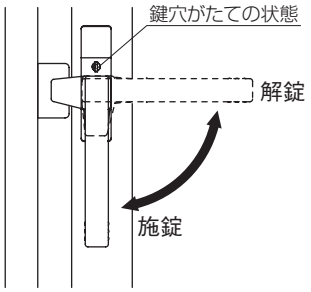
●ハンドル回転可能



●鍵付ハンドル

ハンドルの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。

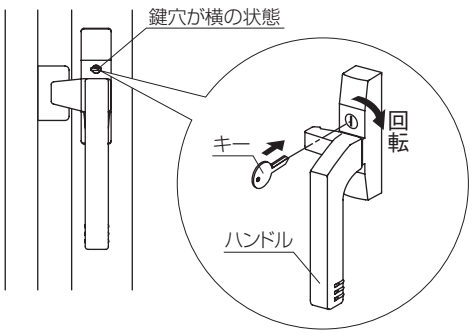
●ハンドル回転可能



※鍵付ハンドルの施錠は窓を閉めて、ハンドルを確実に閉めた状態（垂直）でキーの操作を行ってください。ハンドルが確実に閉まっていない状態で無理にキー操作をすると故障の原因になります。

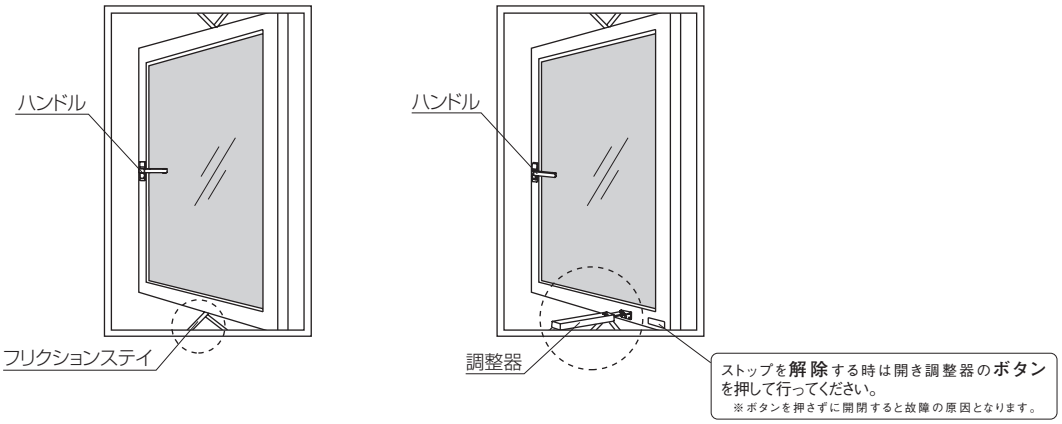
※ハンドルの操作を可能にするには逆の手順でキー操作してください。

●ハンドル回転不可能



たてすべり出し窓MSの取り扱い(MTG)

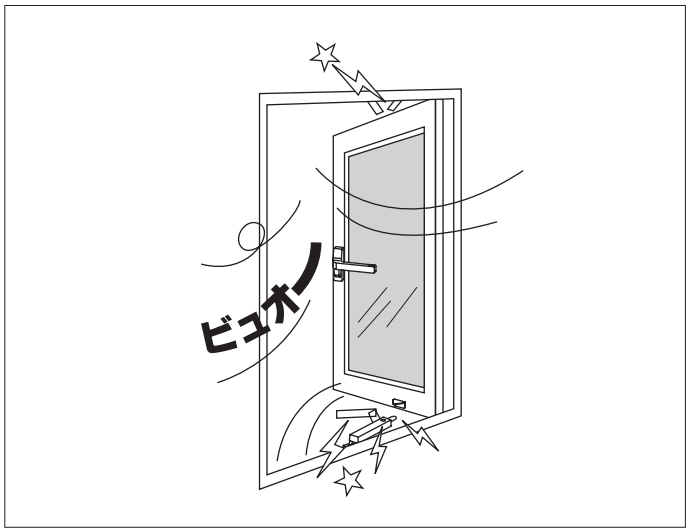
姿　図



⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



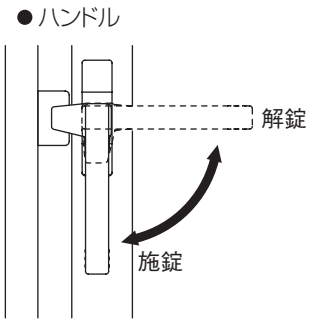
お 願 い

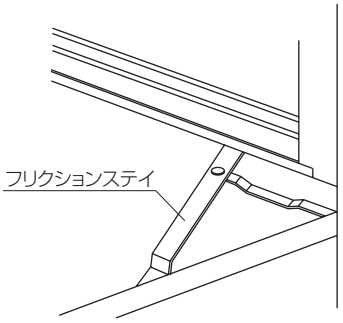
- ●開閉時、窓が動き出したら、フリクションステイに手を触れないでください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

■ガラス障子の開閉

〔フリクションステイ〕

①ハンドルを**解錠**位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を開きます。
②開き角度は、任意の位置で止めることができます。
③ガラス障子を閉めた後、必ずハンドルを**施錠**位置にまわしてください。





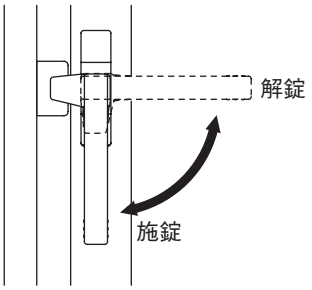
〔調整器〕

①ハンドルを**解錠**位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を開きます。初期角度は30°（45°）でガラス障子は止まります。
②開き角度を90°にする場合は調整器の押しボタンを押して開きます。
③ガラス障子を閉める場合は、調整器の押しボタンを押してハンドルを持ちガラス障子を閉めます。ガラス障子を閉めたらハンドルを**施錠**位置にまわします。

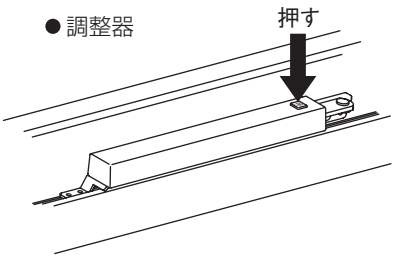
※たてすべり出し窓MSは調整器が3タイプあり、初期の開き角度はそれぞれ違います。

	W	初期（開き角度）
小	350≦W≦500	45°
中	500<W≦700	30°
大	700<W≦1000	30°

●ハンドル



●調整器

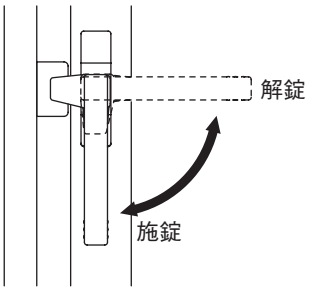


■ハンドルの種類

●ハンドル

ハンドルを90°まわして、施錠・解錠するタイプです。

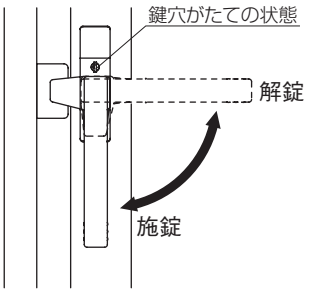
●ハンドル回転可能



●鍵付ハンドル

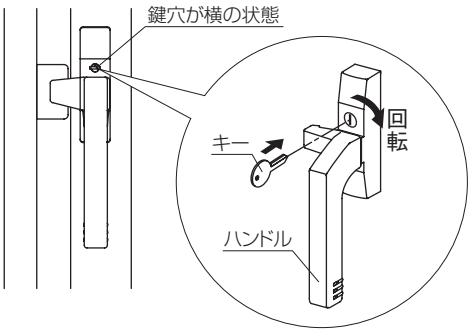
ハンドルの鍵穴にキーを挿入して操作することにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。

●ハンドル回転可能



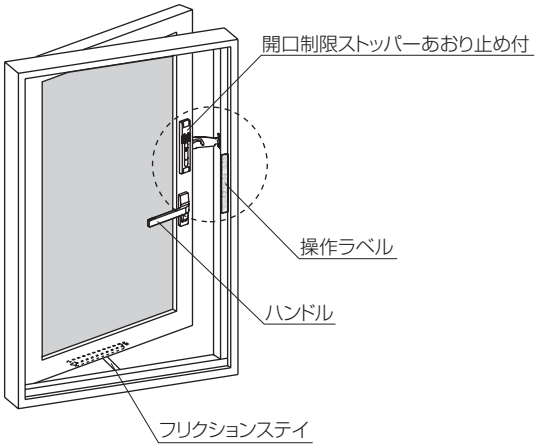
※鍵付ハンドルの施錠は窓を閉めて、ハンドルを確実に閉めた状態（垂直）でキーの操作を行ってください。ハンドルが確実に閉まっていない状態で無理にキー操作をすると故障の原因になります。
※ハンドルの操作を可能にするには逆の手順でキー操作してください。

●ハンドル回転不可能

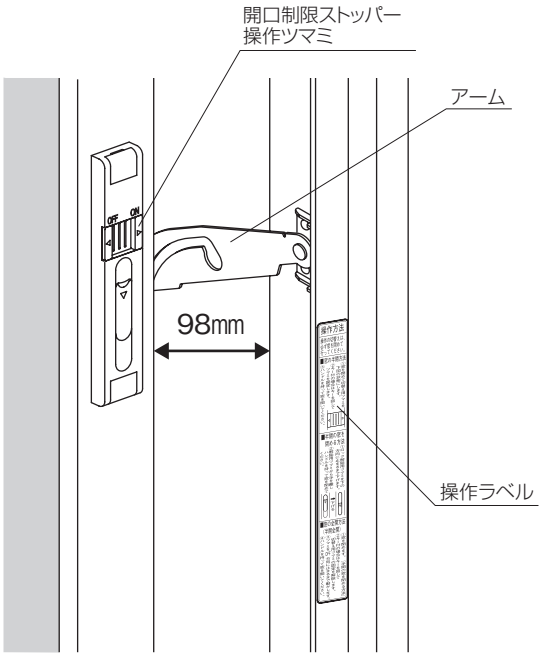


開口制限ストッパーあおり止め付の取り扱い (たてすべり出し窓MS) (MTG)

姿　図



■開口制限ストッパーあおり止め付の作動状態



⚠ 注　意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

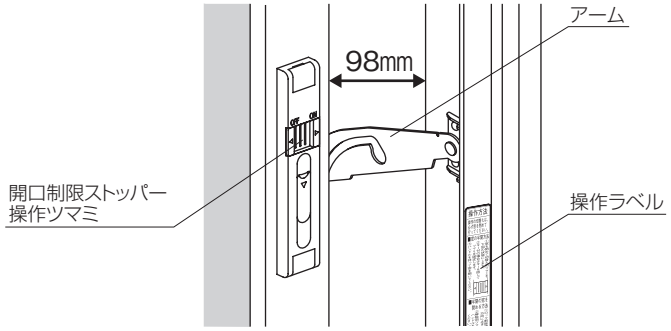
- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

お 願 い

- ●開閉時、窓が動き出したら、フリクションステイから手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

■開口制限ストッパーあおり止め付の操作

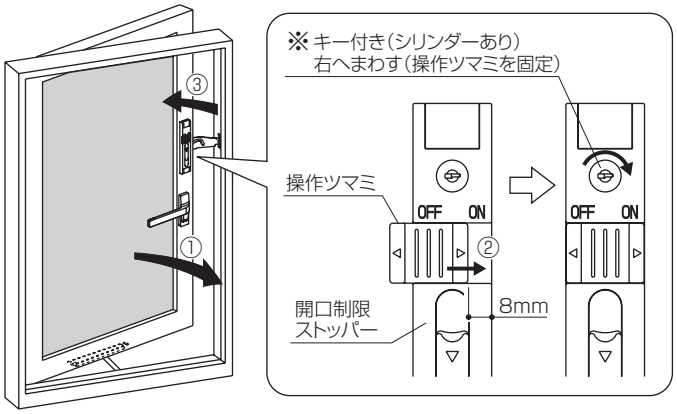
- 開口制限ストッパーは、ガラス障子の全開・半開（開口制限の状態）を操作ツマミで切り替えることができます。
- 操作ツマミの全開・半開の切り替えは、**必ずガラス障子を閉めた状態**で行ってください。
- **開口制限ストッパーは、あおり止め機構付きですが、強風時は窓を閉めて、ハンドルで施錠してください。**



〔開口制限ストッパーの施錠〕

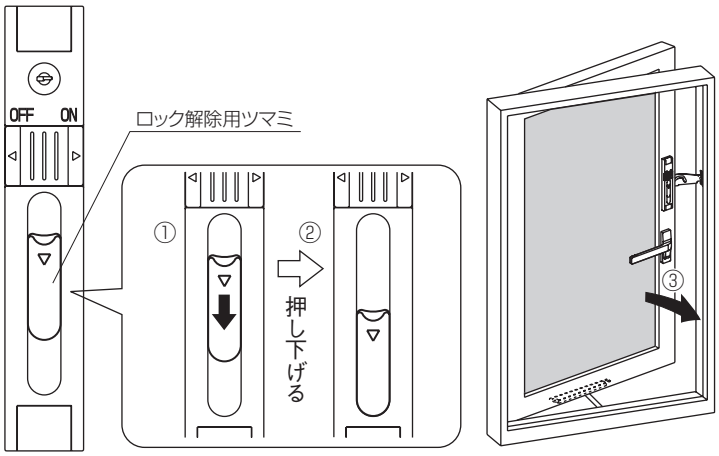
■全開から半開（開口制限の状態）への切り替え

①ガラス障子を閉めてください。
②操作ツマミを動かし、図の状態にします（約8mm）。
※キー付きの場合はキーを右へまわして操作ツマミを固定します。
③ガラス障子は半開で開閉が行えます。
（開口制限ストッパーのアームにより、一定の開口寸法（98mm）でストップします）



■半開の窓を閉める方法

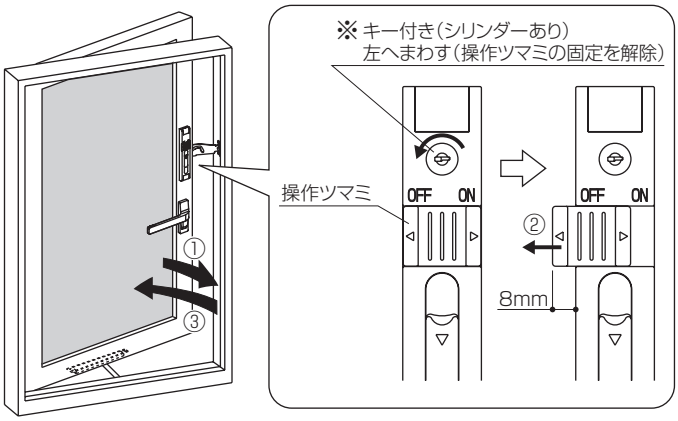
①ロック解除用ツマミを下面に当たるまで押し下げます。
②ロック解除用ツマミから手を離します。
③ハンドルを持ってガラス障子を閉めてください。



〔開口制限ストッパーの解除〕

■半開（開口制限の状態）から全開への切り替え

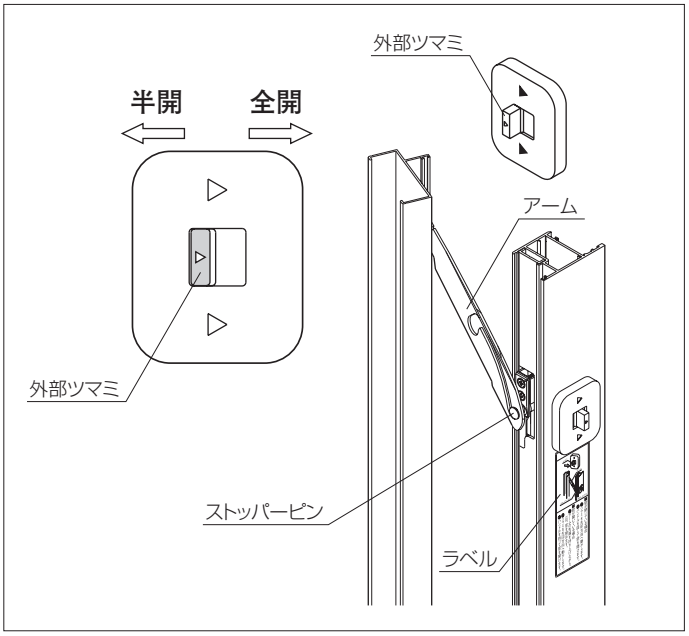
①ガラス障子を閉めてください。
（半開の窓を閉める方法参照）
※キー付きの場合はキーを左へまわして操作ツマミの固定を解除します。
②操作ツマミをOFF方向に止まるまで動かします（約8mm）。
③ガラス障子は全開で開閉が行えます。



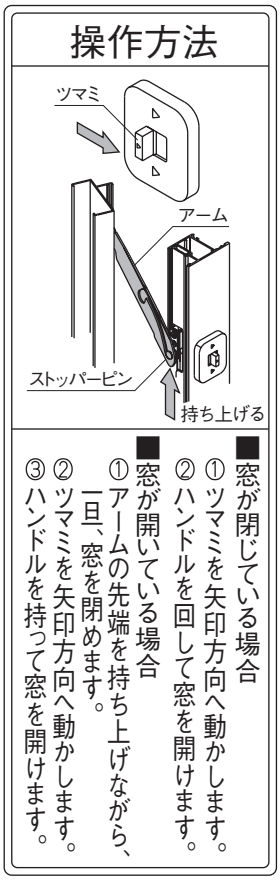
■非常進入口用 外部ツマミについて

お 願 い

●外部ツマミは半開(右図参照)の位置となっています。
動かさないでください。
非常時に誤作動するおそれがあります。

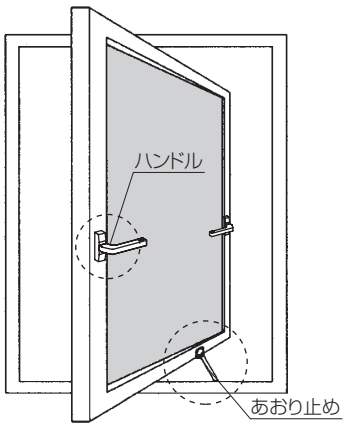


●ラベル



たて軸回転窓の取り扱い(MTG)

姿　図



⚠注　意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。

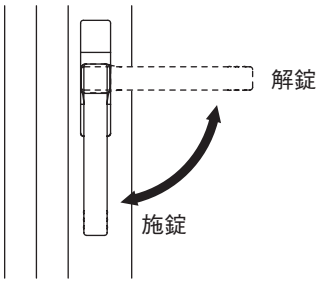
お　願　い

- ●開閉時、窓が動き出したら、あおり止めから手を離してください。手や指をはさみ、思わぬけがや事故につながるおそれがあります。

■ガラス障子の開閉

①ハンドルを解錠位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を手前に引いて回転させ開きます。
（回転方向は姿図参照）
②あおり止めの所定位置でガラス障子がストップします。
③ガラス障子のストップ位置の調節は、あおり止めのボタンを押しながら行います。
④ガラス障子を閉める時は、あおり止めのボタンを押しながらハンドルを持ちガラス障子を閉めます。
⑤ガラス障子を閉めた後、必ずハンドルを施錠位置にまわしてください。

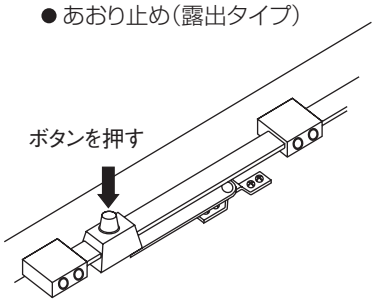
●ハンドル



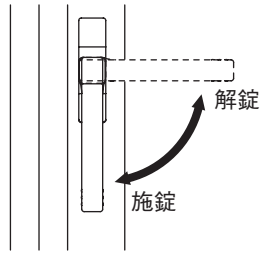
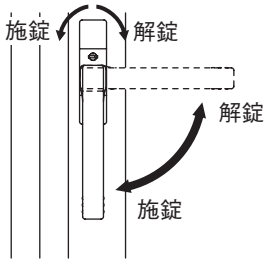
〔あおり止めの種類と操作〕

●露出タイプ ……押しボタン操作

●あおり止め（露出タイプ）



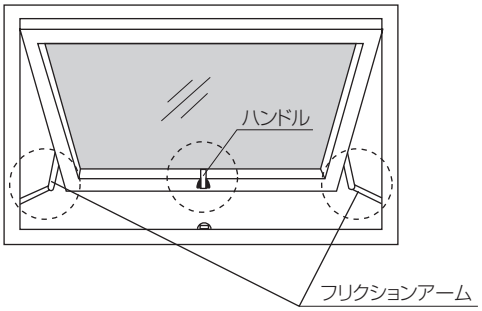
■ハンドルの種類

姿　図		
操作の種類	ハンドル	鍵付ハンドル
操作方法	●ハンドルを90°まわして、施錠・解錠するタイプです。	●ハンドルの鍵穴にキーを挿入し操作することにより、施錠状態でのハンドルの回転を可能にしたり不可能にしたりするタイプです。

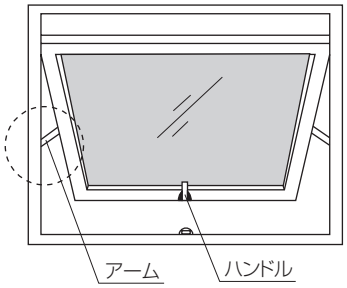
突出し窓・すべり出し窓の取り扱い(MTG)

姿　図

● 突出し窓



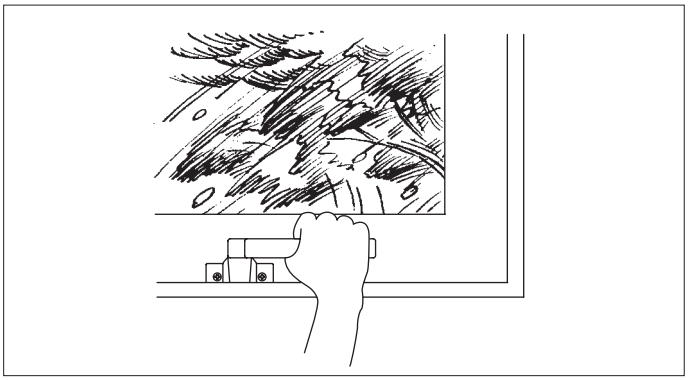
● すべり出し窓



⚠ 注 意

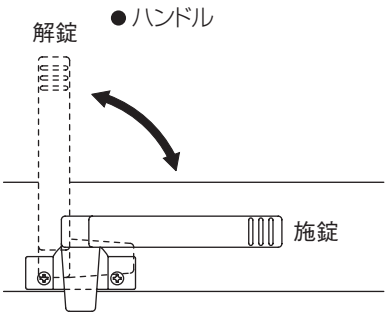
安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずハンドルで施錠してください。ハンドルで施錠しないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



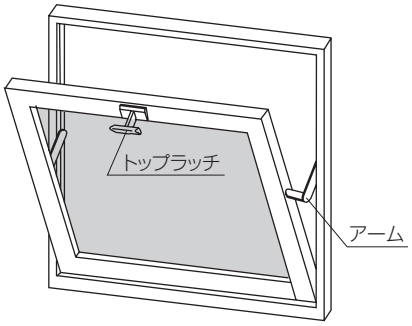
■ガラス障子の開閉

①ハンドルを解錠位置にまわし、ハンドルを持ちガラス障子を開きます。
②所定位置でガラス障子がストップします。全開しなくても任意の位置でガラス障子がストップします。
③ガラス障子を閉めるときは必ずハンドルを上向きのまま引いてください。窓を閉めたら、必ずハンドルを施錠位置にまわし、締めてください。



内倒し窓の取り扱い(MTG)

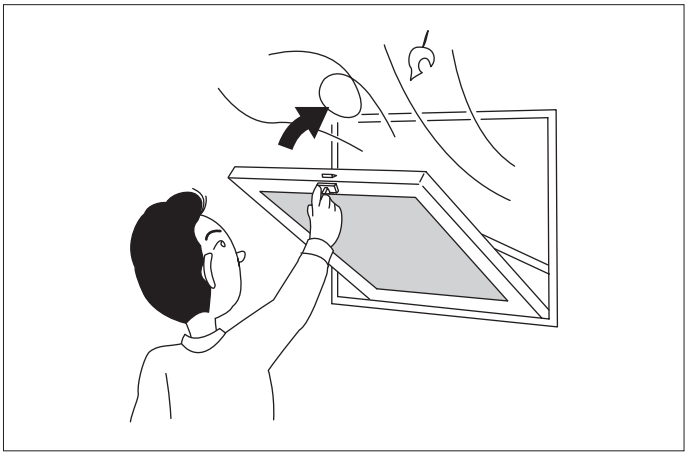
姿　図



⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

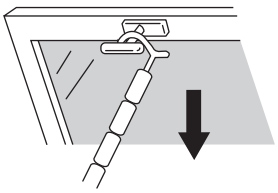
- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずトップラッチをかけてください。トップラッチをかけないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



■ガラス障子の開閉

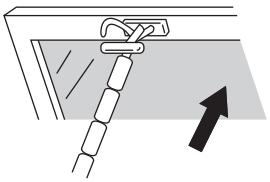
①トップラッチのレバーを手前（下方向）に引いてください。
　ロックが解除され、窓が内側に倒れ開きます。
②アームストッパーが働いて所定位置でストップします。
③窓を閉めたら、必ずトップラッチをかけてください。

●ガラス障子を開ける



※トップラッチのレバーを下方向に倒しながら引いてください。

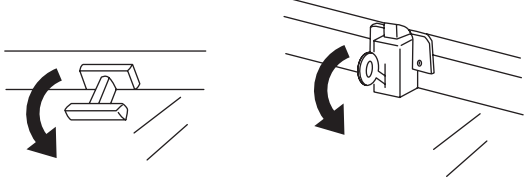
●ガラス障子を閉める



〔トップラッチの種類と操作〕

- ●レバーは、T型と丸環型があります。
- ●ガラス障子を閉めるとトップラッチは施錠し、レバーを引くと解錠します。
- ●手が届かない場合は、フック棒（別売品）などを使用して操作してください。

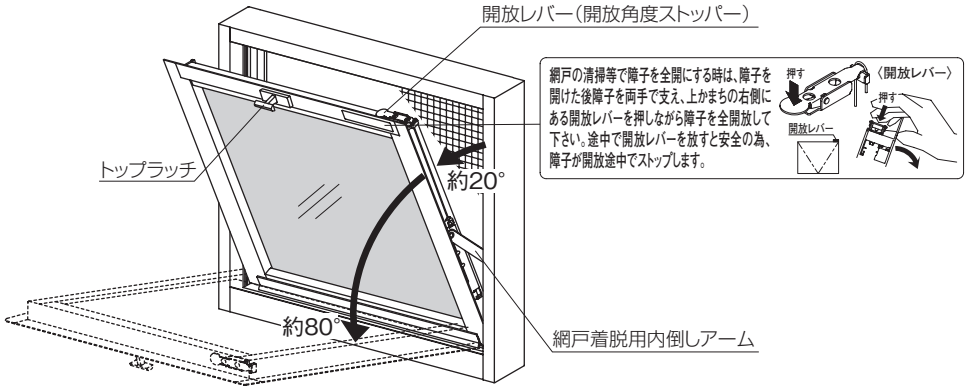
●トップラッチ（締り金具）の形状



※トップラッチのレバーを下方向へ倒す（回転させる）とロックが解除されます。

内倒し窓網戸着脱タイプの取り扱い(MTG)

姿　図

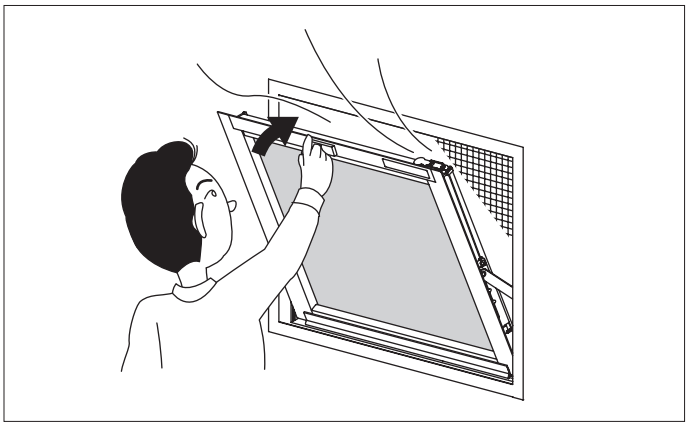


●通常使用時（換気時）は、ガラス障子を約20°開放で使用し、メンテナンス時（網戸清掃など）はガラス障子を約80°開放し、網戸を着脱できるタイプです。

⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

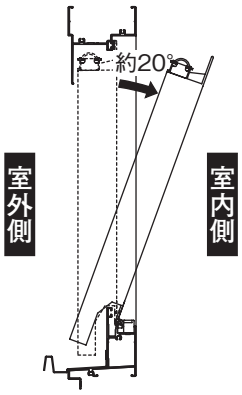
●風の強いときは窓を閉めて、必ずトップラッチをかけてください。トップラッチをかけないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



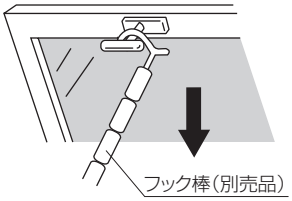
■ガラス障子の開閉

〔通常使用時（換気時）〕

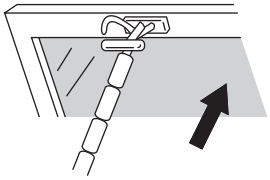
①トップラッチのレバーを手前（下方向）に引いてください。ロックが解除され、ガラス障子が内側に倒れ開きます。
②アームストッパーが働いて所定位置（約20°）でストップします。
③ガラス障子を閉めるとトップラッチは施錠します。
●手が届かない場合は、フック棒（別売品）などを使用して操作してください。



●ガラス障子を開ける



●ガラス障子を閉める



※トップラッチのレバーを下方向に倒しながら引いてください。

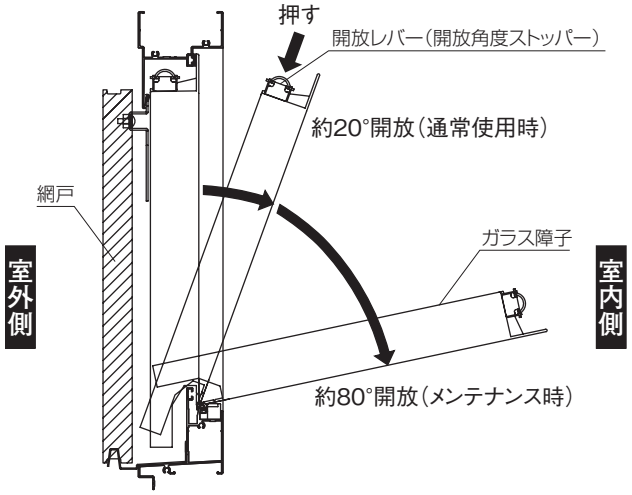
〔メンテナンス時（網戸清掃など）〕

●手の届かない場所に窓がある場合は、足場の確保を確実にして操作してください。

①ガラス障子を開けた状態（通常使用時）で、ガラス障子を支えて上かまちの右側にある開放レバー（開放角度ストッパー）を押しながらガラス障子を開くと、ストッパー機構が解除され、全開放することができます。（約80°開放）

②ガラス障子を閉める時は、ガラス障子を押して閉めてください。開放レバー（開放角度ストッパー）の操作は不要です。

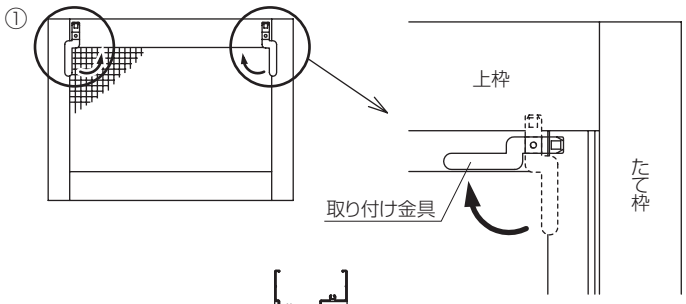
●途中で開放レバー（開放角度ストッパー）を放すと安全のためガラス障子が開放途中でストップします。（中間ストップ）
開放レバー（開放角度ストッパー）を押すと、中間ストップを解除できます。

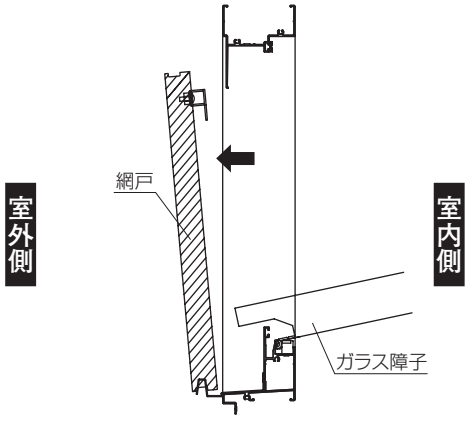


■網戸の取りはずし

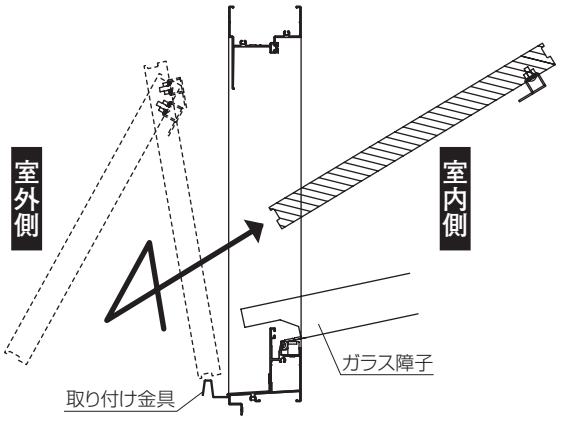
●手の届かない場所に窓がある場合は、足場の確保を確実にして操作してください。

①網戸上部の取り付け金具を回転させてください。網戸上部が上枠よりはずれます。





②網戸を持ち上げ、下枠の取り付け金具よりはずし、網戸上部より室内側に取り出してください。

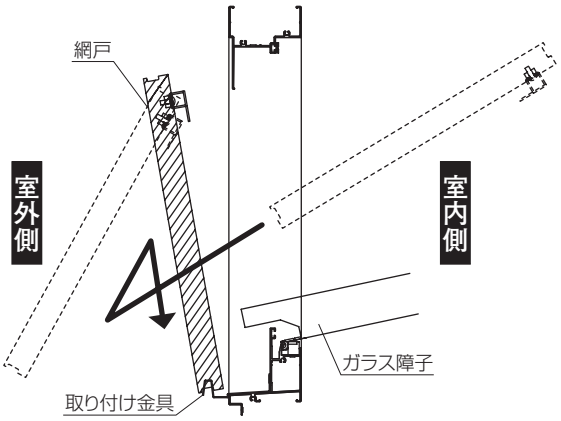


■網戸の取り付け

●手の届かない場所に窓がある場合は、足場の確保を確実にして操作してください。

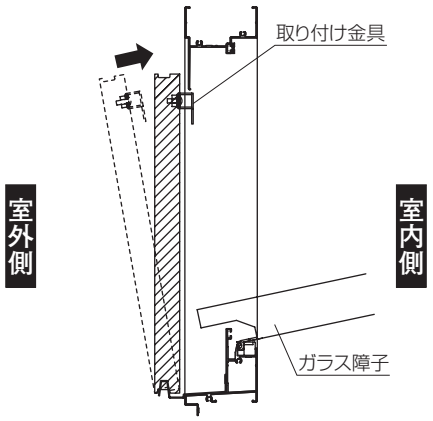
①網戸を下部より室外側に持ち出します。枠と網戸の中心をあわせ、網戸下部を下枠の取り付け金具にはめ込みます。

①



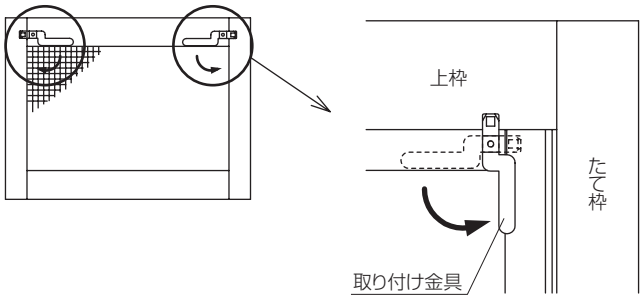
②網戸上部の取り付け金具を持ち、網戸を枠に引き寄せます。

②



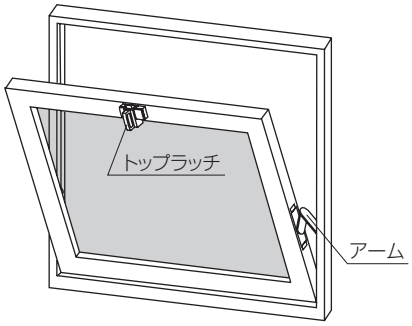
③網戸上部の取り付け金具を回転させ、網戸を枠に固定させてください。

③



内倒し窓MSの取り扱い(MTG)

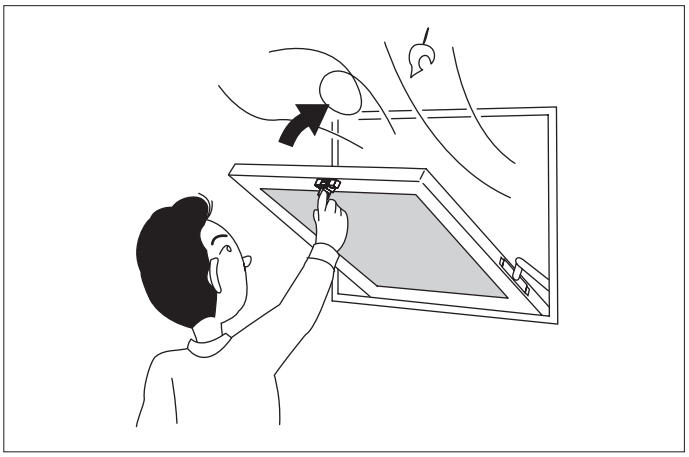
姿　図



⚠ 注 意

安全のため、下記の事項は、必ず守ってください。

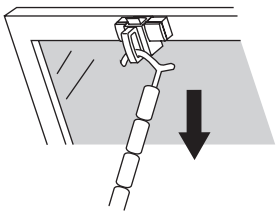
- ●風の強いときは窓を閉めて、必ずトップラッチをかけてください。トップラッチをかけないとガラス障子が急激な開閉で衝撃を受け、破損・落下などのおそれがあり、思わぬけがや事故につながります。



■ガラス障子の開閉

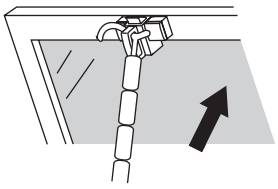
①トップラッチのレバーを手前（下方向）に引いてください。
　ロックが解除され、窓が内側に倒れ開きます。
②アームが所定位置でストップします。
③窓を閉めたら、必ずトップラッチをかけてください。

●ガラス障子を開ける



※トップラッチのレバーを
　下方向に引いてください。

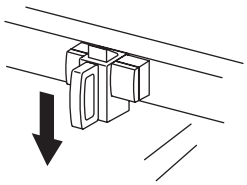
●ガラス障子を閉める



〔トップラッチの操作〕

- ●ガラス障子を閉めるとトップラッチは施錠し、レバーを引くと解錠します。
- ●手が届かない場合は、フック棒（別売品）などを使用して操作してください。

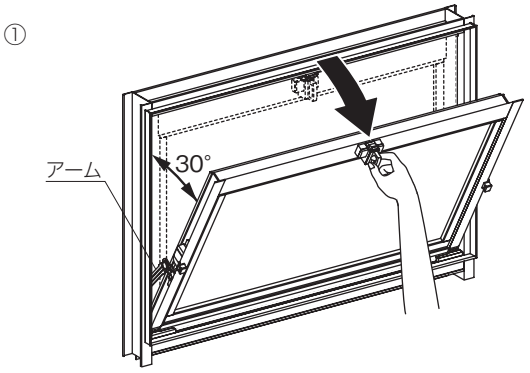
●トップラッチ（締り金具）の形状



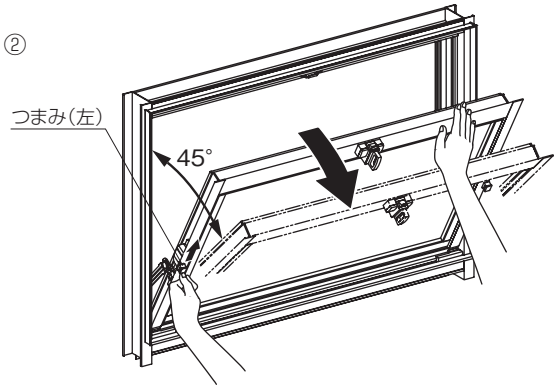
※トップラッチのレバーを下方向へ引くと
　ロックが解除されます。

■網戸の取り付け方法

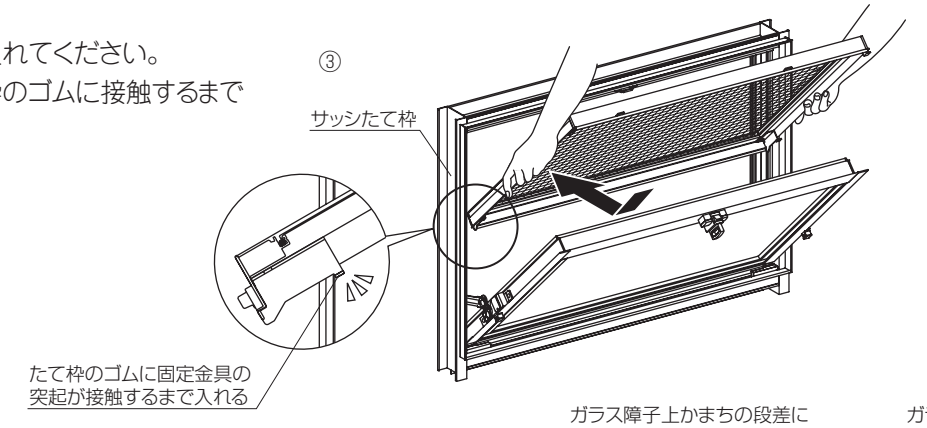
①アームを一段階開放してください。



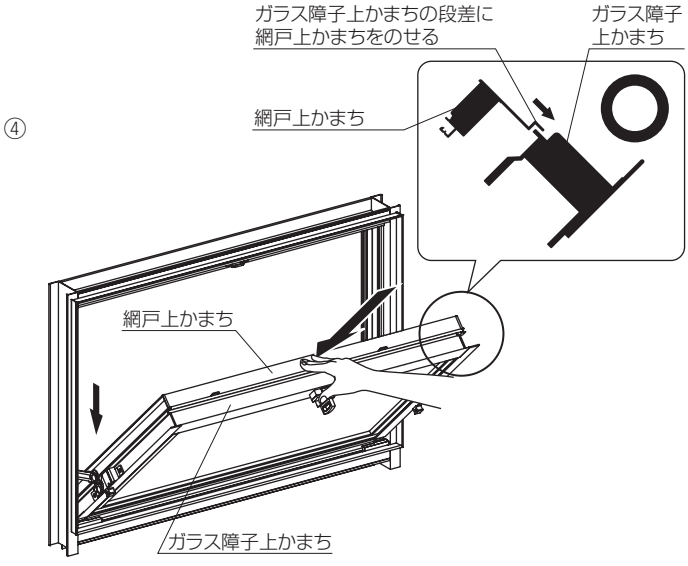
②全開状態の窓を手で支えながら、ガラス障子の左右のつまみを上げてください。アームが二段階開放し、さらに窓が開きます。



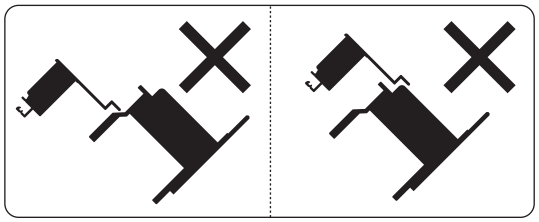
③網戸をガラス障子と水平にして入れてください。
網戸固定金具(下)がサッシたて枠のゴムに接触するまで入れてください。



④網戸固定金具(下)をたて枠のゴムに沿わせるようにして網戸を下ろしてください。
この時、網戸上かまちがガラス障子上かまちにのる位置にあわせて網戸位置を調整してください。

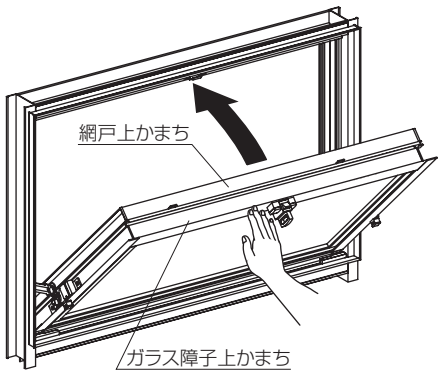


●悪い例



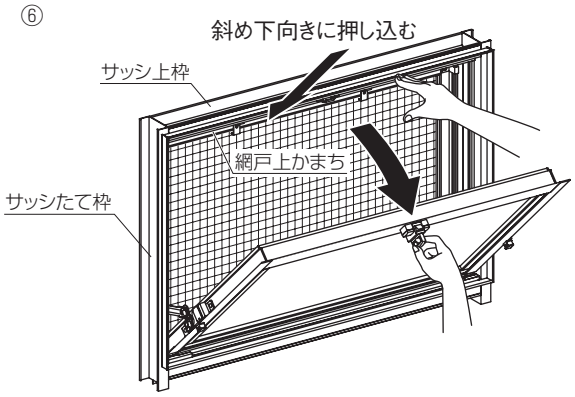
⑤網戸上かまちがガラス障子上かまちにのった状態で、
ガラス障子を閉じられるだけ閉めてください。

⑤



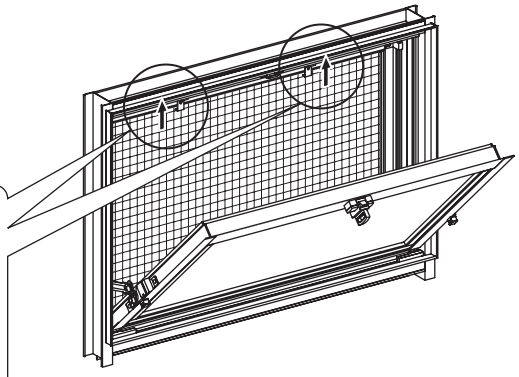
⑥再びガラス障子を開くと、網戸がサッシ枠にはまっているので、網戸上かまちを押し込んでください。
たて枠のゴムに網戸固定金具（たて）が当たりきるまで押し込んでください。

⑥

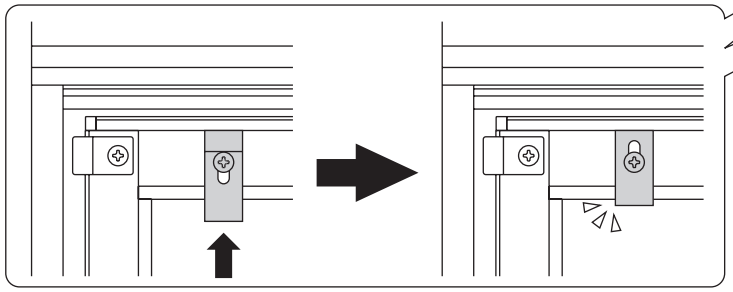


⑦網戸固定金具（上）の固定ねじをゆるめ、上方向にスライドさせ、ねじを締めて固定してください。
サッシ枠に網戸が固定されます。

⑦

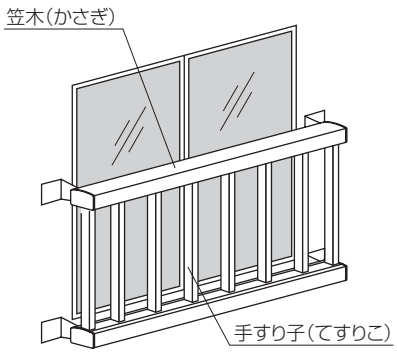


● 網戸固定金具（上）の固定



手すり（窓用）の取り扱い

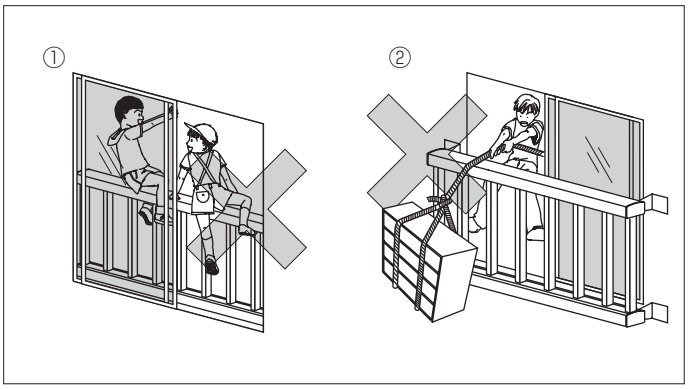
姿　図



お 願 い

①窓手すりに、無理な力をかけないでください。十分に強度を配慮して設計・製作されていますが、人がのったり、身をのり出すなど無理な力が加わると、落下・転落のおそれがあります。

②窓手すりにロープやはしごをかけるなどして、荷物を上げ下げしないでください。無理な重さをかけると落下・転落につながるおそれがあります。



■日常の点検について

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、手すりユニットが破損し、人身事故などの原因になるおそれがあります。

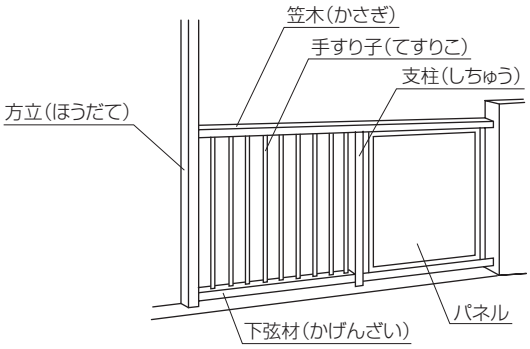
次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検してください（年に1～2回程度）。

不　具　合
手すり子が折れ曲がり、すき間が広がっている。
手すり子を止めているねじがゆるんでいる。
手すり子がはずれている。
手すりユニットを手でゆするとグラグラする。
手すりユニット各部材および各部品・止めねじ・ボルトがゆるんでいる。
手すりユニットの各部材および各部品が腐食している。
パネルに大きなキズ、ひび割れがある。
パネルを止めている押さえ材がはずれている。
笠木、二段笠木または下弦材が変形している。
支柱の埋め込み部や建物との取り付け部に、腐食やコンクリートのひび割れがある。

●不具合または不明な点がありましたら、ご自分で分解や修理をせずに、必ず管理人（管理会社）様またはご購入された販売会社様へご連絡ください。

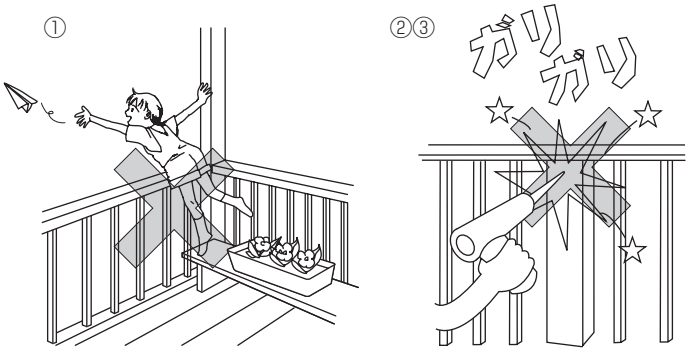
手すり(廊下用・バルコニー用)の取り扱い

姿　図



お 願 い

①お子様が手すりユニットの側にいるときは、絶対に目を離さないでください。また、手すりユニットの近くには、植木台や箱などのように足がかりとなる物を置かないでください。お子様が上にのって転落するおそれがあります。
②手すりユニットに、布団干しやパラボラアンテナなどの器具を取り付ける場合は、穴をあけたり針金で固定するなどの加工を絶対にしないでください。手すりの強度が落ちます。
③手すりユニットに、アルミサッシやパネルなどの建材を、絶対に取り付けないでください。



●不用意な使い方や改造は、手すりの強度を落としたり、思わぬ事故の原因になる他、緊急時の避難の妨げとなります。

■日常の点検について

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、手すりユニットが破損し、人身事故などの原因になるおそれがあります。

次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検してください(年に1～2回程度)。

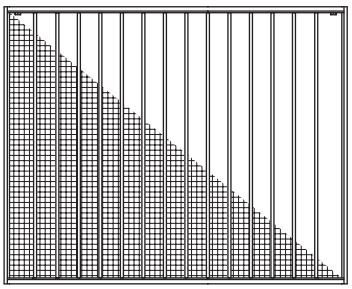
不　具　合
手すり子が折れ曲がり、すき間が広がっている。
手すり子を止めているねじがゆるんでいる。
手すり子がはずれている。
手すりユニットを手でゆするとグラグラする。
手すりユニット各部材および各部品・止めねじ・ボルトがゆるんでいる。
手すりユニットの各部材および各部品が腐食している。
パネルに大きなキズ、ひび割れがある。
パネルを止めている押さえ材がはずれている。
笠木、二段笠木または下弦材が変形している。
支柱の埋め込み部や建物との取り付け部に、腐食やコンクリートのひび割れがある。

●不具合または不明な点がありましたら、ご自分で分解や修理をせずに、必ず管理人(管理会社)様またはご購入された販売会社様へご連絡ください。

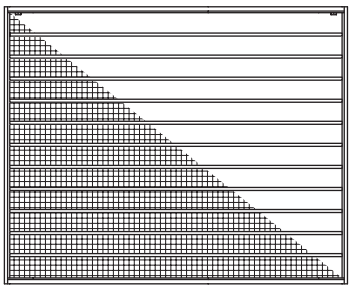
網戸一体型面格子の取り扱い(グリネット)

姿　図

●たて格子タイプ



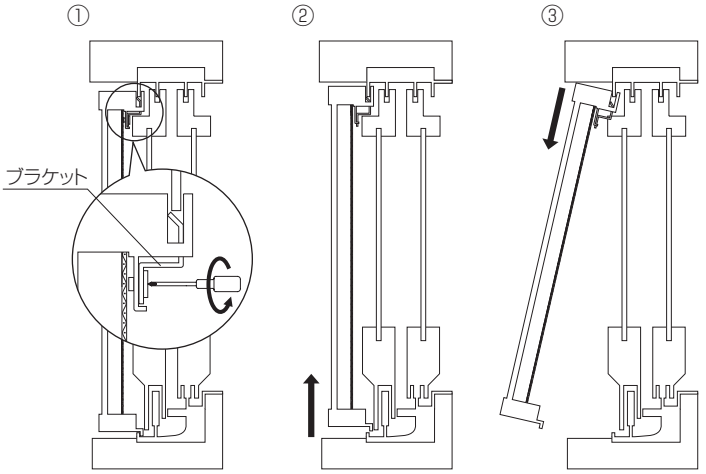
●横格子タイプ



■網戸一体型面格子の取りはずし方法

①室内側より左右の固定用ねじをゆるめ、ブラケットを下げます。
②室外側より面格子を上に押し上げ、網戸レール下部のツメよりはずします。
③室外側より手前に引き、上部のツメよりはずします。

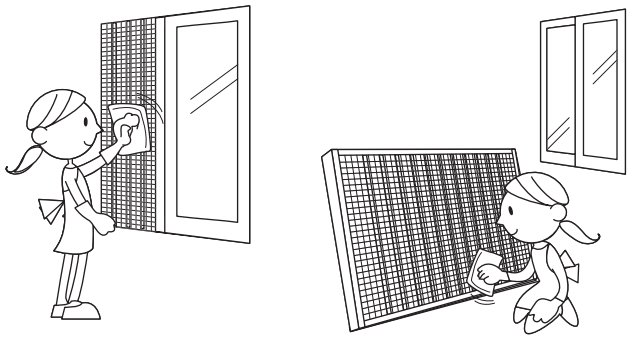
※取り付け方法は上記と逆の手順で行ってください。



■網戸の掃除

●網戸は虫の侵入を防ぐだけでなく、多少のゴミやほこりも防ぎます。それだけに汚れるのも早いので、まめに掃除をしないと風とおしも悪くなります。

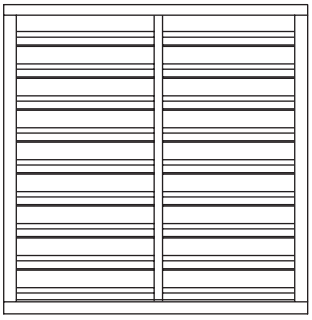
●網戸の掃除は、網戸をはずし（網戸一体型面格子の取りはずし方法参照）、庭やベランダに持ち出してブラシなどで全体を軽くこすります。そしてゴミやほこりを落してから薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）をスポンジ※につけ、網の部分に塗るような気持ちでつけます。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますのでご注意ください。
●最後に全体を水で洗い、乾かします。
●網戸を窓枠に取り付ける際は、固定用ねじを確実に締めて取り付けてください（網戸一体型面格子の取りはずし方法の逆の手順で行ってください）。
●網戸をはずせない場合は、室内側よりブラシなどで全体を軽くこすり、ゴミやほこりを落してからある程度絞った濡れ雑巾で網の部分に塗るような気持ちで汚れを落とします。このとき、力を入れすぎると網がはずれることがありますのでご注意ください。



※スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

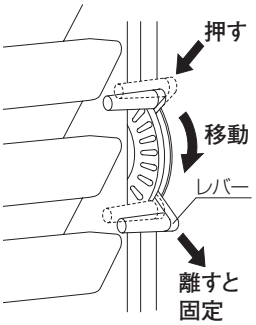
可動ルーバー面格子の取り扱い(セキュルバ)

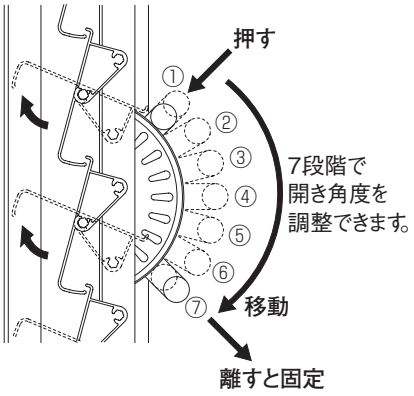
姿　図



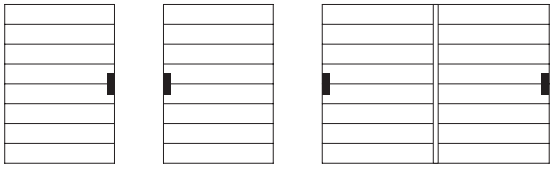
■ルーバーの開閉方法

●レバーを押しながら、上下に移動してルーバーを開閉してください(レバーを上げるとルーバーは閉じ、レバーを下げるとルーバーは開きます)。
レバーを任意の位置で離すと、その位置で一番近い段階(右図に示す①～⑦のいずれかでの段階)で固定され、ルーバーの開き角度が調整できます。



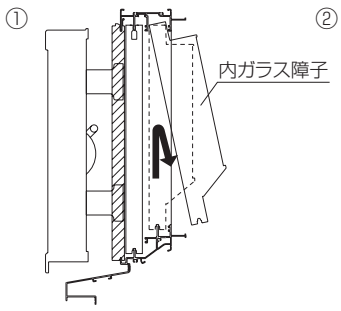


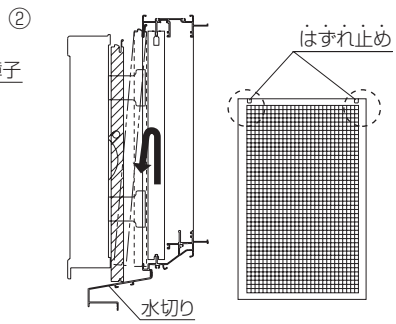
〔レバー位置〕

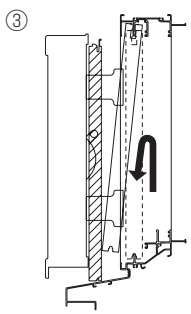


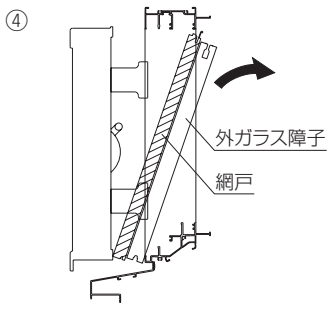
■ガラス障子および可動網戸の脱着方法

①内ガラス障子をはずしてください。
②網戸はずれ止めを解除し、網戸をはずして、一時水切りに預けてください。
※はずれ止めの操作および可動網戸の脱着方法の詳細は、『可動網戸の取り扱い(MTG)』を参照ください。
③外ガラス障子を室外側にはずしてください。
④外ガラス障子と網戸を一緒に室内側に取り出してください。
※ガラス障子の脱着方法の詳細は、『引違い窓の取り扱い(MTG)』を参照ください。





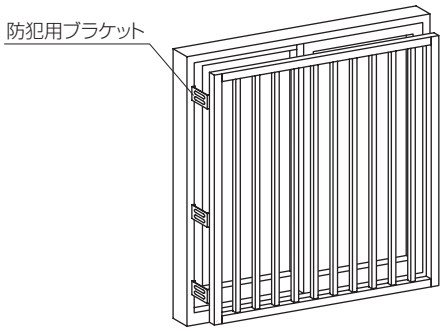




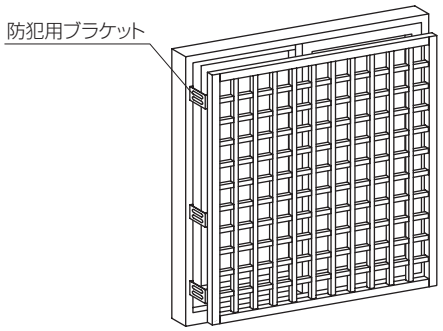
防犯面格子の取り扱い

姿　図

●たて格子



●枡格子

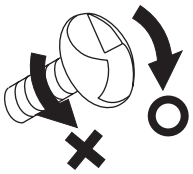


■日常の点検

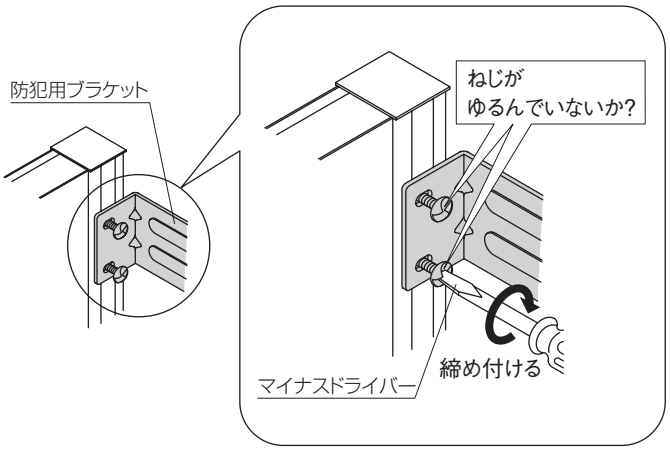
- 面格子本体のグラつきや各部材、止めねじにゆるみやはずれなどはないか。
  ……ねじのゆるみがある場合は、マイナスドライバーでねじを締め付けてください。
  （外部に露出しているねじは、一般工具でははずせないワンウェイねじを採用していますので、お客様がはずすことはできません）
- 部材、締め付けねじが損傷、金属腐食していないか。
- 面格子取り付け部、躯体・仕上げ（建物側）の浮き・剥れ・腐食がないか。

不具合を発見された場合、まず建設会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。そのまま放置されますと安全性を損ない、思わぬ事故につながることがあります。

●ワンウェイねじ



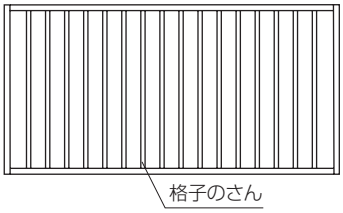
締る方向にしかまわらないため、
はずされにくい特殊なねじです。



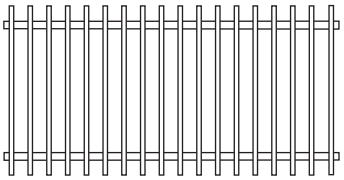
面格子の取り扱い

姿　図

● 四方枠面格子



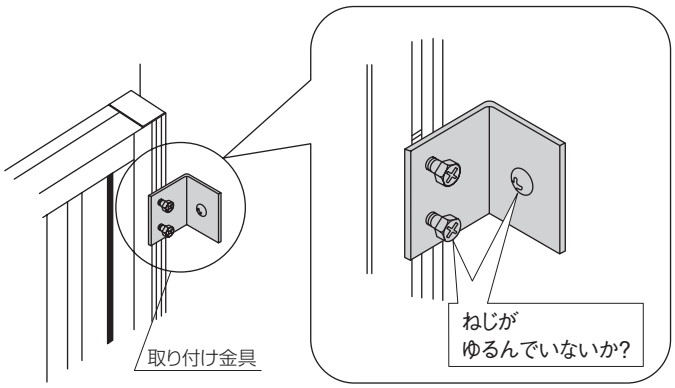
● 面格子S型



■日常の点検

- 面格子本体のグラつきや各部材、止めねじにゆるみやはずれなどはないか。
  ……ねじのゆるみがある場合は、ねじを締め付けてください。
- 部材、締め付けねじが損傷、金属腐食していないか。
- 面格子取り付け部、躯体・仕上げ（建物側）の浮き・剥れ・腐食がないか。

不具合を発見された場合、まず建設会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。そのまま放置されますと安全性を損ない、思わぬ事故につながることがあります。

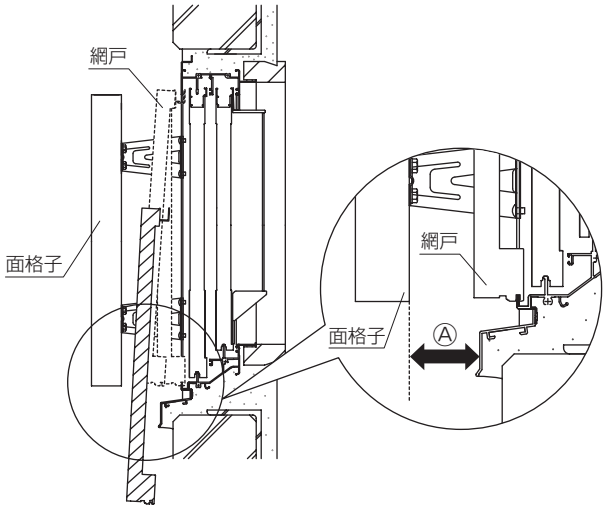


■網戸の取りはずし方

網の張り替えなどで網戸を取りはずしたい場合は、以下の手順で取りはずしてください。

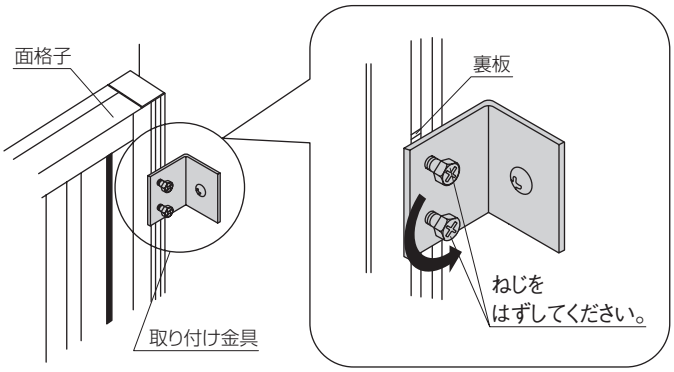
網戸を取りはずせる寸法Ⓐがある場合

●網戸の取り扱い説明書に従い、網戸を取りはずしてください。



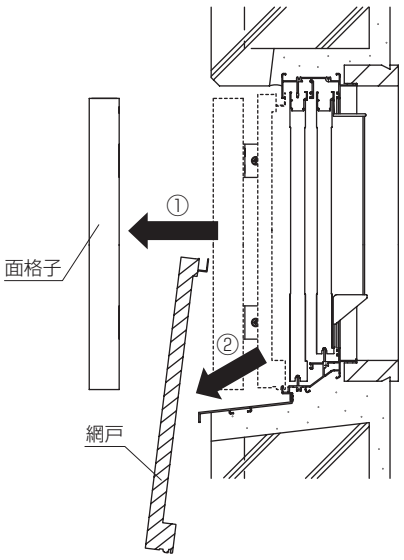
網戸を取りはずせる寸法Ⓐがない場合

①面格子側のすべての取り付け金具のねじをはずして、面格子を取りはずしてください。（面格子側に裏板が入っていますので、紛失しないように、注意願います）



②網戸の取り扱い説明書に従い、網戸を取りはずしてください。

③面格子を復帰する場合は、逆の手順で行ってください。



●お客様が面格子を取りはずしできない場合は、まず建設会社様または管理人（管理会社）様に依頼してください。

商品の豆知識

引違い窓のすき間風について

引違い窓は、ガラス障子の全閉時にそのすき間をふさぐために、枠やガラス障子にパッキングなどの気密部品を取り付けていますが、風が吹くと室内外に気圧差が生じてこの気密部品の接触部分から空気が出入りし、すき間風となります。このすき間風を規制する性能を気密性能といいます。

従って、引違い窓の気密性能は、枠とガラス障子の接触部分から出入りする空気の量で示します。この出入りする空気の量が少ないほど性能がよいといえますが、日本工業規格（JIS）では、この空気の出入りを認めたものになっており、空気の出入りを遮断しなければならないことを規定してはおりません。

例えば、住宅用引違い窓の気密性能は、一般にA-3等級またはA-4等級に該当します。A-3等級で定められている空気の出入りする量は、窓面1m^{2}当たり1時間に8m^{3}以下であり、またA-4等級では2m^{3}以下となっており、A-4等級の性能がよいことになります。

すき間風がかなり激しいと感じられる場合、窓各部の調整が不十分であることが考えられます。なお、換気扇を使用した場合は、強制的に空気を室外に排出することになるので、気密材と枠またはガラス障子の接触部分から空気が入ることがあります。

換気扇使用時の注意

窓やドアを閉めきった状態で換気扇を使用した場合、強制的に空気が室外に排出されると共に、同じ量の空気が窓のすき間などから室内に入り込もうとします。そのとき、気密部品（ゴム）と枠またはガラス障子の接触部分を通りぬける空気が、笛を吹く状態と同じ現象を起こすことになります。これを笛鳴り現象（風切り音）といいます。室内の建具を少し開けたり、窓に換気小窓が付いている場合は、少し（50mm程度）開けるなどして、空気の吸入口を確保していただくと音が静かになります。

窓の遮音性能

窓の遮音性能とは、窓を通して室外から室内へ侵入する音、室内から室外へ漏れる音をどれくらい遮ることができるのかを表す性能であり、音を完全に遮断し、住居内を無音状態にするというものではありません。

一方、騒音に関しては、環境基本法第16条に基づいて、「人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準（以下、環境基準）」が決められています。平成11年に環境基準の見直しがされ、睡眠影響、会話影響、不快感などを考慮し、立地条件、建物の用途などによりそれぞれ望ましい騒音レベルが決められています。

防音に配慮した窓は、窓のすき間をふさぐ気密部品を二重にする、窓を全閉し施錠した時に窓枠とガラス障子を引き寄せて圧着させる「グレモン機構」などを採用して窓のすき間を少なくするなど、窓単体での遮音性能を高める工夫をしています。

ただし、実際の住宅では窓以外に、換気口、換気扇など空気が出入りするところがあり、また、ベランダの有無、ベランダの構造、家具の配置などによっては、同じ遮音性能の窓が付いていたとしても、部屋ごとに騒音レベルが異なります。

また、室内の遮音性能は本来とらえにくいものであることから、JISにより窓単体としての遮音性能を示すこととし、一律の基準として等級が定められています。これは窓単体の遮音性能のみを測定できる専用の実験室で測定した性能であり、室内の遮音状態を表す目安としたものです。この性能値はデシベル（dB）という単位で表されています。

防音に考慮した住宅にはT-1、T-2、T-3等級の遮音性能を持った窓が使用されます。T-1等級の窓では25dB程度の音を遮る性能を持っており、室外で80dBの音を実験室内では55dB程度まで下げることができるという性能です。同様に、T-2等級とは30dB程度の音を遮る性能で、80dBが50dB程度となり、T-3等級とは35dB程度の音を遮る性能で、80dBが45dB程度となるという性能です。

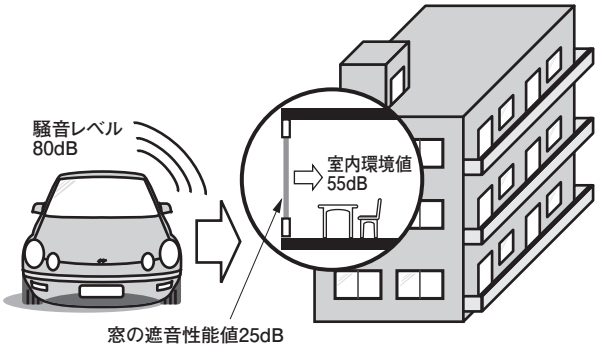
遮音性能は、JISで定められた方法により実験室で測定した測定値です。実際の建築物の現場で測定したときは実験室とは音場（※）が異なりますので、両者の測定値に差異が生じます。

※音場:音波の存在する空間

これは、あくまで基準としての窓の遮音性能であり、実験室と実際の住宅では窓以外のすき間の有無など、空間の条件が異なりますから、カタログなどに記載している窓の遮音性能値と、お住まいで実測する数値とは異なります。

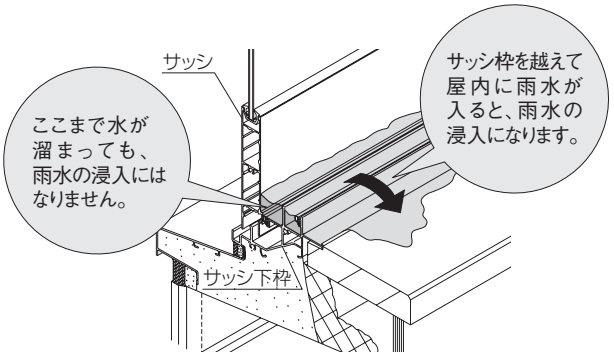
言い換えれば、室内の測定値が悪いからといっても、必ずしも窓の遮音性能が悪いということにはなりません。

なお、室内の騒音レベルを低くする簡単な対策としては、室内に厚地のカーテンやじゅうたんなど、吸音効果のあるものを使用するという方法があります。



雨水の浸入について

不具合といえる雨水浸入とは、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出したり、あふれ出たりすることです。



窓の結露

窓ガラスや窓枠に結露が発生した場合、床や壁の汚損防止と木部の腐食防止のために、こまめに拭き取ってください。

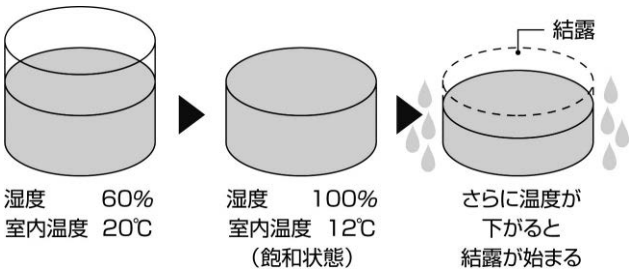
結露は、室内外の温度差が大きく室内の湿度が高い場合に、自然現象として季節を問わず発生するものであり、窓の不具合ではありません。室内の環境条件によっては、二重ガラス（複層ガラス）を使用していてもあるいは断熱窓を使用していても、結露が発生する場合があります。むしろ、ガラスや窓枠に結露が生じることは、押し入れの中やたんすの裏側のような目に見えない部分に発生する結露よりも対処しやすいといえます。

一般的には、秋、冬の季節は暖房により結露が発生しやすく、乾燥防止のために加湿器をご使用の場合は、さらに結露が発生しやすい状況になります。特に、新築の家では、使用した木材などの建材に水分が多く含まれているため、冬の暖房時に、地域によっては乾燥しやすい時期に、その水分が放出しやすい室内環境になると、結露が発生しやすくなります。また、睡眠中に人の呼吸などにより発散する水分が結露の原因にもなるといわれております。寝室での換気に心がけてください。

結露を完全に無くすことはできませんが、できるだけ抑える方法として、次のようなことを励行してください。

●結露発生のメカニズム

飽和（湿度100%）状態から温度が下がると、器（空気中に含むことができる最大の水蒸気量）は小さく（少なく）なり、結露が発生します。



- ●寝室に限らず居室の換気をこまめに行い、水分を含んだ室内の空気を排出すること。
- ●室内で洗濯物を干さないこと。
- ●灯油ストーブは完全燃焼すると水分を生成します。できるだけ使用を控えること。
- ●ストーブの上でやかんの湯を沸かさないこと。

二重窓の雨水浸入防止

二重窓は、外窓と内窓により、気密効果、断熱効果を高めた窓ですが、雨水の浸入防止は外窓で行いますので、雨降りの場合は、必ず外窓を閉めて施錠してください。外窓を開けたままにして、内窓だけを閉めると、窓下枠に吹き込んだ雨水が壁内や室内へ浸入するおそれがあります。

玄関ドアなどからの雨水浸入

強風雨時、玄関ドア・玄関引戸または勝手口ドア・勝手口引戸から雨水が浸入することがあります。

玄関はポーチ屋根により通常の風雨を防げること、玄関は居室と違い土間がタイルなどで仕上げられ、濡れても問題ではなかったことなどから、玄関および勝手口（土間納まり）の出入り口に使用されるドア・引戸には、居室に使用される窓と同等の水密性能は要求されていません。また、ドア・引戸の施錠機構は、窓に採用されているような、枠と障子を密着させて雨水浸入を防止する引き寄せ構造にはなっていないのが一般的です。

玄関のポーチ屋根の大きさ、勝手口のひさしの有無などにより、強風雨時にドア・引戸の下部から雨水が土間に入ることがありますが、商品の不良ではありません。

網入板ガラスの割れ

ガラスの内部に金網が入っているガラスを「網入板ガラス」といいます。この網入板ガラスは、一般の板ガラスと比較して、ガラスが割れたときの脱落（飛散）防止性に優れています。このため、主に防火地域の窓や天窓に多く使用されています。

ところが、物がぶつかったりしないのに、あるいはいつの間にか、ガラスにひびが入っている場合があります。これは、網入板ガラスが、金網が入っているからといって必ずしも強いというわけではなく、むしろ、そのために温度や雨水などの影響を受けやすい性質となっているからです。

温度による影響については、ガラスは一般的に膨張しないものと思われていますが、実は金属と同様に熱によって膨張する性質を持っています。ところが、直射日光を受ける部分と窓の中に隠れている部分で温度差が生じるので、熱膨張にも差が生じます。この熱膨張の差によるひずみが、本来そのガラスが持っている「強度」を超えた場合、ひび割れが生じます。これを「熱割れ」といいます。滅多に起きないことですが、一般の板ガラスにも生じることがあります。

特に、網入板ガラスは熱割れが生じやすくなります。それは、もともと、金網が封入されているため、切断時にガラスの切り口にキズが生じやすく、また均一な切断面になりにくいので、一般の板ガラスに比べてガラス周辺部の強度がおよそ半分しかないからです。網入板ガラスの熱割れは必ず起こる現象ではありませんが、ガラスの室内面に熱反射フィルムやポスターを貼るなど、温度や熱の影響をさらに受けるようになると、熱割れがより起こりやすくなります。

雨水による影響については、金網の錆があります。通常、網入板ガラスの金網に錆が発生しないよう、ガラス切断面に防錆処理を施していますが、経年劣化により防錆効果が衰えた場合やガラスの周囲にある合成樹脂製パッキングが経年劣化で硬くなったりひび割れたりして、パッキングの内部に雨水が浸入しやすくなった場合などが重なって、金網の切断面に錆が発生することがあります。

その錆がガラス内部に進行すると、金網が錆で膨らんでガラスにひびが発生します。この現象を「錆割れ」と呼んでいます。

また、金属線の入ったガラスを「線入板ガラス」といいますが、網入板ガラスと同様の理由で熱割れ、錆割れが発生することがあります。

このような熱割れや錆割れは、網入板ガラスの特性として不可抗力的に発生します。ガラスにひび割れが発生したら、すみやかにガラス交換を業者様に依頼してください。

網戸からの虫の侵入について

引違い窓は、ガラス戸と網戸を取り付けたり、取りはずしたりするために、また、軽快な開閉ができるように、ガラス戸同士の間やサッシ枠レールとの間にある程度のすき間を設ける構造となっており、完全に密着できるものとなっていません。なお、これらのすき間は、円滑な開閉を考えて薄くて弾力性のある合成樹脂製のタイト材やパッキング材で、できるだけふさぐようになっています。

網戸も同様にガラス戸およびサッシ枠レールとの間にすき間を設ける構造となっており、これらのすき間は、開閉に支障のない範囲ですき間ふさぎ材（モヘヤ）を取り付けてふさぐようにしていますが、開閉構造の関係上、完全な密封状態にはなりません。

このような網戸は、基本的にガラス戸の開放時に部屋の通気を確保するとともに、人にとって有害または不快な虫の侵入をできるだけ防止することを目的としています。特に、夜間、光に誘われて集まる昆虫の侵入を抑止することができます。

- 有害な虫の例･･･蝿、蚊、虻、蜂、蛾、ゴキブリなど
- 不快な虫の例･･･カメムシ、羽蟻、ウンカなど

昆虫の一般的な習性として、光に向かって飛来する他、10月、11月になって寒さが感じられる時節、または3月、4月のような春先の時節において、あるいは夏場でも山間部において朝晩の寒暖の差が大きくなると、外部の寒さから逃れるために、あるいは越冬のために暖気が感じられる家屋に集まる傾向があり、さらにサッシ枠と網戸のすき間にもぐりこもうとします。建物の周辺が自然環境に恵まれている所ほど昆虫の発生率が高く、このような傾向が強いといえます。

中でも、カメムシ、てんとう虫などの這いまわる甲虫（こうちゅう）は、少しでも暖かい方に向かってわずかのすき間からでも押し入ろうとする習性が強く、このため、網戸とガラス戸の間に集まって固まることになります。場合によっては、ガラス戸に設けたヒレ状の柔らかい材質のタイト材を押しのけて、室内に侵入することもあります。従って、網戸があっても、このような習性を持つ昆虫の侵入を完全に食い止めることはできません。

万一、虫が室内に侵入した場合の対応策は、次のとおりです。

①殺虫剤、駆虫剤による駆除をお願いします。特に、カメムシについては、専用の薬剤もあります。ホームセンター、ドラッグストア、害虫駆除業者様などにご相談ください。

②カメムシはうっかり触ると悪臭を出し、手の指に染み付くことがあります。カメムシに触らずに処分するためには、ガムテープなどの粘着テープを使用することをおすすめします。

どうしても虫の侵入を阻止したい場合には、引違い窓の外部全面に防虫網を張るなどの方法がありますが、取り付け工事などについてはお近くのサッシ取り扱い店や当社支店・営業所にご相談ください。

なお、ガラス戸を半開き状態にした場合、すき間ふさぎ材（モヘヤ）が密着しない部分が生じるので、虫が入りやすくなります。虫の侵入防止効果を確保するために、開放するガラス戸は全開にしてください。

ステンレスの錆

ステンレスは強度に優れ、腐食や摩耗に対して強い特長を有していることが知られています。このため、窓・ドアの部品の中で耐久性や強度が要求される玄関引戸のレール、錠前、丁番などに使用されています。

ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されるからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っています。

そのため、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるので錆が発生することがあります。

従って、ステンレスは決して「錆びない」ものではなく、むしろ「錆びにくい」金属といえます。

錆が発生するのは、例えば次のような場合です。

- 塩素系の洗剤でハウスクリーニングを行った際に、洗剤がステンレス部品に付着した場合
- 海岸沿いなどの住環境において、塩分が付着する場合

この他、ステンレスが錆びる要因として、「もらい錆」といわれるものがあります。「もらい錆」とは、例えば鉄くぎの錆が表面に付着したり、ステンレス表面に付着した土埃の中の微細な鉄粉が雨水などによって錆びてこびりついたりすることであり、あたかもステンレス自身が錆びたように見える現象です。

錆は台所用クレンザー、市販のステンレス用清掃薬剤などでこすり落としてください。この場合、表面にこすりキズがつくことは避けられません。「もらい錆」が落ちない場合は、錆が進行してステンレス自身に錆が生じたものと考えられます。

いったん発生した錆は落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意をして日頃から薄めた台所用合成洗剤（液性:中性）でこまめにお手入れをしてください。錆の発生を防ぐことができます。

台風の災害を防ぐ

台風や暴風雨は、窓の性能を超える風雨を伴うこともありますので、暴風雨圏に入る前に事前の対策を図ることが必要です。

台風がくる前に

- ベランダに置いてあるものが飛ばされて、ガラスが破損したりすると危険ですので、植木や空き箱などは室内に入れてください。
- 網戸が飛ばされないよう、網戸のはずれ止め部品を確認してください（場合によっては、網戸をはずして保管してください）。
- 窓や出入口の扉は完全に閉めてロックをし、窓やドアの周辺に濡れては困るものを置かないようにしてください。

台風が来たら

- 出入の際、扉は風にあおられて危険ですので、開閉は、手などをはさまないよう注意してください。
- 窓の性能を超えた風雨の場合には、雨水が下枠より室内へ浸入しますので、あふれ出た水は雑巾などで拭き取ってください。

お手入れについて

商品をいつまでも美しくお使いいただくために、定期的なお手入れをおすすめします。

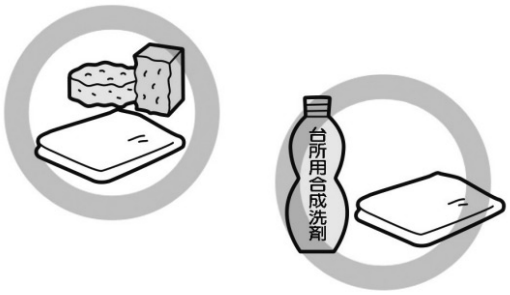
清掃回数について

長期間、清掃しないままにしておきますと、表面に付着した汚れは、腐食やしみの原因となります。汚れが軽いうちに清掃してください。清掃の目安は、少なくとも年に1～2回程度です。特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスによる腐食やしみが進みやすいので、こまめにお手入れしてください。

お手入れ方法

●汚れは、柔らかい布、スポンジ※などで水洗いにより、洗い落としてください。金属たわしなどでこすると、表面にキズがつき腐食のもとになりますので、使用しないでください。

●水洗いで取れない汚れは、台所用合成洗剤(液性:中性)を薄めて、柔らかい布などを使って洗い落としてください。洗剤使用後は十分に水洗いを行い、乾いた布で水分を拭き取ってください。



お手入れのご注意

●有機溶剤を含むガラスクリーナー、便器やタイル用の酸性洗浄剤やアルカリ性洗浄剤は、表面を侵し腐食のもととなりますので、使用しないでください。

※ スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

レール(下枠)のお掃除

●レール・下枠は、砂やほこりのたまりやすいところです。戸車の摩擦を防ぎ、軽快な開閉をするために、定期的に掃除をしてください。掃除の方法は、ブラシやハケで砂ぼこりを落とし、割り箸の先に布を巻き付けたもので拭き取れば、さらにきれいになります。

●アルミは釘やヘアピンなどの鉄製のものと接触していると、電気的に腐食をおこすことがあります。サッシのレールに釘やヘアピンなどを放置しないでください。

●排水キャップのついたレールについては、キャップの目詰りを防止するために掃除機で定期的に掃除をしてください。

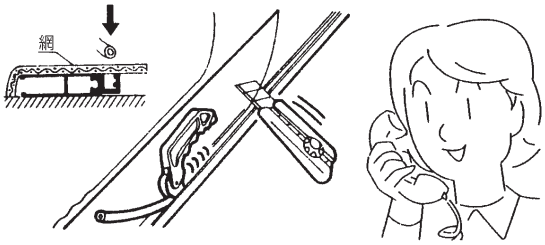
下枠レールの清掃

排水溝の清掃

●グレーチング(排水口用目皿)が取り付く場合は、排水口が詰まらないように定期的に清掃してください。
室外側に網戸が取り付いている場合は、網戸を取りはずす必要があります。清掃の際には、P.23『ノンレールタイプの清掃方法(MTG)』とP.38『可動網戸の取り扱い(MTG)』をご参照ください。

網戸の張り替えについて

ご自身で修理される場合は、ホームセンターなどで網、網押さえロープ、網戸ローラー、カッターなどの作業に必要な道具をそろえることができます。
きれいに仕上げるためには販売店様にご相談・ご依頼されることをおすすめします(有料)。



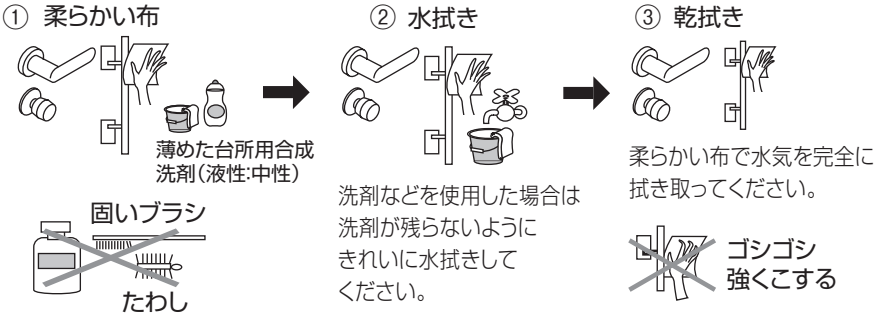
錠(外装部)・ハンドル(把手)のお手入れ

お手入れ方法

①柔らかい布に水を浸し、表面に付いたほこり・砂などを洗い落としてください。柔らかい布またはスポンジ※で全体を水拭きしてください。
②水拭きで落ちない場合は、台所用合成洗剤(液性:中性)を薄めて、柔らかい布などを使って洗い落としてください。
③乾いた布で、十分に水分を拭き取ってください。

汚れの程度によるお手入れ方法

●水では落ちにくい汚れのお手入れ
…… ①②③を行ってください。
●風雨のかかった後のお手入れ
…… ②③を行ってください。
●軽い汚れのお手入れ(定期的な掃除)
…… ③を行ってください。



お手入れのご注意

●酸・アルカリ・塩素系などの化学薬品で洗浄しないでください。錠やハンドルに錆や変色が発生するおそれがあります。

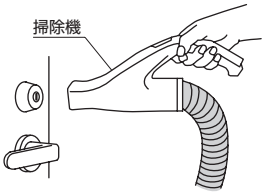
※ スポンジを使用する場合は、スポンジの取り扱い説明書をご確認ください。

鍵(キー)・鍵穴(シリンダー)のお手入れ

お手入れ方法

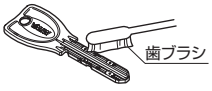
鍵の抜き差しがスムーズでない(または重い)場合

●掃除機を鍵穴につけ、中のゴミを吸い出します。(パソコンのキーボードゴミを飛ばす「エアーダスター」などでもよいです)



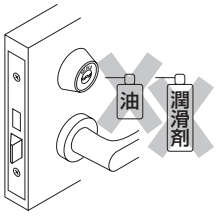
●鍵のすべての切り込み部を鉛筆(先端の黒芯)でなぞるように黒く塗り、その鍵を鍵穴に挿入して数回抜き差しをしてください。
鍵の抜き差しがスムーズになります。また、一度でスムーズにならない場合は同じ方法を繰り返してください。

●鍵の抜き差しがスムーズになりましたら、鍵に付着している黒い粉を布などで拭き取ってください。付着したまま使用されますと、衣服などを汚す場合があります。
●鍵の刻み部分や溝部の汚れ(ゴミやほこり)で動きが悪くなる場合があります。
鍵が汚れた場合は、歯ブラシなどで刻み部分や溝の汚れをかき出してください。



お手入れのご注意

●鍵穴に注油しないでください。油がほこりを呼び動きを悪くします。



不具合対応について

【保守点検について】

ご使用中にいろんな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故などの原因になるおそれがあります。次のような不具合がないかどうか、お手入れの時などを利用して点検して処置してください。

共用部分については、管理責任者がお客様用保存版取り扱い説明書の記載内容に基づき点検およびお手入れをしてください。

■かまちドア、採風ドア

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
開閉時に扉がグラグラする。	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、扉側ともに丁番取り付けねじを締め付けてください。
開閉時に扉が枠にこする、または当たる。	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、扉側ともに丁番取り付けねじを締め付けてください。
	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
扉が開かなくなった。	錠が破損している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ハンドルの内部機構が破損している。	
扉が閉まらなくなった。	丁番が破損している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	錠が破損している。	
	ハンドルの内部機構が破損している。	
扉の開閉時にきしみ音などの異音がする。	丁番の軸部分が経年劣化により、摩耗している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
キーの差し込みが固い、または差し込んでもスムーズに操作できない。	合鍵が正規のキーと一致していない。	正規のキーで操作してください。
	鍵穴内部が凍結している。	市販の凍結防止剤・解氷剤（スプレー式）を吹きつけてください。ただし、お湯は絶対にかけないでください。再凍結や腐食のおそれがあります。
	鍵穴内部に汚れ、ほこりが付着している。	鉛筆の芯の粉をキーにまんべんなくつけて2～3回出し入れしたのち、まわしてください。それでも操作できない場合は錠の内部機構の腐食、故障などが考えられますので、建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	キーが変形している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	ラッチボルト、デッドボルトとストライクの位置があっていない。	ストライク調整をしてください。 本書11頁をご参照ください。
	子扉のフランス落しロッド棒と上下の受けつぼの位置があっていない。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	丁番取り付けねじがゆるんでいる。	枠側、扉側ともに丁番取り付けねじを締め付けてください。

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
錠がかかりにくくなった、またはかからない。	地震、地盤沈下などにより建物が傾いている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
フランス落しが作動しにくくなった、または動かない。	ロッド棒の操作機構が錆びている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ロッド棒が曲がっている。	
ドアの閉じる速度が変わった。	ドアクローザの調整速度がずれた。	本書7、9、13頁をご参照ください。

■引違い窓、片引き窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
施錠時にクレセントがかかりにくくなった、またはかからない。	クレセント本体とクレセント受けの位置があっていない。	クレセント調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	戸車の高さが適切でない。	戸車調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
ガラス障子がスムーズに開閉しない。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止め調整をしてください。 本書17、22頁をご参照ください。
	戸車がレールにのっていないなど、ガラス障子が正常に組み込まれていない。	ガラス障子を一度はずして、組み込みし直してください。 本書17頁をご参照ください。
	下枠にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。 本書18、23、24、100頁をご参照ください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮みが生じている。	
	枠とガラス障子部品（振れ止め、気密材）のこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	自重により躯体が下がり、上枠が下がっている。	
全閉施錠時にガラス障子が、ガタガタする。 （枠内でガラス障子にあそびがある）	クレセント本体とクレセント受けの位置があっていない。	クレセント調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	クレセント本体、クレセント受けが破損している。	
	振れ止め、気密材、戸当りなどが経年劣化により破損している。	

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
全閉施錠時にすき間が見える。	戸車の高さが適切でない。	戸車調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置があっていない。	クレセント調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	自重により躯体の下がり、柱の傾きが生じ、上枠が下がったり、枠全体が傾いている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
全閉施錠時にすき間風、ほこりなどが入る。	戸車の高さが適切でない。	戸車調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置があっていない。	クレセント調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ねじ穴キャップの脱落がある。	
	自重により躯体が傾き、窓枠が傾いている。	
ガラス障子開閉時に異音がする。	戸車がレールにのっていないなど、ガラス障子が正常に組み込まれていない。	ガラス障子を一度はずして、組み込みし直してください。 本書17頁をご参照ください。
	下枠にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。 本書18、23、24、100頁をご参照ください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	枠とガラス障子部品（振れ止め、気密材）のこすれがある。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	自重により躯体が下がり、上枠が下がっている。	
下枠部に雨水がたまり下枠からあふれるおそれがある。	窓の仕様性能を超える台風や暴風雨の場合。	くわしくは台風の災害を防ぐ本書99頁をご参照ください。
	排水溝にゴミが付着している。	清掃をしてください。 本書18、23、24、100頁をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
全閉施錠時下枠部からしぶきが入る。	戸車の高さが適切でない。	戸車調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	クレセント本体とクレセント受けの位置があっていない。	クレセント調整をしてください。 本書16、21頁をご参照ください。
	気密材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。

■折りたたみ窓、折りたたみ窓袖扉付（ドア内蔵型）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ガラス障子が完全に閉まらない。	下レール内に石などが入っている。	下部レール内に石や物がないことを確かめてから開閉してください。
	ガラス障子が完全に伸びていない状態でハンドルをまわしている。	ガラス障子を完全に閉めてから、ハンドルを下向きにまわしてください。
	ガラス障子を閉めるとき、ハンドルが下向きの状態になっている。	ハンドルを180°上向きの状態にし、その状態でガラス障子を伸ばしてから、ハンドルを180°下向きにまわし閉じてください。
ガラス障子が開かない。	雨切りつまみがCLOSEの状態になっている。	ガラス障子を開ける前に必ずつまみをOPENの状態に戻してください。
	ハンドルが下向きの状態になっている。	ハンドルを確実に180°上向きにまわしてからガラス障子を開けてください。
雨切りつまみが上がらない。（CLOSEにならない）	ガラス障子の一部が開いている。	ガラス障子がすべて閉じているか確認してからつまみを上げて「CLOSE」にしてください。
雨漏れがする。	雨切りつまみがOPENの状態になっている。	ガラス障子がすべて閉じているか確認してからつまみを上げて「CLOSE」にしてください。

■可動網戸、開き網戸、アコーディオン網戸Ⅲ、横引きロール網戸、ロール網戸Ⅱ（スプリングタイプ）、ロール網戸Ⅱ（ボールチェーンタイプ）、内倒し窓網戸着脱タイプ

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸がスムーズに開閉しない。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止め調整をしてください。 本書39頁をご参照ください。
	戸車がレールにのっていないなど、網戸が正常に組み込まれていない。	網戸を一度はずして、組み込みし直してください。
	下枠にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	網戸のすき間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
	網戸が反っている。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
	自重により躯体が下がり、上枠が下がっている。	
網戸がはずれる、または落下する。	はずれ止めの位置が適切でない。	はずれ止め調整をしてください。 本書39頁をご参照ください。
	はずれ止めが破損している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
網戸開閉時に異音がする。	戸車がレールにのっていないなど、網戸が正常に組み込まれていない。	網戸を一度はずして、組み込みし直してください。
	下枠にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
	戸車にキズ、摩耗、軸の変形などが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	すき間ふさぎ材が経年劣化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	
	網戸のすき間ふさぎ材の当たりが強すぎる。	
	上枠・下枠レールにキズ、変形がある。	
ガラス障子の開閉時に網戸が一緒に動く。	網戸の反りで、すき間ふさぎ材がガラス障子に強く当たっている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。

■たてすべり出し窓、たて軸回転窓、突出し窓・すべり出し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体、受けが破損している。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
ガラス障子がスムーズに開閉しない。	ステーに変形や摩耗が生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ステーに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	自重により躯体が傾き、サッシ枠が傾いている。	
ガラス障子開閉時に異音がする。	ステーに変形や摩耗が生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ステーに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
全閉施錠時、枠とガラス障子の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。

■内倒し窓

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
ロックがかかりにくくなった、またはかからない。	ロック本体と受けの位置があっていない。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	ロック本体、受けが破損している。	
ガラス障子がスムーズに開閉しない。	アームに変形や摩耗が生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	アームに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
全閉時にすき間風、ほこりなどが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	自重により躯体が傾き、サッシ枠が傾いている。	
ガラス障子開閉時に異音がする。	アームに変形や摩耗が生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	アームに砂などの異物が付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
全閉施錠時、枠とガラス障子の間からしぶきが入る。	気密材が経年変化により、ねじれ、縮み、亀裂、ちぎれが生じている。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。

■手すり（窓用）、手すり（廊下用・バルコニー用）

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
手すり本体がグラグラする。	部材、止めねじにゆるみやはずれがある。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	部材、締め付けねじやリベットが損傷、金属腐食している。	
	手すり取り付け部、躯体・仕上げ（建物側）の浮き・剥れ・腐食がある。	
笠木・手すり格子などの部材が変形している。	部材、止めねじにゆるみやはずれがある。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	部材、締め付けねじやリベットが損傷、金属腐食している。	
	手すり取り付け部、躯体・仕上げ（建物側）の浮き・剥れ・腐食がある。	

■網戸一体型面格子、可動ルーバー面格子、防犯面格子、面格子

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
面格子本体がグラグラする。	部材、止めねじにゆるみやはずれがある。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。
	部材、締め付けねじやリベットが損傷、金属腐食している。	
	面格子取り付け部、躯体・仕上げ（建物側）の浮き・剥れ・腐食がある。	

■アルミ商品の腐食

現象・兆候	考えられる原因	対処方法
アルミ商品などにつぶ状の汚れが浮き出てきた。	商品にゴミなどが付着している。	清掃をしてください。 本書100頁をご参照ください。
	ハウスクリーニング時に台所用合成洗剤(液性:中性)以外の洗剤により洗浄が行われた。またはその洗剤が付着して商品が腐食した。	まず建築会社様または管理人（管理会社）様に修理依頼をしてください。 日常のお手入れについては本書100頁をご参照ください。
	枠まわりの外壁、土間などに塩分の多い海砂の混入したモルタルが使用されていたため、商品が腐食した。	
	枠まわりの外壁、土間などのモルタルに急結剤が使用されていたため、商品が腐食した。	
	交通量の多い道路沿いのため排気ガスが付着して商品が腐食した。	
	ガス給湯器の排気ガスが付着して商品が腐食した。	
	海岸地帯のため空気中に含まれる塩分が付着して商品が腐食した。	
	工業地帯のため大気中に含まれる腐食を誘発する成分が付着して商品が腐食した。	

● 以上の処置をしても直らなかったり、原因が見当たらない場合は、まず建築会社様または管理人（管理会社）様に依頼をしてください。

修理依頼について

■お客様メモ（ご購入の際、記入願います）

商　品　名	
入 居 年 月	年　　月　　日
建築会社または工務店	社名
	TEL　　ー　　ー
販　売　店	社名
	TEL　　ー　　ー
お近くの当社支店・営業所	支店・営業所　TEL　　ー　　ー
メ　　モ	

商品の修理依頼、部品交換などについては、まずご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様にご相談ください。
商品についてのお問い合わせはお近くの当社支店・営業所へご連絡ください。
連絡先（サービスネットワーク）については、巻末に掲載してあります。

商品保証

本書は、当社のビル用建材商品に関して、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、まず、ご購入された建築会社様または管理人（管理会社）様に修理をご依頼ください。

■保証期間

建築会社様よりの商品の引き渡し日（注1、注2）から2年間（電装部品については1年間）。
ただし、商品からの雨水浸入については10年間。

（注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）分譲住宅（建売住宅）、分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容

取り扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

（詳細は取り扱い説明書P.93の「雨水の浸入について」をご参照ください）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。

①当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食。台所用合成洗剤（液性:中性）以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
④商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩耗など）、経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
⑤商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑥商品または部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）
⑦天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの小動物に起因する不具合・虫害
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部品の取りはずしを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※次のような消耗部品は有料となります。

ガラスパッキング、タイト材、モヘヤ、風止め板、はずれ止め、振れ止め、ホールプレート、小口カバー、障子ストッパー、戸当り、戸車、操作つまみ、雨戸戸袋ガイド、水抜き具、網戸の網、網押さえロープなどの合成樹脂製部品

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
※修理、交換などのアフターメンテナンスに関しては、別に保証書を用意しております。ご購入された販売店様、またはお近くの当社支店・営業所にお問い合わせください。
※この「商品保証」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、お近くの当社支店・営業所にお問い合わせください。
※当保証は日本国内に適用されるものとしますが、日本国外に納品されたものについては、適用されないものとします。

サービスネットワーク

支店・営業所

カスタマーセンター お客様相談室 ☎0120−53−7899
富山県高岡市早川70　〒933−8610

北 海 道

■**北海道支店**　TEL(011)865−6031 (代)
北海道札幌市白石区流通センター4−4−58　〒003−0030

東　北

■**東北支店**　TEL(022)264−3434 (代)
宮城県仙台市青葉区一番町1−9−1〈仙台トラストタワー7F〉　〒980−0811

●**盛岡営業所**　TEL(019)632−2351 (代)
岩手県盛岡市永井15−57−5　〒020−0834

●**青森営業所**　TEL(017)738−1777 (代)
青森県青森市問屋町2−20−8　〒030−0131

●**秋田営業所**　TEL(018)866−8311 (代)
秋田県秋田市川尻町字大川反170−130　〒010−0941

関　東

■**関東ビル建材支店**　TEL(03)5348−0386 (代)
東京都中野区中央1−38−1〈住友中野坂上ビル 17F〉　〒164−8503

■**埼玉支店**　TEL(048)865−3801 (代)
埼玉県さいたま市桜区道場1−5−6　〒338−0835

■**千葉支店**　TEL(043)296−3292 (代)
千葉県千葉市美浜区中瀬1−3〈幕張テクノガーデンB棟 20F〉　〒261−8501

■**横浜支店**　TEL(045)682−0303 (代)
神奈川県横浜市西区みなとみらい2−3−3〈クイーンズタワーB 11F〉　〒220−6111

■**茨城支店**　TEL(029)305−2222 (代)
茨城県水戸市平須町1839−1　〒310−0853

■**宇都宮支店**　TEL(028)637−1434 (代)
栃木県宇都宮市吉野1−1−1　〒320−0838

■**群馬支店**　TEL(027)235−4311 (代)
群馬県前橋市下小出町3−25−5　〒371−0031

■**営業開発部**　TEL(03)5348−0360 (代)
東京都中野区中央1−38−1〈住友中野坂上ビル 18F〉　〒164−8503

信越・北陸

■**新潟支店**　TEL(025)287−3152 (代)
新潟県新潟市中央区長潟3−16−1　〒950−0932

■**富山支店**　TEL(076)492−0083 (代)
富山県富山市荒川3−2−6　〒930−0982

■**北陸支店**　TEL(076)291−7641 (代)
石川県金沢市東力2−149−1　〒921−8015

■**長野支店**　TEL(026)244−1101 (代)
長野県長野市三輪1−7−10　〒380−0803

●**松本営業所**　TEL(0263)25−0440 (代)
長野県松本市野溝木工1−2−5　〒399−0005

東　海

■**東海ビル建材支店**　TEL(052)265−8149 (代)
愛知県名古屋市中区栄2−3−6〈NBF名古屋広小路ビル8階〉　〒460−0008

●**岐阜営業所**　TEL(058)275−0661 (代)
岐阜県岐阜市六条南2−13−2〈桜マンション 1F〉　〒500−8358

●**津営業所**　TEL(059)271−6950 (代)
三重県津市丸之内34−5〈津中央ビル 5F〉　〒514−0033

■**静岡支店**　TEL(054)203−5572 (代)
静岡県静岡市駿河区宮本町9−35　〒422−8065

■**名古屋営業開発グループ**　TEL(052)265−8149 (代)
愛知県名古屋市中区栄2−3−6〈NBF名古屋広小路ビル8階〉　〒460−0008

関　西

■**関西ビル建材支店**　TEL(06)6448−5451 (代)
大阪府大阪市西区靭本町1−9−15〈近畿富山会館ビル 6F〉　〒550−0004

■**神戸支店**　TEL(078)332−2033 (代)
兵庫県神戸市中央区海岸通6〈建隆ビル 4F〉　〒650−0024

■**京都支店**　TEL(075)212−2512 (代)
京都府京都市中京区烏丸通三条下ル〈大同生命京都ビル 5F〉　〒604−8161

■**大阪営業開発グループ**　TEL(06)6448−5456 (代)
大阪府大阪市西区靭本町1−9−15〈近畿富山会館ビル 6F〉　〒550−0004

中国・四国

■**中国支店**　TEL(082)292−0777 (代)
広島県広島市西区南観音5−2−25〈2F〉　〒733−0035

●**岡山営業所**　TEL(086)243−7688 (代)
岡山県岡山市北区下中野1214−1　〒700−0973

●**松江営業所**　TEL(0852)24−0230 (代)
島根県松江市津田町310−1〈1F〉　〒690−0055

●**山口営業所**　TEL(083)972−4480 (代)
山口県山口市小郡花園町4−7　〒754−0022

■**四国支店**　TEL(087)802−5100 (代)
香川県高松市林町2551−10〈2F〉　〒761−0301

●**松山営業所**　TEL(089)996−8015 (代)
愛媛県松山市久万ノ台691　〒791−8016

九　州

■**九州支店**　TEL(092)707−0006 (代)
福岡県福岡市博多区豊2−4−6　〒812−0042

●**北九州営業所**　TEL(093)964−3200 (代)
福岡県北九州市小倉南区下南方1−3−22　〒802−0977

●**長崎営業所**　TEL(0957)25−6100 (代)
長崎県諫早市永昌町6−22　〒854−0072

●**熊本営業所**　TEL(096)378−8060 (代)
熊本県熊本市中央区萩原町17−30　〒860−0832

●**鹿児島営業所**　TEL(099)258−6233 (代)
鹿児島県鹿児島市与次郎2−4−35〈ＫＳＣ鴨池ビル 5F〉　〒890−0062

●**沖縄三協立山アルミ株式会社**　TEL(098)956−1188 (代)
沖縄県中頭郡読谷村伊良皆115　〒904−0303

（平成29年2月現在）

この取り扱い説明書を紛失した場合、また本体表示ラベルが破損した場合、再発行いたします。
お気軽に販売店様またはお近くの当社支店・営業所へご連絡ください。
ただし、当該商品の廃止後は、ご容赦いただく場合があります。

2017年2月発行

三協立山株式会社　三協アルミ社
〒933-8610 富山県高岡市早川70
ビル建材部 TEL(0766)20-2201
http://alumi.st-grp.co.jp/

カタログNo.
STB0203K
D.17.02−060